

令和4年度

主要施策の成果説明書

佐 渡 市



## 目 次

1	歳入歳出決算の概要	1
2	各会計別決算の状況	2
3	一般会計	3
	(1) 歳入の状況	3
	○ 財源構成	4
	○ 市税の状況	5
	○ 目的税等の使途に関する調書	6
	(2) 歳出の状況	7
	○ 目的別内訳	7
	○ 性質別内訳	9
	(3) 決算額の推移	11
	(4) 基金現在高	12
	(5) 款別主要な施策の成果	13
	2款 総務費	13
	3款 民生費	37
	4款 衛生費	54
	5款 労働費	60
	6款 農林水産業費	61
	7款 商工費	65
	8款 土木費	71
	9款 消防費	81
	10款 教育費	83
	11款 災害復旧費	97
	12款 公債費	100
	(6) 新型コロナ対策等に関する成果（令和4年度分）	101
	(7) 新型コロナ対策等に関する成果（令和3年度からの繰越分）	107
4	国民健康保険特別会計	108
5	後期高齢者医療特別会計	110
6	介護保険特別会計	111
7	小水力発電特別会計	116
8	歌代の里特別会計	117
9	すこやか両津特別会計	118

# 1 歳入歳出決算の概要

## ○令和4年度決算の状況

一般会計決算		(前年度決算)
歳入額	492億8,139万9千円	(511億8,804万6千円)
歳出額	472億3,670万7千円	(491億9,903万5千円)
特別会計決算(10会計合計)		
歳入額	167億6,053万9千円	(173億2,592万1千円)
歳出額	162億4,864万6千円	(169億2,998万1千円)
普通会計決算		
歳入額	492億279万1千円	(499億9,920万4千円)
歳出額	471億5,809万9千円	(480億1,019万3千円)

## ○令和4年度一般会計決算の特色

### 1 決算の規模が前年度を下回りました。

歳入では、普通交付税や子育て世帯等臨時特別支援事業事業費補助金及び子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費補助金などの国庫支出金が減額となったため、前年度比19億664万7千円の減となりました。

歳出では、庁舎建設費の増などにより総務費が増額となったものの、住民非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業や子育て世帯への臨時特別給付金給付事業などの減により民生費が減額となったことなどから前年度比19億6,232万8千円の減となりました。

### 2 実質収支が黒字となりました。

厳しい財政環境のもと歳出のより効率的な執行に努め、実質収支は12億1,157万2千円(2ページ参照 前年度13億9,494万7千円)の黒字となりました。なお、前年度実質収支との差額である単年度収支はマイナス1億8,337万5千円となりました。

### 3 地方債現在高が減少しました。

一般会計における地方債現在高は480億8,045万1千円(100ページ参照)となり、前年度に比べ21億8,270万2千円減少しました。

### 4 基金現在高が減少しました。(定額運用基金を除く。)

財政調整基金や地域振興基金などの取崩しを行ったことから、基金の現在高は150億646万円(12ページ参照)となり、前年度比14億4,241万2千円減少しました。

## 2 各会計別決算の状況

区分	予算現額	歳入決算額		歳出決算額		翌年度繰越財源	差引残額
		金額	収入率	金額	執行率		
一般会計	52,808,829,460 <sup>円</sup>	49,281,399,166 <sup>円</sup>	93.3%	47,236,706,757 <sup>円</sup>	89.4%	833,119,710 <sup>円</sup>	1,211,572,699 <sup>円</sup>
国民健康保険特別会計	5,865,265,000	5,774,472,419	98.5	5,678,174,884	96.8	0	96,297,535
後期高齢者医療特別会計	816,598,000	810,994,754	99.3	806,663,426	98.8	0	4,331,328
介護保険特別会計	8,951,126,000	9,017,583,259	100.7	8,665,652,675	96.8	0	351,930,584
小水力発電特別会計	35,000,000	22,382,117	63.9	22,382,117	63.9	0	0
歌代の里特別会計	483,012,000	488,428,156	101.1	461,876,183	95.6	0	26,551,973
すこやか両特別会計	633,652,000	636,916,904	100.5	606,606,416	95.7	100,000	30,210,488
五十里財産区特別会計	190,000	739,774	389.4	122,312	64.4	0	617,462
二宮財産区特別会計	3,368,000	3,824,608	113.6	2,779,111	82.5	0	1,045,497
新畑野財産区特別会計	3,576,000	2,823,879	79.0	2,687,878	75.2	0	136,001
真野財産区特別会計	3,368,000	2,373,623	70.5	1,700,517	50.5	0	673,106
合計	69,603,984,460	66,041,938,659	94.9	63,485,352,276	91.2	833,219,710	1,723,366,673

### 3 一般会計

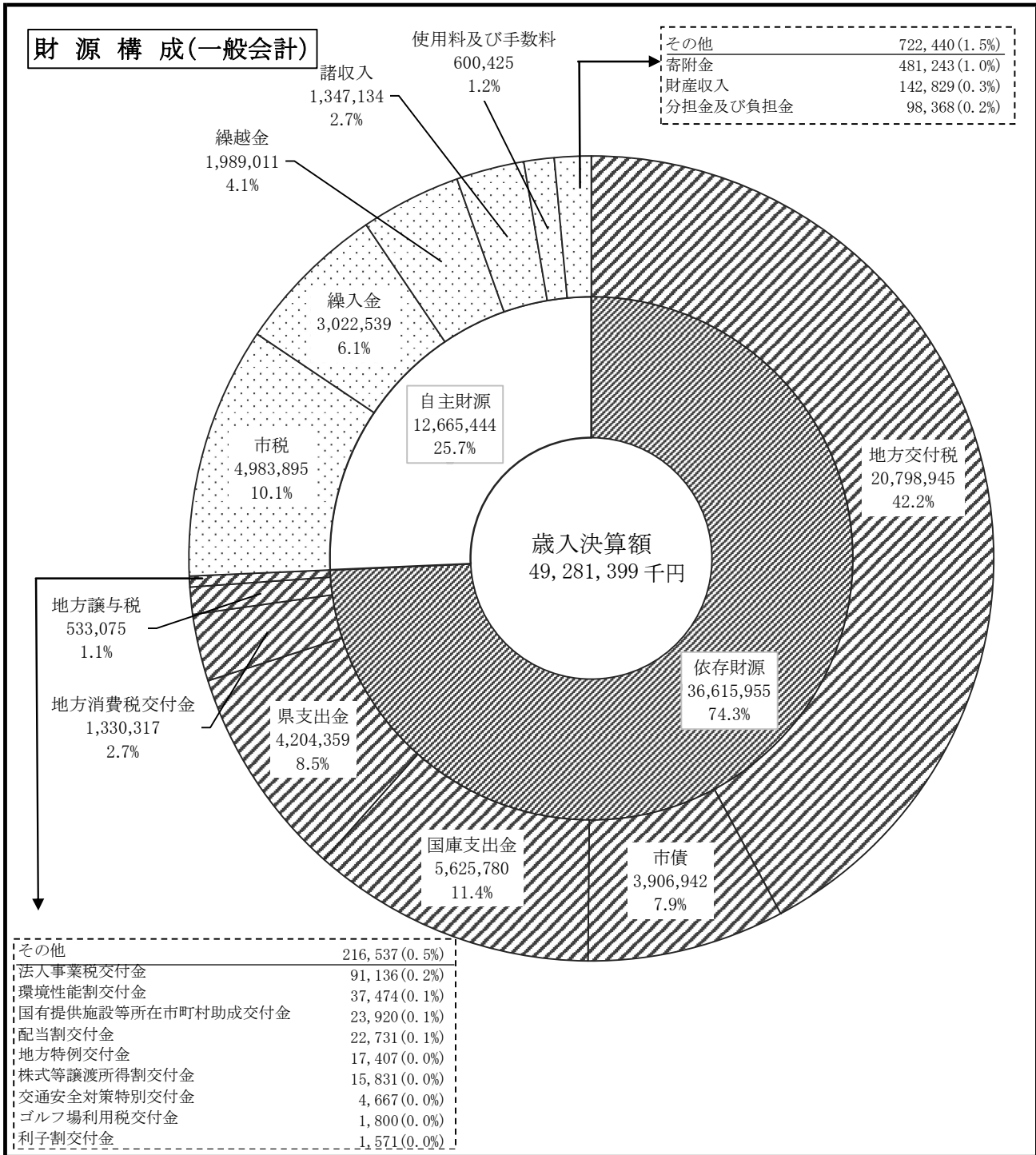
#### ( 1 ) 歳入の状況

(単位：千円、%)

項 目	令和4年度		令和3年度		比 較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
1. 市 税	4,983,895	10.1	4,970,469	9.7	13,426	0.3
2. 地 方 譲 与 税	533,075	1.1	531,673	1.0	1,402	0.3
3. 利 子 割 交 付 金	1,571	0.0	3,240	0.0	△ 1,669	△ 51.5
4. 配 当 割 交 付 金	22,731	0.1	26,809	0.1	△ 4,078	△ 15.2
5. 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	15,831	0.0	28,366	0.1	△ 12,535	△ 44.2
6. 法 人 事 業 税 交 付 金	91,136	0.2	57,794	0.1	33,342	57.7
7. 地 方 消 費 税 交 付 金	1,330,317	2.7	1,339,084	2.6	△ 8,767	△ 0.7
8. ゴルフ場利用税交付金	1,800	0.0	2,022	0.0	△ 222	△ 11.0
9. 環 境 性 能 割 交 付 金	37,474	0.1	37,837	0.1	△ 363	△ 1.0
10. 国 有 提 供 施 設 等 所 在 市 町 村 助 成 交 付 金	23,920	0.1	22,138	0.0	1,782	8.0
11. 地 方 特 例 交 付 金	17,407	0.0	130,670	0.3	△ 113,263	△ 86.7
12. 地 方 交 付 税	20,798,945	42.2	21,209,252	41.4	△ 410,307	△ 1.9
13. 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	4,667	0.0	5,218	0.0	△ 551	△ 10.6
14. 分 担 金 及 び 負 担 金	98,368	0.2	103,423	0.2	△ 5,055	△ 4.9
15. 使 用 料 及 び 手 数 料	600,425	1.2	600,030	1.2	395	0.1
16. 国 庫 支 出 金	5,625,780	11.4	6,131,729	12.0	△ 505,949	△ 8.3
17. 県 支 出 金	4,204,359	8.5	3,703,234	7.2	501,125	13.5
18. 財 産 収 入	142,829	0.3	121,600	0.2	21,229	17.5
19. 寄 附 金	481,243	1.0	433,153	0.9	48,090	11.1
20. 繰 入 金	3,022,539	6.1	1,628,149	3.2	1,394,390	85.6
21. 繰 越 金	1,989,011	4.1	2,068,400	4.0	△ 79,389	△ 3.8
22. 諸 収 入	1,347,134	2.7	1,717,743	3.4	△ 370,609	△ 21.6
23. 市 債	3,906,942	7.9	6,316,013	12.3	△ 2,409,071	△ 38.1
歳 入 合 計	49,281,399	100.0	51,188,046	100.0	△ 1,906,647	△ 3.7

# ○ 財 源 構 成

(単位：千円、%)



歳入は市税、諸収入、繰入金等、佐渡市自ら徴収又は収納することのできる「**自主財源**」と、地方交付税、国庫支出金、県支出金、地方譲与税等、国や県から定められた額を交付されたり、割り当てられたりする「**依存財源**」に区分されます。

歳入総額のうち自主財源は126億6,544万4千円で、25.7%に当たります。前年度は116億4,296万7千円で歳入総額の22.8%でしたので、構成比では2.9ポイント自主財源の割合が高くなり、金額では10億2,247万7千円増額となりました。

また、依存財源は366億1,595万5千円で、74.3%に当たります。前年度は395億4,507万9千円で歳入総額の77.2%でしたので、構成比では2.9ポイント依存財源の割合が低くなり、金額では29億2,912万4千円減額となりました。

歳入額全体では、地方交付税及び国庫支出金等が減額となったことから19億664万7千円減額となりました。

## ○ 市 税 の 状 況

税 目	令和4年度			令和3年度			比 較	
	調定額 (千円)	収入額 (千円)	徴収率 (%)	調定額 (千円)	収入額 (千円)	徴収率 (%)	収入額	
							増減額 (千円)	増減率 (%)
1. 市 民 税	1,973,074	1,940,669	98.4	2,056,087	2,023,935	98.4	△ 83,266	△ 4.1
個 人	1,732,417	1,703,210	98.3	1,788,998	1,760,878	98.4	△ 57,668	△ 3.3
法 人	240,657	237,459	98.7	267,089	263,057	98.5	△ 25,598	△ 9.7
2. 固 定 資 産 税	2,800,567	2,360,661	84.3	2,837,721	2,300,951	81.1	59,710	2.6
固 定 資 産 税	2,786,977	2,347,071	84.2	2,823,674	2,286,904	81.0	60,167	2.6
国 有 資 産 等 所 在 市 町 村 交 付 金	13,590	13,590	100.0	14,047	14,047	100.0	△ 457	△ 3.3
3. 軽 自 動 車 税	309,790	293,997	94.9	299,364	283,271	94.6	10,726	3.8
4. 市 た ば こ 税	367,104	367,104	100.0	350,354	350,354	100.0	16,750	4.8
5. 入 湯 税	21,675	21,464	99.0	13,064	11,958	91.5	9,506	79.5
合 計	5,472,210	4,983,895	91.1	5,556,590	4,970,469	89.5	13,426	0.3



## ○ 目的税等の使途に関する調書

市税の中で、一定の政策目的を達成するために使途を限定して課税しているものを目的税といいます。入湯税は、観光振興、消防施設などの整備や環境衛生施設に要する経費に充てるため、入湯客に課税しています。

また、平成26年4月から引き上げられた地方消費税の増収分については、社会保障施策に要する経費に充てるものとされています（平成26年1月24日付け総務省通知）。森林環境譲与税は森林整備に関する施策、森林の整備を担うべき人材の育成及び確保、森林の有する公益的機能に関する普及啓発、木材の使用促進等に要する経費に充てるものとされています（平成31年法律第3号 森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律）。

### 1 入湯税

決算額21,464千円

(単位：千円)

経費区分	決算額	財源内訳				
		特定財源			一般財源	
		国・県支出金	市債	その他		うち充当額
観光振興	428,741	134,199	19,800	112,143	162,599	16,153
消防施設	148,713	8,229	99,500	0	40,984	4,073
環境衛生施設	24,248	11,792	0	0	12,456	1,238
合計	601,702	154,220	119,300	112,143	216,039	21,464

### 2 地方消費税交付金

決算額1,330,317千円のうち社会保障財源化分726,999千円

(単位：千円)

経費区分	決算額	財源内訳				
		特定財源			一般財源	
		国・県支出金	市債	その他		うち充当額
社会福祉	3,087,513	2,019,765	8,700	55,094	1,003,954	240,137
社会保険(国保・介護等)	1,842,720	292,329	0	0	1,550,391	370,839
保健衛生	493,529	3,952	0	4,509	485,068	116,023
合計	5,423,762	2,316,046	8,700	59,603	3,039,413	726,999

### 3 森林環境譲与税

決算額42,244千円

(単位：千円)

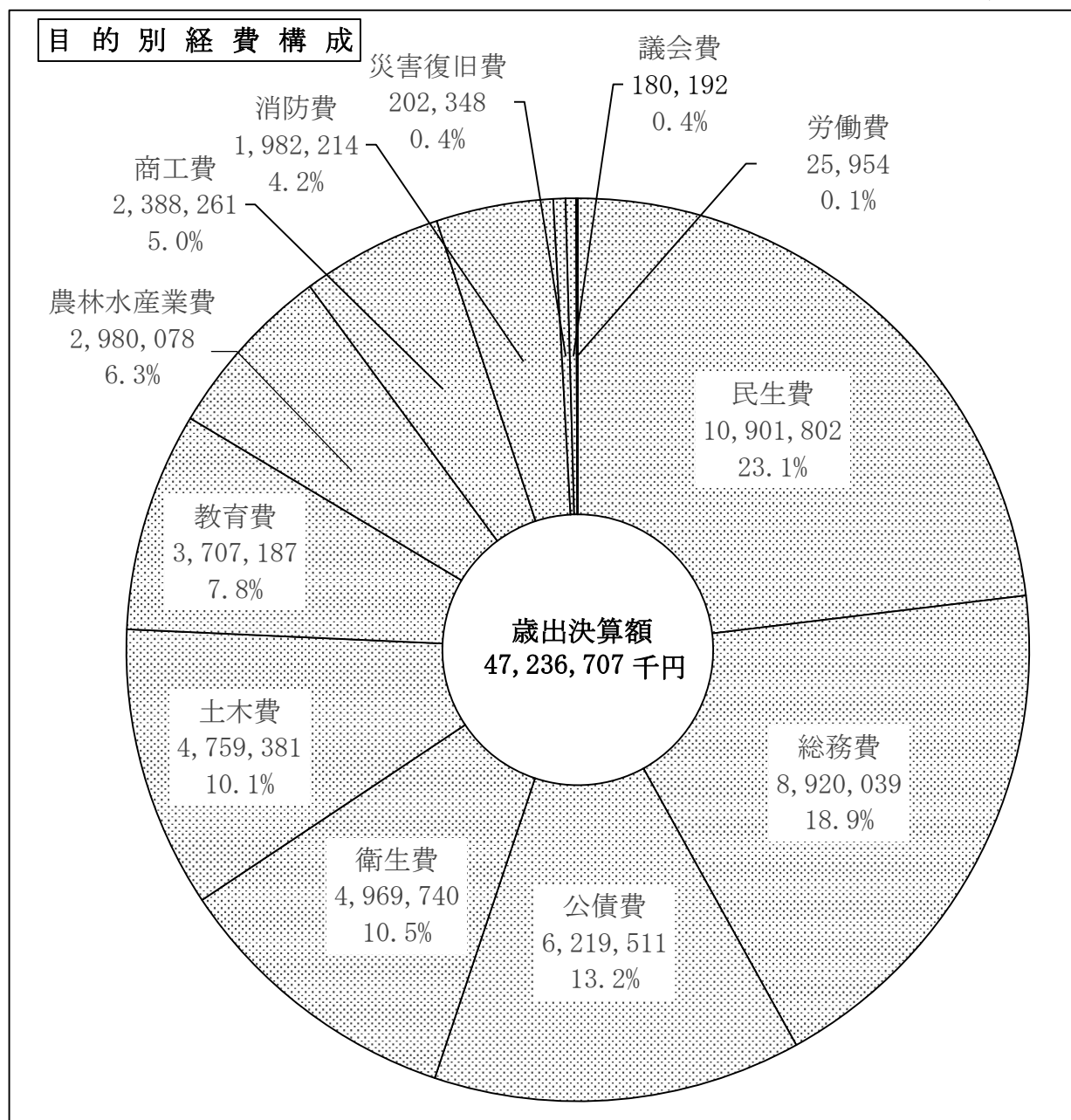
経費区分	決算額	財源内訳				
		特定財源			一般財源	
		国・県支出金	市債	その他		うち充当額
森林整備の準備作業	3,135	0	0	0	3,135	3,135
林道・林専道の整備等	68,356	0	0	0	68,356	23,816
林業就業者の育成	2,689	0	0	0	2,689	2,689
木造公共建築物の整備等	10,525	0	0	0	10,525	10,524
その他(専門員の雇用)	2,081	0	0	0	2,081	2,080
合計	86,786	0	0	0	86,786	42,244

( 2 ) 歳出の状況

○ 目的別内訳

(単位：千円、%)

項 目	令和4年度		令和3年度		比 較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
1. 議 会 費	180,192	0.4	175,837	0.4	4,355	2.5
2. 総 務 費	8,920,039	18.9	6,901,739	14.0	2,018,300	29.2
3. 民 生 費	10,901,802	23.1	11,397,800	23.2	△ 495,998	△ 4.4
4. 衛 生 費	4,969,740	10.5	5,261,288	10.7	△ 291,548	△ 5.5
5. 労 働 費	25,954	0.1	20,623	0.0	5,331	25.8
6. 農 林 水 産 業 費	2,980,078	6.3	2,998,284	6.1	△ 18,206	△ 0.6
7. 商 工 費	2,388,261	5.0	2,205,400	4.5	182,861	8.3
8. 土 木 費	4,759,381	10.1	4,714,560	9.6	44,821	1.0
9. 消 防 費	1,982,214	4.2	2,250,035	4.6	△ 267,821	△ 11.9
10. 教 育 費	3,707,187	7.8	4,797,131	9.7	△ 1,089,944	△ 22.7
11. 災 害 復 旧 費	202,348	0.4	411,522	0.8	△ 209,174	△ 50.8
12. 公 債 費	6,219,511	13.2	8,064,816	16.4	△ 1,845,305	△ 22.9
13. 諸 支 出 金	0	0.0	0	0.0	0	—
歳 出 合 計	47,236,707	100.0	49,199,035	100.0	△ 1,962,328	△ 4.0



◆総務費（前年度比 20億1,830万円の増）

庁舎建設費が10億4,263万6千円の増となったため、総務費は増額となりました。

◆民生費（前年度比 4億9,599万8千円の減）

子育て世帯等臨時特別支援事業（電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金）の実施により3億7,035万9千円、物価高騰等に対応する暮らし応援事業（新型コロナ対策）及び物価高騰等に対する緊急生活支援事業（新型コロナ対策）の実施により2億44万8千円がそれぞれ増となった一方、住民非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業の終了により5億3,445万4千円、子育て世帯への臨時特別給付金給付事業の終了により6億5,230万9千円がそれぞれ減となったため、民生費は減額となりました。

◆教育費（前年度比 10億8,994万4千円の減）

佐渡中央文化会館整備事業の終了により、教育費は減額となりました。

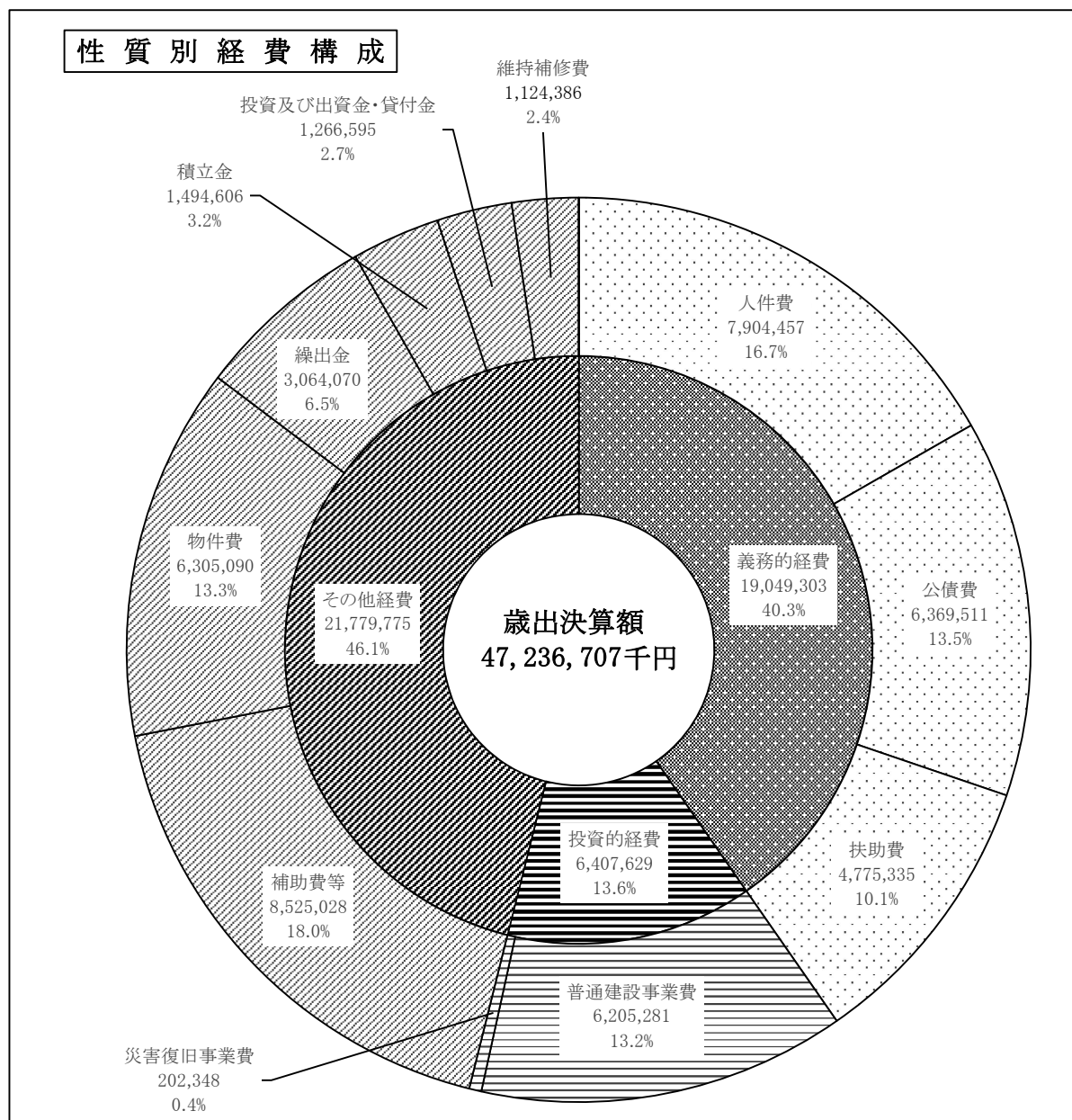
◆公債費（前年度比 18億4,530万5千円の減）

市債残高の減少に伴う償還額の減及び令和4年度は借換債の発行がなかったため、公債費は減額となりました。

○ 性 質 別 内 訳

(単位：千円、%)

項 目	令和4年度		令和3年度		比 較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
1. 人 件 費	7,904,457	16.7	7,851,591	16.0	52,866	0.7
2. 物 件 費	6,305,090	13.3	5,884,512	12.0	420,578	7.1
3. 維 持 補 修 費	1,124,386	2.4	1,010,852	2.1	113,534	11.2
4. 扶 助 費	4,775,335	10.1	5,493,121	11.2	△ 717,786	△ 13.1
5. 補 助 費 等	8,525,028	18.0	7,825,850	15.9	699,178	8.9
6. 公 債 費	6,369,511	13.5	8,214,816	16.7	△ 1,845,305	△ 22.5
7. 投資及び出資金・貸付金	1,266,595	2.7	1,247,427	2.5	19,168	1.5
8. 繰 出 金	3,064,070	6.5	3,020,119	6.1	43,951	1.5
9. 積 立 金	1,494,606	3.2	1,303,403	2.6	191,203	14.7
10. 普通建設事業費	6,205,281	13.2	6,935,822	14.1	△ 730,541	△ 10.5
11. 災害復旧事業費	202,348	0.4	411,522	0.8	△ 209,174	△ 50.8
12. 失業対策事業費	0	0.0	0	0.0	0	—
13. 前年度繰上充用金	0	0.0	0	0.0	0	—
歳 出 合 計	47,236,707	100.0	49,199,035	100.0	△ 1,962,328	△ 4.0



◆義務的経費…人件費、公債費、扶助費 (前年度比 25億1,022万5千円の減)

- ・歳出のうち、その支出が義務付けられており、任意に削減することができない経費。

子育て世帯への臨時特別給付金給付事業や住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業の終了などにより扶助費が減額となったほか、借換債の発行が令和4年度はなかったこと及び市債残高の減少に伴う償還額の減により公債費が減額となったため、義務的経費は減となりました。

◆投資的経費…普通建設事業費、災害復旧事業費 (前年度比 9億3,971万5千円の減)

- ・歳出のうち、公共施設や道路など社会資本の形成のために支出された経費。

佐渡中央文化会館整備事業、一般廃棄物処理施設整備費の終了などにより、普通建設事業費が減少したため、投資的経費は減となりました。

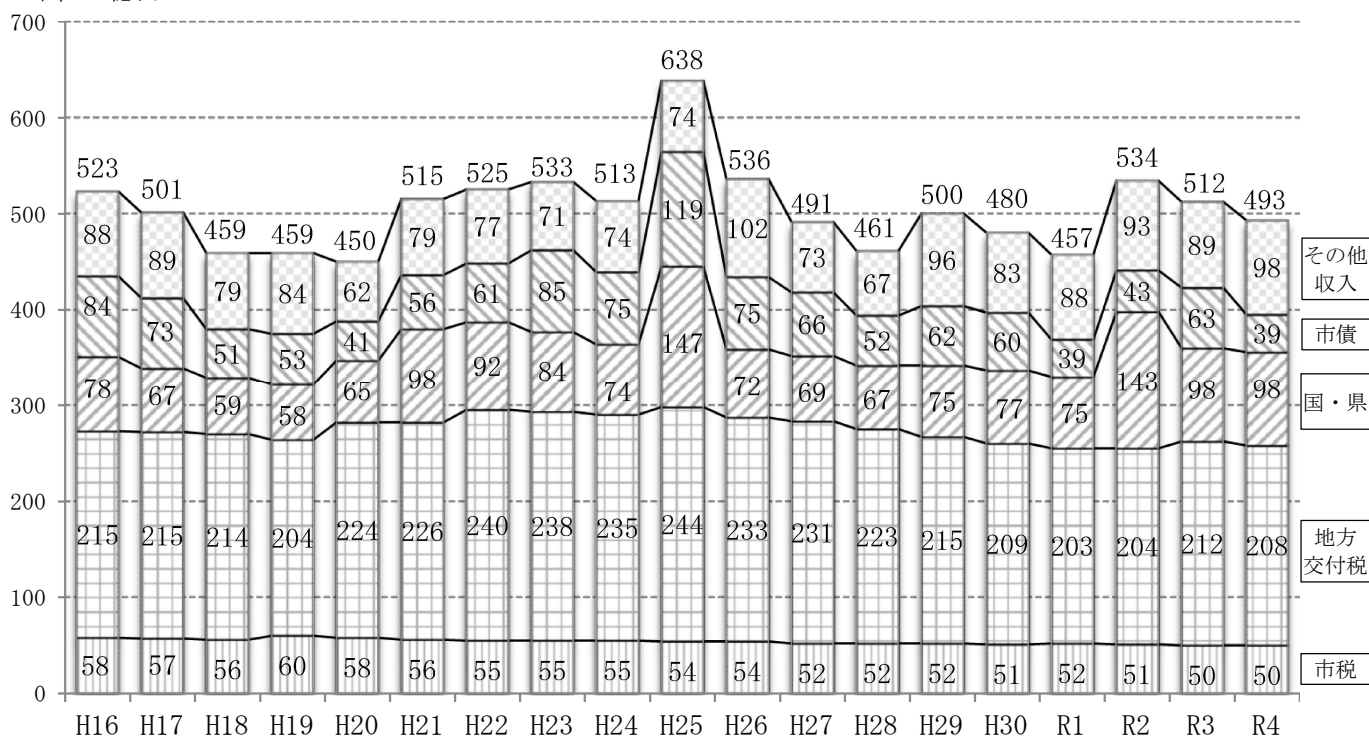
◆その他経費…補助費等、物件費、繰出金、積立金、投資及び出資金・貸付金、維持補修費  
・義務的経費及び投資的経費以外の経費。 (前年度比 14億8,761万2千円の増)

プレミアムどこでも商品券発行事業(新型コロナ対策)や航路運賃低廉化事業などの経済活動や市民生活の回復に関する補助費等が増額となったため、その他経費は増となりました。

### ( 3 ) 決算額の推移

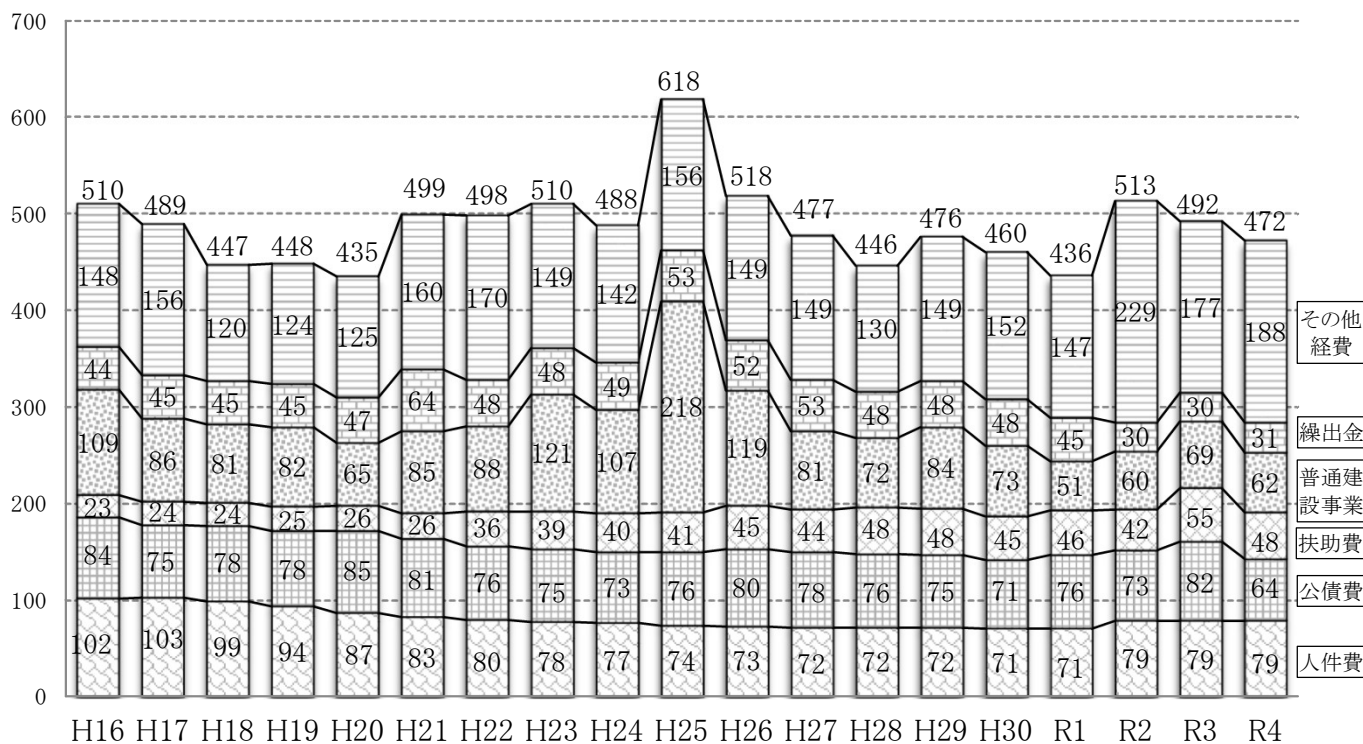
#### 歳入

単位：億円



#### 歳出

単位：億円



## ( 4 ) 基金現在高

### 1. 一般会計

(単位：千円、%)

区分	令和3年度 末 残 高	令和4年度中の増減		令和4年度 末 残 高	比較	
		積立額	取崩額		増減額	増減率
財政調整基金	6,265,741	706,738	1,932,029	5,040,450	△ 1,225,291	△ 19.6
減債基金	1,469,878	8,512	192,000	1,286,390	△ 183,488	△ 12.5
行政庁舎建設基金	422,601	7	1,100	421,508	△ 1,093	△ 0.3
地域福祉基金	75,476	7,402	7,400	75,478	2	0.0
トキ環境整備基金	130,139	68,116	70,836	127,419	△ 2,720	△ 2.1
国営・県営総合土地改良事業基金	333,270	6	4,876	328,400	△ 4,870	△ 1.5
産業振興基金	129,069	4	22,691	106,382	△ 22,687	△ 17.6
教育文化振興基金	98,783	51,604	84,900	65,487	△ 33,296	△ 33.7
地域振興基金	5,656,746	32,413	241,200	5,447,959	△ 208,787	△ 3.7
堀口基金	146,965	10,878	8,785	149,058	2,093	1.4
過疎地域持続的発展特別事業基金	1,485,359	211,618	341,500	1,355,477	△ 129,882	△ 8.7
世界遺産推進基金	176,241	60,742	0	236,983	60,742	34.5
子ども未来応援基金	58,604	43,701	29,700	72,605	14,001	23.9
地域医療基金	0	270,864	0	270,864	270,864	皆増
企業版ふるさと納税基金	0	22,000	0	22,000	22,000	皆増
計	16,448,872	1,494,605	2,937,017	15,006,460	△ 1,442,412	△ 8.8

### (定額運用基金)

(単位：千円、%)

区分	令和3年度 末 残 高	令和4年度中の増減		令和4年度 末 残 高	比較	
		積立額	取崩額		増減額	増減率
畜産振興基金	14,438	0	0	14,438	0	0.0
肉用牛特別導入事業基金	12,456	0	0	12,456	0	0.0
土地開発基金	1,004,753	22	0	1,004,775	22	0.0
計	1,031,647	22	0	1,031,669	22	0.0

### 2. 特別会計

(単位：千円、%)

区分	令和3年度 末 残 高	令和4年度中の増減		令和4年度 末 残 高	比較	
		積立額	取崩額		増減額	増減率
国民健康保険事業財政調整基金	86,894	3	20,000	66,897	△ 19,997	△ 23.0
介護給付費準備基金	417,220	107,792	0	525,012	107,792	25.8
特別養護老人ホーム歌代の里運営基金	6	0	0	6	0	0.0
五十里財産区財政調整基金	15,314	0	0	15,314	0	0.0
二宮財産区財政調整基金	13,641	0	0	13,641	0	0.0
真野財産区基金	2,657	1	0	2,658	1	0.0
小水力発電所運営事業基金	41,180	8,236	0	49,416	8,236	20.0
計	576,912	116,032	20,000	672,944	96,032	16.6

( 5 ) 款別主要な施策の成果

2 款 総務費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
1 項 総務管理費 1 目 一般管理費	公共施設適正 化推進事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		7, 623, 000円	(新規)	—	P78
		目的 市が保有する公共施設の利用状況や維持管理費等の状況を調査し、立地状況分析を行い、施設の必要性等を分析評価した上で、集約化・複合化等の取り組みによる施設の総量の適正化の方向性を検討する。			
		取組内容・実績 ○佐渡市公共施設適正配置分析業務委託 ・業務期間 令和4年5月18日から令和5年3月22日まで ・契約金額 7, 623, 000円			
成果 市が保有する公共施設の利用状況や維持管理費等の状況を調査し、立地状況分析を行い、施設の必要性等を分析評価した上で、集約化・複合化等の取り組みによる施設総量の適正化の方向性を検討し、上位・関連計画と整合つけた、今後の方策に資する基礎資料を作成することができた。					
1 項 総務管理費 6 目 庁舎建設費	(継続費)庁舎 整備費	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		1, 102, 380, 100円	125, 658, 538円	976, 721, 562円	(継続費) P82
	(逡線)庁舎整 備費	128, 829, 243円	—	—	(逡線) P82
		目的 新庁舎建設と現庁舎の大規模改修を行い、災害時においても市役所機能が低下せず業務継続が可能となる、災害時の司令塔としての強固な庁舎を整備する。併せて、利用者の利便性向上を図る。			
取組内容・実績 (1) 業務期間 令和3年度から令和5年度まで (2) 総事業費 3, 980, 005, 000円 (3) 施設概要 ○防災拠点庁舎 (新庁舎) ・庁舎部分：鉄筋コンクリート造3階建 (延べ面積4, 861. 80㎡) ・渡り廊下部分：鉄骨造3階建 (延べ面積 219. 52㎡) ○現庁舎 (大規模改修) ・鉄筋コンクリート造3階建 (延べ面積 2, 984. 98㎡) (4) 令和4年度実施内容 ○防災拠点庁舎建設工事(建築／電気設備／機械設備) ○現庁舎大規模改修工事(建築／電気設備／機械設備) ○佐渡市防災拠点庁舎ネットワーク移設工事					
成果 防災拠点庁舎建設及び現庁舎大規模改修工事を計画スケジュールどおりに実施し、令和5年度の完成に向け遅延なく整備を進められた。 ○令和4年度工事進捗状況 予定実績：47. 8% ⇒ 4月末実績：55. 2% (防災拠点庁舎工事 建築／電気設備／機械設備工事合算値)					



2 款 総務費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
1 項 総務管理費 7 目 企画費	佐渡教育コンソーシアム事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		168,781円	55,680円	113,101円	P84
		<p>目的</p> <p>「佐渡教育コンソーシアム」のプラットフォームを通じた協働体制の強化を図り、中高生に地域学習をはじめとする「より良い学びの場」を提供し、将来の佐渡を担う人材育成を図る。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>1 高校生議会、地域学習会等の開催支援</p> <p>市内の高等学校・中等教育学校の生徒が地域課題を学び、解決に向けて議論を深め、発表する機会として高校生議会や地域学習会を開催。</p> <p>(1) 高校生議会 令和4年8月18日開催 各高校での地域学習等 令和4年5月～令和5年3月開催 (島内企業訪問、英語ガイド実地研修等)</p> <p>(2) 実績額 生徒の移動に係る車両運転委託料 52,470円 燃料費 16,311円</p> <p>2 佐渡教育コンソーシアム講演会開催</p> <p>「マイプロジェクト」の事例から中学校・高等学校での探究的な学びや地域の未来を担う人づくりについて学ぶ講演会を開催。</p> <p>(1) 講演会 令和4年11月12日開催</p> <p>(2) 実績額 講師派遣手数料 100,000円</p>			
<p>成果</p> <p>教育プラットフォームとして高等学校や中学校への情報提供や学びの場を提供する支援を行い、人材育成の機会を創出した。</p>					
	佐渡ふるさと島づくり寄附金事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		218,103,737円	198,733,700円	19,370,037円	P84
		<p>目的</p> <p>ふるさと納税制度を通じて、市の自主財源を確保するとともに、多くの方から佐渡を応援いただき、ブランド力向上と地域経済の活性化を図る。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>・寄附金額：計画420,000,000円 実績422,901,804円 (前年度比33,319,545円増)</p> <p>・寄附件数：計画21,000件 実績22,700件 (前年度比1,085件増)</p> <p>・返礼品数：1,021品 (前年度比288品増)</p> <p>(朱鷺と暮らす郷の定期便、楽天トラベルクーポンなど)</p>			
<p>成果</p> <p>寄附受付サイトを追加し(2サイト)間口を広げたほか、ふるさと納税特設サイトの開設やリスティング広告等を実施した。サイトでの情報発信および返礼品の紹介を行い寄附額の増加に繋がった。</p> <p>返礼品を通じた市のPRにより、ファンの獲得と、市内産業の活性化を推進できた。</p>					

2 款 総務費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
1 項 総務管理費 7 目 企画費	交通対策事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		264, 093, 457円	257, 078, 067円	7, 015, 390円	P86
		<p>目的</p> <p>市内を運行する16路線のバス運行を確保するとともに、高齢者等の運賃割引サービスの実施や観光地までの延伸等により公共交通の利用促進を図る。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>○生活交通確保対策運行費補助金（補助対象16路線39系統）</p> <p>廃止代替路線：12路線32系統 242, 513, 000円</p> <p>幹線：1路線1系統 4, 953, 000円</p> <p>・利用者数：200, 657人（前年度204, 108人）</p> <p>○地域公共交通活性化協議会負担金 12, 669, 000円</p> <p>(1) 路線バス代替実証運行</p> <p>利用者が減少するバス路線の代替交通としてデマンド交通の実証運行を行い、ニーズ把握及び運行管理体制に関する調査を実施。</p> <p>①わたつデマンドバス（度津線の代替運行）</p> <p>・期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日</p> <p>・利用実績：721便、乗車人員1, 477人（平均2.05人 前年比+0.09人）</p> <p>②定期路線のデマンド運行（内海府線・前浜線・宿根木線）</p> <p>・期間：令和4年6月1日～令和5年3月31日</p> <p>・定期運行から予約制に変更した場合の運行便数の変化を調査し、デマンド運行の効果を検証。</p> <p>(2) 定額タクシー運賃実証事業（新規）</p> <p>高齢者の通院、買物、共働き夫婦の子供の通塾など、各地域の実情に応じた移動ニーズに対し、定額タクシー運賃の実現可能性を調査</p> <p>・期間：令和4年12月19日（月）から令和5年3月17日（金）までの平日午前9時から午後4時まで。土日祝日・年末年始（12/31～1/3）運休</p> <p>・実施地区：概ね半径5km圏内で通院や買物等が完結できるエリアとして小木地区をモデル地区に設定</p> <p>・利用券販売数：6件</p> <p>・利用実績：23回</p> <p>(3) 公共交通利用促進事業</p> <p>病院乗入便パンフレット作成 23, 000部 年2回 全戸配布</p> <p>(4) 観光二次交通事業</p> <p>延伸、迂回した観光施設 14か所</p> <p>・期間：令和4年4月～11月（土・日・祝日運行）</p> <p>・利用実績：8, 739人（前年度8, 441人）</p> <p>バス乗り放題パス（1 day、2 day、3 day）販売</p> <p>・販売実績：6, 278枚（前年度3, 386枚）</p> <p>○運転免許証返納支援事業 2, 180, 000円</p> <p>高齢者の運転免許証自主返納を促し、公共交通の利用促進及び交通事故の抑制を図った。</p> <p>・バス・タクシー共通利用券（1万円分）交付実績：218人（前年度231人）</p>			
<p>成果</p> <p>生活交通の維持と利用促進を図りつつ、デマンド交通及び新モビリティの活用調査を実施し、公共交通サービスの充実に向けた取り組みを推進することができた。</p>					

2 款 総務費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
1 項 総務管理費 7 目 企画費	海上輸送費支 援事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		25,777,850円	25,196,353円	581,497円	P86
		目的 戦略産品となる原木、水産品、飲料、電気機械及び農産加工品の海上輸送費を支援することにより、流通条件不利性の緩和を図り、生産量及び生産人口の維持、企業の誘致、生産者所得の向上につなげる。			
		取組内容・実績 対象品目別補助金額 ・原木 7,685,725円 (前年度 8,242,634円) ・その他の水産品 1,036,503円 (前年度 1,166,933円) ・飲料 11,223,701円 (前年度 10,573,044円) ・電気機械 4,942,290円 (前年度 4,451,794円) ・農産加工品 889,631円 (前年度 761,948円)			
		成果 各産品の海上輸送コストを低減することで流通条件不利性の緩和が図られ生産量及び生産人口の維持に務めることができた。			
	島留学推進事 業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		1,036,044円	(新規)	—	P86
		目的 高等学校と多様な関係者で協働・受入体制の構築を図り、「地域みらい留学制度」を活用した島留学を推進する。			
		取組内容・実績 1 地域みらい留学合同学校説明会への参加 (一財) 地域・教育魅力化プラットフォームが提供する「地域みらい留学制度」に羽茂高等学校と連携して参画し、地域外入学をしようとする中学生と保護者への説明会に参加。 (1) 参加期間 令和4年6月から令和4年11月 (2) 実績額 参画負担金 880,000円 参加旅費 92,244円 2 島留学生の受入れ環境整備 島留学生の受入れにあたり、生活する住居の改修工事を実施。 ・実績額 改修工事費 63,800円			
		成果 地域みらい留学制度を利用して令和5年4月より2名の生徒が羽茂高等学校に入学。			

2 款 総務費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
1 項 総務管理費 7 目 企画費	新モビリティサービス推進事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		19, 118, 000円	(新規)	—	P86
		<p>目的</p> <p>路線バス利用者減少による市の財政負担の増大や、バス・タクシー運転手の担い手不足や高齢化といった課題を解決するため、人の関与を極力簡素化・合理化し、使いやすく柔軟な運行を実現できる自動運転等の次世代モビリティサービスの社会実装を目指す。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>○自動運転実証調査業務委託 17, 622, 000円 持続可能な公共交通サービスを実現するため、自動運転の社会実装に向けた基礎調査として地域住民・企業等の理解深化、自動走行の地図データ収集体制の構築を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域座談会</li> <li>・自動運転ワークショップ（相川・小木）5回 112人参加</li> <li>・自動運転車の試乗会（東京都内） 試乗19人</li> <li>・映像コンテンツ制作 映像本数：2本</li> <li>・アンケート調査 4, 000人</li> <li>・カメラ搭載車による地図データ収集走行：公用車4台</li> </ul> <p>○タクシー共同配車システム導入支援補助金 1, 496, 000円 タクシー事業者のIT化を推進し、来訪者や住民に利便性の高い移動サービスを提供するため、効率的な配車体制のシステム導入費用を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施期間：令和4年7月27日～令和5年2月28日</li> <li>・5社38台が参加して配車システムを運用</li> <li>・配車センターは外部委託し配車管理を実施</li> </ul>			
<p>成果</p> <p>自動運転実証調査では次世代モビリティサービスの社会実装に向けた取組を推進することができた。また、今後の計画やロードマップ作成にあたり、効果的なデータを取得できた。</p> <p>タクシー共同配車システム導入支援では、システムの運用により50回の着信を得ることができた。</p>					

2 款 総務費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
1 項 総務管理費 7 目 企画費	ゼロカーボン アイランド推 進事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		36,000,465円	13,165,029円	22,835,436円	P88
		<p>目的</p> <p>2050年ゼロカーボンアイランドの実現に向けて、再生可能エネルギーを活用した持続可能な島づくりを推進する。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>1 地域再エネ導入戦略策定業務委託料 再生可能エネルギーの導入促進に向けて、太陽光発電ポテンシャルマップの作成や情報発信のためのシンポジウムの開催、小中学生向け教材の制作及び教員研修などを実施。 (1) 業務期間 令和4年8月24日から令和5年2月15日 (2) 実績額 23,430,000円</p> <p>2 脱炭素先行事業支援業務委託料 環境省に選定された脱炭素先行地域づくり事業を円滑に実施するため、専門的な知見をもとに、会議の運営、各種資料の作成支援などを実施。 (1) 業務期間 令和4年7月4日から令和5年3月17日 (2) 実績額 4,998,400円</p> <p>3 SDGs 推進事業業務委託料 島内におけるSDGsの普及啓発として市民向けガイドブックを制作するほか、SDGsに資する取組の情報発信ツールとして特設サイトを開設。 (1) 業務期間 令和4年9月30日から令和5年3月31日 (2) 実績額 1,764,400円</p> <p>4 再エネ推進補助制度の実施 再生可能エネルギーの有効活用と災害時等の電源確保を図り、地球温暖化の防止及び災害に強い島づくりを推進するため、太陽光発電設備や電気自動車等の導入に対する補助を実施。 (1) 対象者 市内の個人及び法人 (2) 補助実績 ・太陽光発電設備 7件 1,047,000円 (令和4年度新規) ・蓄電池設備 10件 2,715,000円 (前年度: 9件 1,875,000円) ・電気自動車 2件 668,000円 (令和4年度新規)</p>			
<p>成果</p> <p>再生可能エネルギーの導入拡大のための調査や太陽光発電ポテンシャルマップ等を作成し、また、シンポジウムの実施等により普及啓発が図られた。</p> <p>SDGs推進に関しても、佐渡SDGsパートナーによる島内企業・NPO・団体との連携、SDGsガイドブック、SDGs特設サイトの開設により、普及啓発が図られた。</p> <p>補助制度については、市内の個人宅等において太陽光発電設備等の導入を促進し、地産地消エネルギーの有効活用と非常時等における自立電源の確保が図られた。</p>					

2 款 総務費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
1 項 総務管理費 1 1 目 移住促進費	U・I ターン サポート事業	30,230,213円	22,707,076円	7,523,137円	P92
		<p>目的</p> <p>市内に就労し定着した若者への奨学金返還助成をはじめ、家賃補助、引越し費用助成、空き家改修費補助など、移住希望者への支援を拡充し利用促進を図る。</p> <p>また、佐渡U I ターンサポートセンターと連携して、移住者の定着率を高めるための仕組みづくりや、関係人口や移住希望者のコミュニティの活性化を図る。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>令和4年度移住者数：600名（前年度比：+97名）</p> <p>①佐渡U I ターンサポートセンター業務委託料 8,670,550円</p> <p>・佐渡部交流イベント参加者数：28名</p> <p>・佐渡暮らしサポーターズ登録人数：22名</p> <p>②空き家改修費等補助事業補助金 2,372,000円</p> <p>計画：9件 実績：5件</p> <p>③若者定住家賃補助事業補助金 4,516,000円</p> <p>計画：19件 実績：42件</p> <p>④移住・就業支援事業補助金 8,400,000円</p> <p>計画：4件 実績：8件</p> <p>⑤引越し補助金 750,000円</p> <p>計画：15件 実績：15件</p> <p>⑥U I ターン者奨学金返還支援補助金 3,156,000円</p> <p>計画：30件 実績：24件</p> <p>⑦島留学生生活支援金 730,000円</p> <p>計画：3件 実績：7件</p>			
		<p>成果</p> <p>移住者数は前年度と比較し97名増の600名となり、若者移住者数も346名（前年比+20人）と増加し、移住者数に対する若者の比率も58%となった。</p> <p>空き家バンクの掲載物件は52件となり、34件の売買と3件の賃貸が成立し、空き家の利活用につながった。</p>			

2 款 総務費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
1 項 総務管理費 1 1 目 移住促進費	お試し住宅体験事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		14,710,697円	17,974,288円	△3,263,591円	P94
		<p>目的</p> <p>お試し住宅の運用により移住希望者の移住と定着を図る。また、集落と連携し集落内の空き家を活用したお試し住宅を、近年自動車の運転免許を持たない若者移住者にも対応できる地域で整備する。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>既存10棟のお試し住宅の利用促進を図るとともに、佐和田地区の鍛冶町集落の空き家を若者世帯や親子ワーケーションで滞在する世帯向けのお試し住宅として整備した。</p> <p>・かじまち住宅改修工事 <span style="float: right;">7,508,600円</span></p>			
<p>成果</p> <p>定住体験住宅の改修工事が完了し、移住希望者の受入れを集落連携して受入れる体制を構築できた。</p> <p>令和4年度成果として、21組30名（令和3年度：9組12人）を受入れ13組22名（令和3年度：4組6名）の移住につながった。</p>					
	(繰明)お試し住宅体験事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		13,532,200円	—	—	P94
		<p>目的</p> <p>宿根木の伝統的な空き家を活用して、移住希望者のみならず、多拠点居住者などの滞在拠点として整備し、交流・関係人口の受入れ拡大を図る。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>宿根木の伝統的家屋（空き家）を活用し、移住・交流拠点となる宿根木交流拠点住宅を整備した。</p> <p>・宿根木交流拠点住宅改修工事 <span style="float: right;">13,426,600円</span></p> <p>・宿根木交流拠点住宅インターネット開設 <span style="float: right;">105,600円</span></p>			
<p>成果</p> <p>（一社）宿根木を愛する会をはじめ、地元集落等の関係者との協議を重ねて、文化財等の規制のみならず、関係者の要望にも対応した交流拠点住宅が完成した。</p> <p>今後はこの住宅の活用にあたり、ADDRESS会員等の2地域居住者をはじめとした移住希望者の交流の場としていく。</p>					

2 款 総務費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
1 項 総務管理費 1 2 目 特定有人国境 離島地域社会 維持推進費	航路運賃低廉 化事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		523, 137, 362円	340, 082, 284円	183, 055, 078円	P96
		目的 島民の利便性の向上を図るため、島民の航路運賃を J R 並みまで低廉化する。			
		取組内容・実績 ○航路運賃低廉化事業補助金 522, 711, 482円 ・島民利用者数：延べ318, 923人（前年度延べ246, 340人） ・全体利用者のうち島民利用者の割合31. 0%（前年度32. 1%） （準住民対象者） ・離島出身学生：55人（前年度32人） ・定住体験住宅貸付事業：13人（前年度11人） ・大学連携協定：406人（前年度302人） ・介護帰省：441人			
		成果 長期化していた新型コロナウイルス感染症の移動制限の緩和等により島民利用者数が増加した。航路の運賃低廉化を実施することにより住民生活の安定に寄与することができた。			
	輸送コスト低 廉化事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		120, 167, 177円	110, 739, 287円	9, 427, 890円	P96
		目的 農水産物の島外出荷並びに原材料の入荷にかかる海上輸送コストを支援することにより価格差の減少及び販売力強化を図る。			
		取組内容・実績 <b>【取組内容】</b> 米、野菜類、果物類、鳥獣類、魚介類（生鮮、冷凍もの）の移出及び炭酸ガス、飼料、発泡スチロール箱の移入にかかる海上輸送費に対し補助金を交付した。  <b>【実績】</b> 交付件数：31事業者（前年度29事業者）			
		成果 海上輸送費を支援し、本土との流通条件不利性の緩和を図ることで生産者及び事業者の経費負担軽減と島外出荷に係る意欲向上と販路拡大に向けた後押しとなった。			



2 款 総務費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
1 項 総務管理費 1 2 目 特定有人国境 離島地域社会 維持推進費	滞在型観光促進事業（世界遺産登録推進対応）	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		82,588,829円	30,215,257円	52,373,572円	P96
		<b>目的</b> 多様な旅行者ニーズに合わせ、ターゲット・ジャンル別に魅力ある着地型の商品造成を行い、滞在型観光の促進及び満足度・リピート率の向上を図る。			
		<b>取組内容・実績</b> ・体験パック利用者数 1,362人（前年度470人） ・旅行商品造成による団体利用者数 6,734人（前年度2,670人） ・体験クーポン付き企画乗船券利用者数 236人（新規） ・3泊以上滞在型企画乗船券利用者数 3,186人（前年度1,386人） ・テーマ別観光旅行商品造成数 2種（前年度3種） ・インバウンド向け企画乗船券利用者数 1人（前年度29人）			
		<b>成果</b> 商談会でのセールスやSNS広告等でのPRにより、当初目標と比較すると大幅に利用者を増やすことができ、体験、宿泊事業者への支援及び島内の旅行消費額増に繋げることができた。			
	創業・事業拡大等支援事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		511,714,528円	552,322,817円	△40,608,289円	P96
		<b>目的</b> 特定有人国境離島地域における持続的な居住が可能となる環境の整備を図るため、雇用増を伴う創業又は事業拡大を行う民間事業者等に対して、その事業資金の一部を支援するとともに、事業者の早期の自立化を促すため、民間事業者を活用し、フォローアップ支援を行う。			
		<b>取組内容・実績</b> <b>【取組内容】</b> 61件（創業7件、事業拡大54件）の事業者に対して支援を行った。 また、フォローアップ支援では、47件の採択事業者に対してモニタリングを実施し、業績評価指標の達成状況や雇用の状況を把握した上で、必要な経営指導や助言を行った。 <b>【実績】</b> 雇用機会拡充事業補助金 件数：61件（前年度70件）、補助額：490,878,000円 （前年度：551,523,000円） 採択事業者フォローアップ支援業務委託 委託料：19,965,000円			
		<b>成果</b> 雇用機会の拡充に寄与する創業又は事業拡大を行おうとする民間事業者を支援することにより91名の新規雇用者を創出し、雇用の受け皿づくりを促進した。 また、フォローアップ支援により、事業者の早期の自立化促進を図ることが出来た。			

2 款 総務費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
1 項 総務管理費 1 3 目 コミュニティ 活動推進費	地域の活力再生事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		56,705,773円	52,138,689円	4,567,084円	P96
		目的 人口減少に伴う少子・高齢化が進む地域の課題を解決するため、都市等から人材を受け入れ、地域コミュニティや集落行事等の維持・活性化を図り、地域の賑わい創出と地域への定住を図る。			
		取組内容・実績 ( )内数は前年度実績 ○地域おこし協力隊 ・新規任用 計画：15人 実績：3人 ・継続任用 実績：15人 ・退任 3人 (うち定住 2人) ○地域活動支援員 ・選任数 計画：10人・6地区、1団体 実績：9人・5地区、1団体(9人・6地区、1団体) ○域学連携地域づくり応援事業 ・活動した大学等のグループの数 計画：23団体 実績：22団体(10団体) ・連携した地域の数 計画：20地域・地区 実績：21地域・地区 (13地域・地区) ・参加者数(受入数) 計画：220人 実績：210人(101人)			
		成果 人口減少が進む地域の課題を解決するため、地域おこし協力隊や地域活動支援員を配置して支援活動を行うことで、佐渡の活性化に向けた地域づくりが進んだ。 新型コロナウイルスが落ち着いたこともあり、前年度より実績が伸び、大学生等による地域活性化を継続的支援することで、集落活動の維持や地域との継続した交流が図れた。			
1 項 総務管理費 1 4 目 支所及び行政 サービスセン ター費	支所・行政サービスセンター拠点化事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		39,400,446円	21,524,206円	17,876,240円	P98
		目的 個性豊かで活力ある地域づくりを推進するため、地域活動団体等が提案する元気な地域づくり支援事業に対する補助金の交付などにより、地域コミュニティの維持を図る。			
		取組内容・実績 ○元気な地域づくり支援事業補助金 ( )内数は前年度実績 ・コミュニティ活動促進事業 計画：50件10,484,000円 実績：28件6,796,000円(25件7,289,000円) 佐渡ビッグゲーム Fish Ranker カップ ほか ・コミュニティ活動促進事業(集会施設修繕) 計画：42件9,000,000円 実績：35件8,106,000円(42件8,910,000円) 片野尾ふるさと館の外壁、塗装修繕 ほか ・地域のまつり支援事業 計画：18件29,370,000円 実績：10件18,210,000円(3件3,480,000円) 佐渡國鬼太鼓どっとこむ ほか			
		成果 支所・行政サービスセンターが地域活性化の拠点となり、地域の活動を支援し、活力ある地域づくりを推進した。			

2 款 総務費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
1 項 総務管理費 1 4 目 支所及び行政 サービスセン ター費	支所・行政サ ービスセンタ ー拠点化事業 (地域コミュ ニティづく り)	28,731,151円	(新規)	—	P98
		目的 支所・センターを中心にした地域づくりを促進し、地域の自主的な地域 づくり活動を支援する。			
		取組内容・実績 ○地域コミュニティ交付金 計画： 200件 10,000,000円 実績：63件 2,928,762円  ○地域コミュニティ交付金(災害) 計画： 135件 27,000,000円 実績：155件 24,439,582円  ○加茂湖活用市民会議事業(両津支所) 711,400円 ○地域が主体の地区防災事業(相川支所) 180,488円 ○真野地区防災教育事業(真野行政サービスセンター) 143,649円 ○子どもと高齢者の居場所づくり事業(小木行政サービスセンター) 327,270円			
		成果 地域の特性にあわせて、支所・センターで独自の事業を進めるととも に、地域コミュニティ交付金を活用し、集落活動を支援しながら、支所・ センターが集落との関係性を密にすることにつながった。 また、令和4年度は雪害もあったことから、地域コミュニティ交付金を 集落に活用いただき、集落等の支援ができた。 加茂湖活用市民会議事業では、加茂湖の有効活用、利活用に積極的に取 り組む個人・団体のネットワークを構築し、加茂湖を舞台とし様々な分野 での活用方法を協議、検討し民間活力の誘導を図ることができた。 地域が主体の地区防災事業では、自主防災計画を作成し、また、真野地 区防災教育事業では、「大雨による災害時の避難行動と備えを考える」と いう講演を実施し、集落の方々へ防災に対する意識向上を図ることがで きた。 小木行政サービスセンターによる子どもと高齢者の居場所づくり事業に おいては、交流イベントを4回開催し、延べ240名余りの参加者があり各世 代間の交流が実現した。			

2 款 総務費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
1 項 総務管理費 1 5 目 防災対策費	防災対策事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		60, 588, 732円	30, 364, 056円	30, 224, 676円	P100
		◎地域防災力の強化 目的 市民の防災意識の高揚を図り、自助・共助による地域防災力を高める。			
		取組内容・実績 ・防災リーダースキルアップ研修 (参加人数64人) 63, 190円 ・自主防災組織資機材整備補助金 (6組織) 452, 100円 ・地域防災リーダー育成補助金 (1名) 30, 000円 ・自主防災組織訓練奨励金 (19組織) 270, 000円			
		成果 新型コロナウイルス感染症による影響は引き続きあったが、訓練実施数は若干増えている。 資機材整備補助を活用する組織も前年度は3組織であったが、6組織が活用しており、地域の防災に対する意識が高まっていることが伺えるため、今後も地域防災力の強化を推進していく。			
		◎災害対応 目的 令和4年12月の大雪により発生した大規模停電や倒竹等の被害に対して、早期の住民生活の復旧のため必要な対策を講ずる。			
		取組内容・実績 ○炊き出し、私道除雪、発電機燃料ほか 5, 751, 798円 ・炊き出し実施地区数 4地区 ・私道除雪 3日 ・自主避難所開設施設数 9施設 ・温泉協力施設数 19施設 ○倒竹処理 ・臨時集積所の設置 10地区11箇所 ・臨時集積所の竹処分経費 27, 830円			
		成果 令和4年12月大雪に伴う災害対応経費により迅速な対応につながった。			

2 款 総務費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
1 項 総務管理費 1 7 目 空港対策費	空港対策事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		4, 255, 304円	3, 702, 968円	552, 336円	P104
		<p>目的</p> <p>佐渡新潟航空路再開までのアクセスを改善し、佐渡市民や佐渡への旅行者等の運賃や移動時間等の負担を軽減する。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>○新潟空港新潟港ターミナルアクセス改善事業負担金 2, 491, 334円 新潟空港－新潟港佐渡汽船ターミナル間に直行便を運行し新潟空港利用者の利便性の向上を図った。 また、路線検索サイトでの検索を可能とし、利用者への周知拡大を行った。 なお、利用者数は新型コロナウイルス感染症が落ち着いたこと、利用者への周知拡大により、対前年度比+170.7%になった。 ・年間利用者数：4, 551人、1便あたり1.3人 (前年度：1, 681人、1便あたり0.8人)</p>			
<p>成果</p> <p>新型コロナウイルス感染症が落ち着いたこと、利用者への周知拡大により利用者が大幅に増え、利用者の運賃や移動時間の負担を減らすことができた。 また、路線検索サイトでの検索を可能とすることで、利用者の利便性を向上することができた。</p>					

2 款 総務費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)																												
1 項 総務管理費 1 8 目 世界遺産推進 費	世界遺産登録 推進事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書																									
		17,411,248円	13,673,758円	3,737,490円	P104																									
		<p>目的</p> <p>遺跡の保全活動や将来を担う世代への教育活動の実施等により、世界遺産の魅力や価値をより知っていただく。</p> <p>また、世界遺産登録実現を目指すため、イコモス現地調査への対応や情報発信事業による、文化的価値の国際的理解促進の取組を国や新潟県と連携して実施する。</p>																												
		<p>取組内容・実績</p> <p>1 イコモス現地調査への対応 世界遺産推薦書作成事業負担金 7,678,879円</p> <p>2 国際理解の促進に係る取組 国内外において「佐渡島の金山」の理解促進を図るため、PR活動やセミナーを開催した。 国際理解促進関係事業負担金 2,488,198円</p> <p>3 県内外への普及啓発活動 「佐渡島の金山」の認知度向上、理解促進を図るために、市民教育事業及び県内外へ情報発信として以下の活動を行った。</p> <p>(1) 現地学習会等の実施</p> <table border="1" data-bbox="536 1144 1418 1503"> <thead> <tr> <th>実施内容</th> <th>実施回数(前年度)</th> <th>参加人数(前年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初心者向け入門展示解説</td> <td>14回 (新規)</td> <td>41名 (新規)</td> </tr> <tr> <td>散策現地学習会</td> <td>5回 (4回)</td> <td>138名 (119名)</td> </tr> <tr> <td>親子で歩く佐渡金銀山遺跡</td> <td>2回 (1回)</td> <td>53名 (24名)</td> </tr> <tr> <td>A L T 現地学習会</td> <td>1回 (新規)</td> <td>18名 (新規)</td> </tr> <tr> <td>相川再発見スタンプラリー</td> <td>1回 (新規)</td> <td>600名 (新規)</td> </tr> <tr> <td>出前授業</td> <td>12回 (16回)</td> <td>198名 (386名)</td> </tr> <tr> <td>出張説明</td> <td>33回 (29回)</td> <td>969名 (614名)</td> </tr> <tr> <td>佐渡金銀山環境ボランティア</td> <td>1回 (中止)</td> <td>81名 (中止)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 広報紙の作成・配布 佐渡金銀山だよりNo26号 50,000部 (前年度95,000部)</p> <p>4 世界遺産登録推進活動費補助金 (1) 対象者 世界遺産登録に関する活動を推進する団体 (2) 補助限度額 1事業 100万円 (3) 補助実績 8事業 (前年度6事業)</p>				実施内容	実施回数(前年度)	参加人数(前年度)	初心者向け入門展示解説	14回 (新規)	41名 (新規)	散策現地学習会	5回 (4回)	138名 (119名)	親子で歩く佐渡金銀山遺跡	2回 (1回)	53名 (24名)	A L T 現地学習会	1回 (新規)	18名 (新規)	相川再発見スタンプラリー	1回 (新規)	600名 (新規)	出前授業	12回 (16回)	198名 (386名)	出張説明	33回 (29回)	969名 (614名)	佐渡金銀山環境ボランティア
実施内容	実施回数(前年度)	参加人数(前年度)																												
初心者向け入門展示解説	14回 (新規)	41名 (新規)																												
散策現地学習会	5回 (4回)	138名 (119名)																												
親子で歩く佐渡金銀山遺跡	2回 (1回)	53名 (24名)																												
A L T 現地学習会	1回 (新規)	18名 (新規)																												
相川再発見スタンプラリー	1回 (新規)	600名 (新規)																												
出前授業	12回 (16回)	198名 (386名)																												
出張説明	33回 (29回)	969名 (614名)																												
佐渡金銀山環境ボランティア	1回 (中止)	81名 (中止)																												
<p>成果</p> <p>世界遺産登録に向け、国や新潟県と連携して、「佐渡島の金山」の文化的価値や魅力について国内外に発信し、登録応援層の拡大につなげると共に、教育事業を通じて市民に文化財保護意識の醸成を図ることができた。</p>																														

2 款 総務費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
1 項 総務管理費 18 目 世界遺産推進費	世界遺産史跡管理費	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		21, 234, 778円	6, 915, 382円	14, 319, 396円	P104
		<p>目的</p> <p>世界遺産の構成資産となる西三川砂金山跡や鶴子銀山跡、相川金銀山跡の環境美化を行い、資産の保存（維持管理）と活用（顕在化）を図る。また、イコモスによる現地調査に向けて、構成資産の環境整備に取り組み、審査の準備を行う。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>1 イコモス現地調査に向けた環境整備事業（新規）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各資産（西三川・鶴子・相川）の環境整備事業 11, 337, 700円</li> <li>・鶴子大滝地区仮設階段等設置 990, 000円</li> <li>・上相川地区倒壊小屋撤去工事 869, 000円</li> <li>・上相川地区伐採木粉碎作業 940, 500円</li> <li>・金子勘三郎家外構樹木伐採作業 306, 900円</li> </ul> <p>2 史跡佐渡金銀山遺跡の環境美事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相川地区及び西三川地区の環境美化 6, 215, 000円</li> </ul>			
		<p>成果</p> <p>資産となる文化財の環境整備を実施することで、文化財を適切に保存管理し、来訪者が現地を訪れた際に史跡佐渡金銀山遺跡の保存や活用に係る整備を実施することで、イコモスの現地調査に向けた準備を進めることができた。</p>			
	世界遺産史跡保存整備費	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		71, 485, 218円	90, 074, 589円	△18, 589, 371円	P106
		<p>目的</p> <p>世界遺産の構成資産となる西三川砂金山に関する金子勘三郎家住宅主屋の保存と活用を図る。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>○金子勘三郎家住宅主屋の保存修理事業（令和2年～令和4年まで）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・金子勘三郎家住宅主屋工事監理 8, 844, 000円</li> <li>・金子勘三郎家住宅主屋修理工事 62, 427, 200円</li> </ul>			
		<p>成果</p> <p>史跡佐渡金銀山遺跡の保存や活用に係る整備を実施することで、世界遺産の重要な構成要素となる物件の適切な保存を進めることができた。</p>			

2 款 総務費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
1 項 総務管理費 1 8 目 世界遺産推進 費	埋蔵文化財調査保存事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		17,100,071円	16,180,201円	919,870円	P106
		目的 埋蔵文化財の保存と活用を図る。			
		取組内容・実績 地域の貴重な文化資源である埋蔵文化財について、価値や魅力を知ってもらうため、市民向けの展示会や小中学生を対象とした出前授業を実施した。 ○地域の特色ある埋蔵文化財活用事業 5,097,769円 ・出前授業(11校)：268人(前年度10校159人) ・新穂銀山展：423人(前年度：平田遺跡展271人)			
成果 郷土の歴史に触れる機会を提供することで、文化財保護意識の醸成につながる取組ができた。					
	世界遺産文化財調査事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		9,869,051円	500,321円	9,368,730円	P108
		目的 世界遺産の構成資産となる国史跡佐渡金銀山遺跡において、上相川地区の分布調査及び詳細な地形測量を実施することで、文化財の内容を把握し価値を更に高めると共に、今後の活用に向けた資料とする。また、史跡指定地内の開発行為に対して法令に基づき適切に事前の発掘調査を行う。			
		取組内容・実績 1 上相川地区詳細分布調査 ・遺構や遺物の分布状況を調査 ・史跡内10,000㎡の詳細な地形測量の実施(新規) 6,663,800円 ・伐採した木竹の粉砕作業の実施 880,000円 2 史跡相川金銀山跡の埋蔵文化財調査(新規) ・県道防護柵更新に伴う発掘調査 2,200,000円			
成果 世界遺産の構成資産となる史跡の詳細な調査をすることで、文化財としての価値を高めることができた。また、史跡内での開発行為については、法令に基づき適切に調査を実施することができた。					



2 款 総務費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
1 項 総務管理費 1 8 目 世界遺産推進 費	世界遺産建造 物保存整備費	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		47,394,658円	258,499,450円	△211,104,792円	P110
		目的 世界遺産の構成資産となる景観及び関係する重要文化財（建造物）や重要文化的景観の保存と活用を図る。			
		取組内容・実績 1 重要文化的景観整備事業補助金 (1) 対象者 物件の所有者及び管理者または保存を目的とする非営利団体等 (2) 補助限度額 指定物件上限900万円・指定外物件上限700万円 (3) 補助実績 5事業（前年度7件） 27,064,000円  2 重要文化的景観調査 (1) 令和5年度以降の修理に向けた調査 5,269,000円 (2) 修理工事の際の設計監理 10,406,000円 (3) 西三川案内看板修繕工事 913,000円  3 重要文化財応急措置 大立堅坑櫓素屋根養生シート補強工事 1,045,000円			
		成果 重要文化的景観や重要文化財建造物の保存や活用に係る整備を実施することで、世界遺産の関連資産や重要な構成要素となる文化財の適切な保存を進めることができた。			
(繰明)世界遺産建造物保存整備費	(繰明)世界遺産建造物保存整備費	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		47,399,000円	—	—	P112
		目的 世界遺産に関連する重要文化財（建造物）の保存と活用を図る。			
		取組内容・実績 1 重要文化財旧佐渡鉱山採鉱施設委託業務 (1) 大立地区法面崩落対策調査・検討 22,253,000円 (2) 大立地区法面落石対策工事詳細設計 4,422,000円 (3) 解体材保管小屋設置工事設計監理 2,992,000円 (4) 高任粗砕場地盤観測計器点検 1,793,000円  2 重要文化財旧佐渡鉱山採鉱施設保存修理工事 解体材保管小屋設置工事 15,939,000円			
		成果 重要文化財建造物の保存に係る整備を実施することで、世界遺産に関連する文化財の適切な保存も進めることができた。			

2 款 総務費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
1 項 総務管理費 1 8 目 世界遺産推進費	佐渡金銀山ガイドランス施設運営費	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		25,834,085円	23,016,266円	2,817,819円	P110
		<p>目的 佐渡金銀山の価値や魅力を発信し、現地へ来訪者を円滑に誘導するための情報発信の拠点施設にすると共に、来訪者や地域住民の交流の場として施設の活用を図る。</p>			
		<p>取組内容・実績 佐渡金銀山ガイドランス施設「きらりうむ佐渡」の公開・運営を行い、来館者に佐渡金銀山の魅力や価値を適切かつ効果的に伝えると共に、現地への円滑な誘導を促した。 ・展示室観覧者数：20,033人（前年度 11,649人）</p>			
	世界遺産を核とした総合的情報発信事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		24,018,963円	(新規)	—	P110
		<p>目的 世界遺産登録に向けて、「佐渡島の金山」の認知度向上、国際的理解促進を図るため、世界遺産を核に、佐渡の自然・歴史文化・食等の佐渡の魅力を総合的に発信する。</p>			
		<p>取組内容・実績 1 「佐渡島の金山」CG映像コンテンツ制作及び情報発信 江戸文化を意識させるCG映像コンテンツを制作し、佐渡金銀山ガイドランス施設「きらりうむ佐渡」における展示の拡張やインターネットを通じた映像コンテンツの配信を実施した。 (1) Webプロモーション期間：令和4年12月23日～令和5年1月31日 (2) 動画再生回数：193,441再生 (3) 実績額：15,730,000円 2 国際的理解促進のためのPR活動 世界遺産の本拠地であるパリ・ユネスコ本部において開催の「日本へのクリエイティブな旅展」にブース出展し、「佐渡島の金山」の文化的価値や佐渡の芸能・食・観光情報など総合的なPRを実施した。 (1) 会期：令和4年6月14日～17日 (2) 参加者：ユネスコ加盟195カ国（駐仏）大使・大使館職員他 (3) 参加人数：2,234人</p>			
<p>成果 「佐渡島の金山」の文化的価値と島の魅力を国内外に発信し、新たな登録応援層の獲得につながると共に、認知度向上をすることができた。</p>					

2 款 総務費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
1 項 総務管理費 1 9 目 都市再生整備 計画費	弥十郎駐車場 整備事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		2, 100, 000円	3, 185, 600円	△1, 085, 600円	P112
		<p>目的</p> <p>世界遺産登録後の周辺交通渋滞・駐車場緩和対策が必要であること。また、周辺のまち並みと調和した駐車場と、平成10年で生誕150年となる記念で三井物産株式会社より寄贈された「益田孝顕彰碑」を含めた公園を一体として整備することにより、利便性の向上と歴史あるまち並みに調和した趣のあるまち並みの維持につながるとともに、地域住民の憩いの場所として良好な環境の形成を図るもの。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>基本設計・実施設計業務ともに地域住民・観光関係者から意見徴収し、設計業務を発注した。</p> <p>・弥十郎駐車場再整備基本設計及び実施設計業務委託料 2, 100, 000円</p>			
<p>成果</p> <p>設計内容について、地元住民や専門家との意見交換をすることができ、整備の詳細についてより具体的な方針を決定できた。</p>					
	地域防災力向上支援事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		1, 084, 820円	485, 020円	599, 800円	P112
		<p>目的</p> <p>重要文化的景観の重要な構成要素となっている相川上町地区を対象として、地域の防災力向上を図る。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>○相川上町防災ワークショップ</p> <p>・上町地区住民を対象としたワークショップを4回実施 (前年度3回実施)</p> <p>・相川上町防災ワークショップ運営業務委託 1, 078, 000円</p>			
<p>成果</p> <p>地域が抱える防災等の課題を認識し、防災意識向上を図ることで、将来に向けて文化財を継承するための取組を進めることができた。</p>					

2 款 総務費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
1 項 総務管理費 19 目 都市再生整備 計画費	既存建物活用 事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		9,184,200円	0円	9,184,200円	P112
		<p>目的</p> <p>相川地区の重要文化的景観範囲内に所在する歴史的建造物「旧深見家住宅」の保存・公開活用を図る。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>相川上町地区の京町通り沿いに位置する町家の保存修理を行い、観光拠点施設としての活用を図るため、修理工事の実施設計を行った。</p> <p>○旧深見家住宅保存修理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧深見家住宅保存修理工事施設計業務委託 7,306,200円</li> <li>・旧深見家住宅西側隣家調査業務委託 1,870,000円</li> </ul>			
<p>成果</p> <p>歴史的建造物の保存・公開活用に向けた整備を実施するための準備を進めることができた。</p>					
	(繰明)既存建 物活用事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		6,464,700円	—	—	P112
		<p>目的</p> <p>相川地区の重要文化的景観範囲内に所在する歴史的建造物「旧深見家住宅」の保存・公開活用を図る。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>相川上町地区の京町通り沿いに位置する町家の保存修理を行い、観光拠点施設としての活用を図るため、修理工事の基本設計を行った。</p> <p>○旧深見家住宅保存修理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧深見家住宅保存修理工事基本設計業務委託 6,464,700円</li> </ul>			
<p>成果</p> <p>歴史的建造物の保存・公開活用に向けた整備を実施するための準備を進めることができた。</p>					

2 款 総務費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
1 項 総務管理費 19 目 都市再生整備 計画費	景観整備支援 事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		3, 011, 000円	4, 321, 000円	△1, 310, 000円	P112
		目的 相川地区の重要文化的景観範囲内に所在する歴史的建造物及び周辺計画の保全を図る。			
		取組内容・実績 令和4年度に所有者から申請のあった歴史的建造物の外観修復・内部改装事業に対し、補助金を交付した。 ○町並み景観整備支援事業補助金 1 対象者 まちづくり、町並み保存、歴史的建造物の修復及び活用を目的とする法人・団体・個人 2 補助限度額 各事業補助上限100万円・下限5万円 3 補助実績 3事業（前年度6件） 外観修復・内部改装 1件 内部改装 1件 外観修復 1件			
		成果 修理事業を進めることで、鉾山の町相川に残る歴史的な景観を保全することができた。			
	商品開発等実践支援事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		4, 743, 110円	3, 628, 670円	1, 114, 440円	P112
		目的 地元商工業者と連携した歴史文化に関するグッズの商品開発により佐渡金銀山の魅力を広く発信し佐渡のPR強化を図る。			
		取組内容・実績 <b>【取組内容】</b> 島内事業者からの商品企画・開発品について、島内外でのイベント展開や観光ツアーとの連携によるプロモーション及びキャンペーン実施によるPR強化を図った。 ○パンフレットの作成・配布 3, 000部 ○広告掲載 さどぼん2022 発行部数15, 000部 ○商品PRイベント業務 イベント期間：令和4年4月9日、10日（ルフル広場） 他 ○商品開発販売促進等実践支援業務 キャンペーン期間：令和4年10月1日から令和4年11月30日 <b>【実績】</b> 商品企画・開発数（販売商品数）27品			
		成果 統一デザインフォーマットの使用による商品の一体感と佐渡金銀山に関連する商品のPRにより世界遺産登録に向けた魅力発信と機運醸成につながった。			

2 款 総務費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
1 項 総務管理費 1 9 目 都市再生整備 計画費	高質空間形成 施設整備事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		132, 174, 900円	16, 071, 700円	116, 103, 200円	P112
		<p>目的</p> <p>佐渡市相川地区整備計画に基づき「金銀山とともに育まれた歴史・文化を誇るまち相川」として、歴史的な景観を活用した魅力あふれるまちづくりを進め、町並みにあった散策路や歴史的建造物の整備を推進し、来訪者の増加を図る。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相川地区散策路整備(相川141号線工区(舗装))工事 <span style="float: right;">83, 202, 900円</span></li> <li>・ 相川地区散策路整備(階段整備)工事 <span style="float: right;">38, 912, 500円</span></li> <li>・ 街路防犯灯整備工事 <span style="float: right;">10, 059, 500円</span></li> </ul>			
<p>成果</p> <p>【舗装】舗装改修により、散策路の美装化と併せて生活道路の機能向上が図れた。</p> <p>【階段】手摺設置及び階段修繕により、景観及び安全性向上が図れた。</p> <p>【街路防犯灯】防犯灯の設置・更新により、景観及び防犯機能の向上が図れた。</p>					

2 款 総務費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)					
3 項 戸籍住民基本 台帳費	戸籍住民基本 台帳費	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書		
		9, 201, 675円	21, 204, 090円	△12, 002, 415円	P118		
1 目 戸籍住民基本 台帳費		◎戸籍届出事件件数 (令和5年3月31日)					
		事件の種類	届出		他市町村か らの送付	計	
			本籍人届 出	非本籍人届 出			
		1 出生	180	32	110	322	
		2 国籍留保	0	0	5	5	
		3 認知	0	0	1	1	
		4 養子縁組	27	1	11	39	
		5 養子離縁	11	0	3	14	
		6 法 73 条 の 2 ・ 法 69 条 の 2	1	0	0	1	
		7 婚姻	81	13	395	489	
		8 離婚	52	5	65	122	
		9 法 77 条 の 2 ・ 法 75 条 の 2	29	1	22	52	
		10 親権・未成年者の後見・後見監督	① 届出	5	0	0	5
			② 甲類審判	1			1
			③ 保全処分	0			0
		④ 計	6	0	0	6	
		11 死亡	1, 219	29	370	1, 618	
		12 失踪	2	0	1	3	
		13 復氏	1	0	0	1	
		14 姻族関係終了	2	0	1	3	
		15 相続人廃除	0	0	0	0	
		16 入籍	44	1	26	71	
		17 分籍	4	0	13	17	
		18 国籍取得	0	0	0	0	
		19 帰化	0	0	0	0	
		20 国籍喪失	3	0	4	7	
		21 国籍選択	0	0	3	3	
		22 外国国籍喪失	0	0	0	0	
		23 氏の変更	① 法 107 条 1 項	2	0	0	2
			② 法 107 条 2 項	0	0	0	0
			③ 法 107 条 3 項	0	0	0	0
			④ 法 107 条 4 項	0	0	0	0
			⑤ 計	2	0	0	2
		24 名の変更	0	0	0	0	
		25 転籍	85	1	121	207	
		26 就籍	0	0	0	0	
		27 訂正・更正	① 市町村長職権	107	0	1	108
			② 法 24 条 2 項	4	0	0	4
			③ 法 113 ・ 114 条	0	0	0	0
			④ 法 116 条	0	0	0	0
			⑤ 続柄の記載訂正 (嘱託)	0	0	0	0
			⑥ 続柄の記載訂正 (申出)	2	0	1	3
			⑦ 計	113	0	2	115
		28 追完	0	0	0	0	
		29 その他	0	1	2	3	
		30 不受理申出	5	0	1	6	
		計	1, 867	84	1, 156	3, 107	

3款 民生費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
1項 社会福祉費 1目 社会福祉総務費	障害福祉の人材育成・確保事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		602,000円	268,000円	334,000円	P128
		<p>目的</p> <p>資格取得及び就業支援のための費用を一部助成し、障がい福祉の人材確保及び資質向上、相談支援体制の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資格取得（精神保健福祉士）に係る費用の一部助成</li> <li>資質向上に係る費用の一部助成</li> <li>就業に係る費用（施設見学旅費、面接旅費、就業支度金）の一部助成</li> <li>定着支援に係る費用（住宅支援）の一部助成</li> </ul>			
		<p>取組内容・実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資質向上に係る費用の一部助成 相談支援専門員初任者研修：2人 92,000円（前年度 4人 68,000円） 医療的ケア児コーディネーター養成研修：1人 6,000円（前年度なし）</li> <li>就業に係る費用の助成 面接旅費：1人 4,000円（前年度なし） 就業支度金：4人 500,000円（前年度 2人 200,000円）</li> </ul>			
		<p>成果</p> <p>資質向上や就業費用について経済的支援を行うことで、福祉人材の育成及び確保につながった。</p>			
生活困窮者自立支援費	生活困窮者自立支援費	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		42,813,859円	43,471,620円	△657,761円	P128
		<p>目的</p> <p>生活困窮者に対して自立相談支援事業、家計改善支援事業、就労準備支援事業、被保護者就労準備支援事業、学習支援事業を実施し、自立を促進する。</p> <p>また、地域共生社会の実現を図るため、市民が主体的に地域の生活課題を把握して解決を試みる体制づくり及び世帯全体の複合化・複雑化した課題を包括的に受け止める総合的な相談支援体制づくりを進める。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>○失業や借金、人間関係など様々な困りごとを抱え経済的に困窮されている方からの相談を受けて、ご本人の状況に応じた支援プランを作成し、自立に向けた支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相談、援助件数:4,715件（前年度4,938件）</li> <li>自立プラン作成件数:64件（前年度75件）</li> <li>家計再生プラン作成件数:35件（前年度33件）</li> <li>就労準備支援事業プラン作成件数:7件（前年度8件）</li> <li>被保護者就労準備支援事業プラン作成件数:3件（前年度1件）</li> <li>学習支援事業利用者数:16人（前年度8人）</li> </ul> <p>○CSW(コミュニティソーシャルワーカー)による何でも相談やアウトリーチによる世帯全体の包括的な相談支援を行った。(地域力強化推進事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>CSW相談件数:1,675件（前年度1,701件）</li> <li>包括化推進員相談件数:177件（前年度64件）</li> </ul>			
		<p>成果</p> <p>市民からの相談に対し適切な支援を行うことによって生活困窮者の自立促進に寄与することができた。</p> <p>また、包括的な相談支援体制の実施に向けて、関係機関との連携及び支援体制づくりを推進することができた。</p>			



3款 民生費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
1項 社会福祉費 1目 社会福祉総務費	成年後見推進事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		34,108,068円	32,478,289円	1,629,779円	P130
		<b>目的</b> 認知症、知的障がい、精神障がい等により判断能力が十分でない方の権利を守り、成年後見制度の普及啓発、法人後見支援、市民後見人養成など成年後見制度の推進を図る。(委託先：佐渡市社会福祉協議会)			
		<b>取組内容・実績</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見制度普及啓発等事業 相談及び連絡調整件数：545件（前年度549件） 成年後見セミナーの開催 （6月23日、アミューズメント佐渡、参加者55人）</li> <li>・成年後見制度法人後見支援事業 相談及び連絡調整件数：117件（前年度190件） 法人後見セミナー（2月14日、畑野行政サービスセンター、5法人8人）</li> <li>・市民後見推進事業 市民後見人養成講座（全10日間）：講座修了者10人（前年度11人） フォローアップ研修（4回）：参加者延べ104人（前年度100人）</li> <li>・地域連携ネットワーク（中核機関） 関係機関連絡会議：1回、参加者7人 運営委員会：6回、延べ49人</li> </ul>			
<b>成果</b> 成年後見制度の普及啓発及び円滑な利用促進、法人後見推進及び支援、市民後見人の養成等を行い、成年後見制度の推進を図った。					
1項 社会福祉費 2目 老人福祉費	老人福祉一般経費	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		20,257,110円	14,765,207円	5,491,903円	P134
		<b>◎佐渡地域医療・介護・福祉提供体制協議会補助金（新規）</b> <b>目的</b> 一般社団法人佐渡地域医療・介護・福祉提供体制協議会の取組を支援することで、医療・介護・福祉の連携を強化し、持続可能な社会保障サービスの体制整備を図る。			
		<b>取組内容・実績</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金交付実績額 7,205,001円 （以下交付団体での取組実績）</li> <li>・通常総会 1回 ・理事会 4回</li> <li>・作業部会の実施</li> <li>・『佐渡地域における医療・介護・福祉の連携促進に向けた研修会』の実施 4回</li> <li>・オンライン交流サロン「ゆるつなcafé」の開催（毎月1回開催）</li> </ul>			
<b>成果</b> 資源管理・人材養成・広報の3つの柱を重点とした従事者確保についての協議が行われ、持続可能な社会保障体制の構築に寄与することができた。					

3款 民生費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
1項 社会福祉費 2目 老人福祉費	介護老人福祉 の人材育成・ 確保事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		4,461,000円	3,481,000円	980,000円	P134
		目的 介護職員の人材確保のため、福祉従事者の資格取得及び就業支援のための補助金を交付し福祉の向上に寄与する。			
		取組内容・実績 ( ) 内数は前年度実績 ○資格取得費助成事業補助金1,295,000円 (1,154,000円)			
			計画	実績	うち30歳以下
		初任者研修課程	12人	13人 (12人)	2人 (4人)
		社会福祉主事	2人	5人 (3人)	0人 (0人)
		介護福祉士	2人	4人 (2人)	1人 (1人)
		社会福祉士	1人	0人 (0人)	0人 (0人)
		実務者研修課程	16人	8人 (10人)	2人 (1人)
介護支援専門員	0人	1人 (新規)	0人 (新規)		
○就業支援事業補助金 1,540,000円 (1,158,000円)					
	計画	実績			
施設見学旅費	5人	2人 (3人)			
面接旅費	5人	1人 (1人)			
就業支度金	6人	10人 (8人)			
○定着支援事業補助金 1,626,000円 (1,169,000円)					
	計画	実績			
住宅支援	15人	11人 (11人)			
成果 介護職員の資格取得支援や就業、定着支援に助成することにより、介護人材の確保につながった。					
老人保護措置 費	老人保護措置 費	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		20,704,393円	15,734,192円	4,970,201円	P134
		目的 環境上及び経済的な理由から在宅での生活が困難な高齢者を養護老人ホーム等に入所措置することで、高齢者の生活を支援する。			
		取組内容・実績 ・措置者数：79人 (令和5年3月末現在) (前年度89人) 養護老人ホーム待鶴荘：71人 (前年度81人) 養護老人ホーム松鶴荘：1人 (前年度1人) 養護盲老人ホーム胎内やすらぎの家：6人 (前年度6人) 養護盲老人ホーム第二光が丘ハウス：1人 (前年度1人)			
		成果 自宅での生活が困難な高齢者の支援につながった。			

3款 民生費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
1項 社会福祉費 2目 老人福祉費	老人クラブ活動事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		4,129,430円	4,569,000円	△439,570円	P134
		目的 単位老人クラブ及び老人クラブ連合会に対して助成することにより、高齢者の生きがいを推進する。			
		取組内容・実績 ○老人クラブ数：49クラブ(会員数：1,529人) (前年度54クラブ1,814人) ・老人クラブ事業運営費補助金 2,065,000円 (前年度2,207,000円) ・老人クラブ連合会活動促進事業費補助金 2,047,000円 (前年度2,325,000円)			
		成果 生きがいと健康づくりのための多様な社会活動を促進することができた。			
高齢者生活支援事業	高齢者生活支援事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		16,988,190円	12,573,529円	4,414,661円	P136
		目的 在宅福祉サービスの提供により、高齢者等の在宅生活支援、高齢者等を介護する介護者の負担を軽減する。			
		取組内容・実績 ( ) 内数は前年度実績 ○外出支援サービス 計画：480人 実績：387人 4,886,500円 (444人 5,273,300円) ○緊急通報サービス 計画：160人 実績：162人 6,234,250円 (188人 4,709,760円) ○介護用品支給事業 計画：65人 実績：93人 1,412,752円 (87人 1,588,063円) ○軽・中等度難聴者補聴器購入助成事業(新規) 実績：112人 3,744,000円 ○高齢者生活支援サービス事業(新規) 実績：11人 57,700円			
		成果 在宅福祉サービス提供により、高齢者の在宅での生活支援につながっている。			
介護手当給付事業	介護手当給付事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		10,705,000円	11,640,000円	△935,000円	P136
		目的 寝たきり、認知症等の重度心身障がい者等を介護する介護者に助成することにより、高齢者等の生活の向上と福祉の増進を図る。			
		取組内容・実績 ・介護手当受給者数 実績：250人 (前年度261人)			
		成果 寝たきり等の高齢者を介護する家族への支援により、高齢者の生活の向上と家族への支援につながった。			

3 款 民生費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
1 項 社会福祉費 2 目 老人福祉費	介護施設等居 住費助成事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		610,343円	709,230円	△98,887円	P136
		目的 認知症対応型グループホームを利用する低所得の方の経済的負担を軽減する。			
		取組内容・実績 ○認知症対応型共同生活介護事業所利用者負担助成事業 ・認知症グループホーム家賃助成対象者実績：2人（前年度3人）			
		成果 低所得の方への経済的支援を行うことにより、適切なサービス利用につながった。			
1 項 社会福祉費 4 目 養護老人ホーム費	人件費・養護 老人ホーム費	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		171,909,601円	175,909,942円	△4,000,341円	(人件費) P138
	待鶴荘運営費	20,605,243円	20,461,415円	143,828円	(運営費) P138
		60,006,276円	46,267,271円	13,739,005円	(施設サービス費) P140
	待鶴荘施設サ ービス費	目的 生活環境や経済的理由等により、自宅での生活が困難な高齢者を家庭的な雰囲気の中で生きがいをもって生活できるよう支援する。			
		取組内容・実績 ○入所者数（令和5年3月末現在）：71人（前年比10人減） ○職員数：33人（正規職員18人、会計年度任用職員15人） ○施設サービス費 賄材料費、給食業務委託料、介護消耗品費、光熱水費等 ○施設行事等 バスハイク、運動会、敬老会、御茶、生花、学芸各クラブ等			
		成果 新型コロナウイルス感染症の影響により、外出機会が減少した入所者が施設内で楽しく生きがいをもって生活できるよう支援した。			

3款 民生費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)																								
1項 社会福祉費 4目 養護老人ホーム費	待鶴荘特定施設入居者生活介護費	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書																					
		45,399,466円	53,640,780円	△8,241,314円	P140																					
		<p>目的</p> <p>養護老人ホーム入所者のうち、介護サービスを必要とする方に対し、状態に応じた介護サービスを提供する。</p>																								
		<p>取組内容・実績 ( ) 内数は前年度実績</p> <p>○介護サービス委託料(令和5年3月末現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>サービス種別</th> <th>月平均利用者数</th> <th>委託料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問介護</td> <td>41人(42人)</td> <td>14,556,510円</td> </tr> <tr> <td>訪問入浴</td> <td>4人(4人)</td> <td>2,982,420円</td> </tr> <tr> <td>通所介護</td> <td>37人(39人)</td> <td>19,288,890円</td> </tr> <tr> <td>乗降介助</td> <td>1人(1人)</td> <td>174,000円</td> </tr> <tr> <td>福祉用具貸与</td> <td>25人(22人)</td> <td>2,432,580円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>※ 63人(66人)</td> <td>39,434,400円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※月平均利用者数の計は介護サービスの実利用者数の平均</p>				サービス種別	月平均利用者数	委託料	訪問介護	41人(42人)	14,556,510円	訪問入浴	4人(4人)	2,982,420円	通所介護	37人(39人)	19,288,890円	乗降介助	1人(1人)	174,000円	福祉用具貸与	25人(22人)	2,432,580円	計	※ 63人(66人)	39,434,400円
		サービス種別	月平均利用者数	委託料																						
訪問介護	41人(42人)	14,556,510円																								
訪問入浴	4人(4人)	2,982,420円																								
通所介護	37人(39人)	19,288,890円																								
乗降介助	1人(1人)	174,000円																								
福祉用具貸与	25人(22人)	2,432,580円																								
計	※ 63人(66人)	39,434,400円																								
<p>成果</p> <p>外部サービス利用型特定施設として、介護支援専門員が作成したサービス計画に基づき、必要な介護サービスを提供することにより、入所生活を支援した。</p>																										
1項 社会福祉費 5目 軽費老人ホーム費	人件費・軽費老人ホーム費	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書																					
		53,746,348円	78,115,302円	△24,368,954円	(人件費) P142																					
		10,423,906円	8,134,100円	2,289,806円	(運営費) P142																					
	ときわ荘運営費	36,152,258円	26,467,764円	9,684,494円	(施設サービス費) P144																					
	ときわ荘施設サービス費	<p>目的</p> <p>家庭環境、住宅事情などの理由により、自宅等において生活することが困難な方に対し、生きがいのある毎日を送り、自立した安心で安全な生活が送れるよう、丁寧に関わり、支援する。</p> <p>取組内容・実績</p> <p>○入所者数(令和5年3月末現在)：34人(前年比9人減)</p> <p>○職員数：12人(正規職員7人、会計年度任用職員5人)</p> <p>○施設サービス費</p> <p>賄材料費、給食業務委託料、介護消耗品費、光熱水費等</p> <p>○施設行事等</p> <p>敬老祝賀会、園芸、俳句、スポーツ、生花各サークル活動等</p> <p>成果</p> <p>家庭的な雰囲気の中で、入所者の方々の意見を尊重し、生きがいを持って生活できるよう、各種行事(藤見茶会、敬老祝賀会等)やサークル活動の他、必要なサービスを提供し、安心した日常生活を送っていただけるよう支援した。</p>																								

3款 民生費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
1項 社会福祉費 6目 障害福祉費	障害者外出支 援事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		16,181,692円	19,940,288円	△3,758,596円	P146
		目的 障がい者にかかる作業所等通所交通費や通院交通費等の一部助成を行 う。			
		取組内容・実績 ○心身障害者通所費助成事業 5,905,916円 ・助成延べ件数：2,134件（前年度2,152件） ○通院交通費助成事業 4,290,022円 ・指定難病等助成延べ件数：455件（前年度511件） ・人工透析助成延べ件数：1,070件（前年度1,112件）			
		成果 交通費等の一部助成の実施により、障がい者の経済的な負担の軽減につ ながった。			
障害福祉サー ビス費	障害福祉サー ビス費	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		1,403,693,345円	1,361,151,121円	42,542,224円	P146
		目的 障がい児や障がい者が、その有する能力や特性に応じ、日常生活又は社 会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスの提供により、 障がい児や障がい者の自立を支援する。			
		取組内容・実績 ○障害児通所サービス（）内数は前年度実績			
		○障害福祉サービス（）内数は前年度実績			
		区 分	利用延件数	支給額	
		児童発達支援	137件(234件)	2,448,584円	
		放課後等デイサービス	360件(265件)	39,671,086円	
		小 計	497件(499件)	42,119,670円	
		計画相談支援	172件(248件)	2,972,100円	
		合 計	669件(747件)	45,091,770円	
		区 分	利用延件数	支給額	
		居宅介護等	1,375件(1,328件)	81,261,936円	
		生活介護・療養介護	2,200件(2,259件)	498,840,222円	
		短期入所	283件(317件)	16,290,211円	
		施設入所支援等	1,367件(1,405件)	214,545,210円	
		小 計	5,225件(5,309件)	810,937,579円	
		共同生活援助	649件(580件)	88,918,958円	
		自立訓練等	80件(74件)	15,882,036円	
		就労移行支援	154件(193件)	19,429,623円	
		就労継続支援	2,825件(2,800件)	323,635,159円	
		小 計	3,708件(3,647件)	447,865,776円	
		計画相談支援	2,316件(2,130件)	39,819,227円	
		特定障害者特別給付費	1,946件(1,980件)	16,765,126円	
		合 計	13,195件(13,066件)	1,315,387,708円	
成果 生活支援、訓練、介護等の障害福祉サービスを給付し、障がい児や障が い者の自立の促進につながった。					

3 款 民生費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
1 項 社会福祉費 6 目 障害福祉費	地域生活支援 事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		60,050,037円	56,782,226円	3,267,811円	P148
		◎障害者相談支援事業			
		<p>目的</p> <p>障がいのある人の福祉に関する様々な問題について、障がいのある人等からの相談に応じ、必要な情報の提供、障害福祉サービスの利用支援等を行うほか、権利擁護のために必要な支援を行う。</p> <p>また、自立支援協議会への参画等により、相談支援事業の効果的実施、地域の関係機関との連携強化、地域の課題に応じた社会資源の開発等を推進する。</p>			
取組内容・実績		<p>・市内5法人が設置する相談支援事業所に委託するほか、社会福祉課内に基幹相談支援センターを設置し、相談支援体制の整備に努めている。</p> <p>相談支援件数：25,937件（前年度17,496件）</p> <p>〈うち、基幹相談支援センター 相談支援件数：4,905件（前年度1,003件）〉</p> <p>・佐渡市地域自立支援協議会への参画：2回（前年度2回）</p> <p>専門部会への参画：10回（前年度8回）</p> <p>総合企画部会への参画：2回（前年度2回）</p> <p>障がい福祉フォーラム開催（令和5年2月25日、あいぽーと佐渡）</p> <p>その他、市事業にかかる協力</p>			
成果		<p>委託相談支援事業所と基幹相談支援センターが連携し障がい者相談支援の充実が図られているほか、障がい者等が地域で安心して生活できるための障がい福祉に関するシステムづくりに寄与している。</p>			

3款 民生費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)												
1項 社会福祉費 6目 障害福祉費	障害者就労支援事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書									
		592,680円	578,876円	13,804円	P148									
		<p>目的</p> <p>働く意欲のある障がい者がその適性に応じて能力を発揮できるよう、関係機関と連携し、一般就労及び福祉的就労を含めた就労機会の整備を促進する。</p>												
		<p>取組内容・実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>障害者職場実習支援事業 37,180円</li> </ul> <p>障がい者の職場実習において、実習者への手当の支給や受入れ事業所への協力費の交付により、実習の機会を拡大し、就業の促進を図る。</p> <table border="1" data-bbox="534 705 1409 887"> <thead> <tr> <th>実施内容</th> <th>令和4年度</th> <th>(前年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>就労訓練協力費 (事業所対象)</td> <td>2事業所18日 18,000円</td> <td>(2事業所19日) (19,000円)</td> </tr> <tr> <td>就労訓練給付費 (障がい者対象)</td> <td>3人23日 16,100円</td> <td>(4人38日) (26,600円)</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>障害者就労支援業務委託料 555,500円 (委託先：佐渡福祉会 (障がい者就業・生活支援センターあてび) ) 交流会等を通して企業と障害福祉サービス事業所等との連携を強化し、障がい者の就労促進を図る。</li> <li>企業による就労支援事業所見学会：参加者12人</li> <li>就労支援事業所利用者及び職員対象の企業見学会：参加者12人</li> </ul>				実施内容	令和4年度	(前年度)	就労訓練協力費 (事業所対象)	2事業所18日 18,000円	(2事業所19日) (19,000円)	就労訓練給付費 (障がい者対象)	3人23日 16,100円	(4人38日) (26,600円)
		実施内容	令和4年度	(前年度)										
就労訓練協力費 (事業所対象)	2事業所18日 18,000円	(2事業所19日) (19,000円)												
就労訓練給付費 (障がい者対象)	3人23日 16,100円	(4人38日) (26,600円)												
<p>成果</p> <p>障がいのある方の職場実習の機会の確保及び就労能力の向上や企業等への障がい者雇用への理解促進につながった。</p>														
(繰明)障害福祉施設等整備費	(繰明)障害福祉施設等整備費	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書									
		5,000,000円	—	—	P150									
		<p>目的</p> <p>障害福祉サービスを提供する施設の老朽化等に伴い、施設の建替により、利用者への処遇向上を図り、安定的に福祉サービスを受けられる環境を整える。</p>												
		<p>取組内容・実績</p> <p>○佐渡市障害福祉施設等整備事業費補助金</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>対象者 社会福祉法人 佐渡福祉会</li> <li>補助率 2分の1以内</li> <li>限度額 500万円</li> <li>実績 1件 (共同生活援助事業所建替工事)</li> </ol>												
		<p>成果</p> <p>障害福祉施設の建替工事を補助したことにより、障がい者の安定的な福祉サービスの利用が期待できる。</p>												



3款 民生費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
2項 児童福祉費 3目 保育所費	公立保育所運営費	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
	254,415,913円	243,746,597円	10,669,316円	P152	
	◎幼児教育無償化に伴う副食費免除				
	目的 幼児教育無償化対象外の副食費について、副食費免除対象者以外の3歳以上児童分を佐渡市が負担し、保護者の負担軽減を図る。				
	取組内容・実績 ( )内数は前年度実績 ・公立保育園・こども園16園：17,230,500円 延べ：3,829人 (20,988,000円 延べ4,664人) ・へき地保育園2園：108,000円 延べ：24人 (108,000円 延べ24人) ・公立幼稚園2園：1,719,000円 延べ：382人 (1,683,000円 延べ374人)				
	成果 幼児教育無償化と併せて、保護者の負担軽減が図られた。				
	私立保育所支援費	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
	737,180,274円	752,408,246円	△15,227,972円	P154	
	◎私立保育園運営委託料				
	目的 私立保育園に乳幼児保育を委託し、児童の健全育成を図る。				
	取組内容・実績 ( )内数は前年度実績 ・委託料：私立保育園7園：548,151,820円 延べ5,580人 (550,861,590円 延べ5,961人) うち副食費：10,075,500円 延べ2,239人 (11,133,000円 延べ2,474人)				
	成果 幼児教育無償化対象外の副食費について、副食費免除対象者以外の3歳以上児童分を佐渡市で負担し、保護者の負担軽減を図った。				
◎認定こども園施設型給付費					
目的 私立認定こども園に乳幼児保育を委託し、児童の健全な育成を図る。					
取組内容・実績 ( )内数は前年度実績 ・扶助費：認定こども園1園：103,683,610円 延べ972人 (125,713,370円 延べ1,191人) うち副食費：2,151,000円 延べ478人 (2,416,500円 延べ537人)					
成果 幼児教育無償化対象外の副食費について、副食費免除対象者以外の3歳以上児童分を佐渡市で負担し、保護者の負担軽減を図った。					

3款 民生費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)
2項 児童福祉費 3目 保育所費	私立保育所支 援費	<b>◎認可外保育施設保育料補助事業</b> 目的 認可外事業所保育施設において、就業のために保育を選択できる体制を整備する。
		取組内容・実績 補助事業名 佐渡市認可外保育施設保育料補助金 補助対象 同時入所の2子目以降および兄弟が小学3年までにいる世帯の在園児の保育料 補助実績 1,335,000円 延べ 55人 (前年度900,000円 延べ45人)
		成果 認可施設と同様に2人目無料化を実施することで、保護者の負担軽減が図られた。
		<b>◎私立保育所支援補助</b> 目的 私立保育所等が実施する事業に要する経費について、補助金を交付し児童福祉の向上を図る。
		取組内容・実績 ○子ども・子育て支援交付金 ・延長保育事業：3園 1,371,600円 (1,428,000円) ・一時預かり事業：1園 2,445,618円 (1,953,070円) ・体調不良児対応型病児保育事業：1園 4,492,000円 (4,499,000円) ・地域子育て支援拠点事業：4施設 28,202,000円 (28,200,000円) ○特別保育事業 ・未満児保育事業：5園 17,858,000円 (17,298,000円) ・障害児等保育事業：3園 3,205,800円 (5,900,160円) ○保育対策総合支援事業 ・新型コロナウイルス感染症対策支援事業：7園 2,838,000円 (―円) ・障害児受入促進事業：1園 1,029,000円 (721,000円) ・保育体制強化事業：2園 2,400,000円 (2,333,000円) ○保育環境改善等事業 (安全対策事業)：3園 627,000円 (―円) ○保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業：8園 10,375,140円 (3,099,800円)
成果 事業の運営を支援し、保育の充実を図った。		

3 款 民生費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
2 項 児童福祉費 3 目 保育所費	児童福祉の人 材育成・確保 事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		2,962,265円	2,827,000円	135,265円	P156
		<p>目的</p> <p>資格取得及び就業のための費用に対し、補助金を交付し、人材の育成及び確保並びに児童福祉の向上に寄与する。</p>			
		<p>取組内容・実績 ( ) 内数は前年度実績</p> <p>○人材育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資格取得支援 実績1人 44,000円 (2人 67,000円)</li> <li>・資質向上支援 実績1事業所 100,000円 ( - )</li> </ul> <p>○人材確保事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就業支援事業(面接旅費) 実績1人10,000円 ( - )</li> <li>・定着支援(就業支度金) 実績12人2,400,000円 (12人 2,400,000円)</li> <li>・定着支援(住宅支援) 実績2人240,000円 (3人 360,000円)</li> </ul>			
		<p>成果</p> <p>事業所が実施した研修の費用を補助し、保育士の資質向上を図った。また、就業支度金等の補助を行い、人材確保につながった。</p>			
(繰明)相川地 区認定こども 園整備費	(繰明)相川地 区認定こども 園整備費	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		397,287,678円	—	—	P156
		<p>目的</p> <p>老朽化と耐震不足に加えて、土砂災害警戒区域に立地している、あいかわ幼稚園及び相川保育園について、2園を統合し園舎を移転新築する。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園舎建設工事 385,238,500円</li> </ul>			
		<p>成果</p> <p>園舎の移転新築をすることができた。</p>			

3款 民生費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)							
		R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書				
2項 児童福祉費 6目 子育て支援費	子育て支援対策事業	3,354,245円	2,297,414円	1,056,831円	P162				
		<p><b>◎子育て支援センター充実事業</b></p> <p>目的 子育てに孤立感を感じたり、ネット情報等に流され子育てに自信が持てない親が増加していることから、本事業を実施し、子育ての不安や負担を軽減する。</p>							
取組内容・実績		<p>・助産師による相談会を実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施回数 (前年度)</th> <th>参加世帯 (前年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>92回 (97回)</td> <td>479世帯 (377世帯)</td> </tr> </tbody> </table>				実施回数 (前年度)	参加世帯 (前年度)	92回 (97回)	479世帯 (377世帯)
実施回数 (前年度)	参加世帯 (前年度)								
92回 (97回)	479世帯 (377世帯)								
成果		<p>助産師が子育て支援センターに出向き、子育て中の母親たちの不安や悩みに耳を傾け、寄り添うことにより、必要な支援を各担当と連携し対応することができた。</p>							
◎いのちの授業		<p>目的 子ども達にいのちの大切さを伝え、自己肯定感を育み、他者への関わりを学ぶ機会を与える。</p>							
取組内容・実績		<p>・実施校 計画：小中学校37校 高校5校 保育園1園 実績：小学校9校 中学校6校 (19回) 高校2校 保育園1園 (前年度実績：小学校7校 中学校7校 (21回) 高校3校 保育園2園)</p>							
成果		<p>子ども達が望まれて誕生してきたこと、誕生は奇跡であるということから命の大切さを学び、自尊感情を育むことができた。 また自己肯定感を高めることで、親や他者を承認して大切に思う気持ちを高めることができた。</p>							

3款 民生費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)																											
2項 児童福祉費 6目 子育て支援費	児童発達支援事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書																								
		2,005,716円	2,082,441円	△76,725円	P164																								
	<p>目的</p> <p>発達障がいやその傾向にある子どもに対して、早期に対応することで、社会に適応できない子どもや若者を減らし、将来的に虐待、問題行動、不登校、ひきこもりの予防につなげることを目的に国から事業所指定を受けて事業を実施する。</p> <p>また、市内の保育園、幼稚園、子ども園に幼児の発達等に関する知識を有する職員を訪問させ、児の発達の遅れや特性に早期に気づき、少しでも早いうちから適切な支援や療育を始めて、発達を促していけるように指導や助言を行う。</p>																												
	取組内容・実績 ( )内数は前年度実績																												
	<table border="1" data-bbox="534 880 1460 969"> <thead> <tr> <th>巡回支援</th> <th>巡回延回数</th> <th>延件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・園等巡回支援事業</td> <td>201回(188回)</td> <td>442件(481件)</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="534 1014 1460 1104"> <thead> <tr> <th>相談事業</th> <th>延件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・発達支援相談事業</td> <td>31件(30件)</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="534 1149 1460 1373"> <thead> <tr> <th>児童発達支援事業</th> <th>開催</th> <th>延人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・幼児療育支援教室 (じゃんぷ)</td> <td>229回(217回)</td> <td>987人(1,017人)</td> </tr> <tr> <td>・幼児ことばこころの教室 (さくらんぼ)</td> <td>117回(138回)</td> <td>166人(206人)</td> </tr> <tr> <td>・おでかけさくらんぼ</td> <td>143回(100回)</td> <td>300人(209人)</td> </tr> <tr> <td>・幼児動作療法教室 (まつぼっくり)</td> <td>23回(18回)</td> <td>34人(36人)</td> </tr> </tbody> </table>					巡回支援	巡回延回数	延件数	・園等巡回支援事業	201回(188回)	442件(481件)	相談事業	延件数	・発達支援相談事業	31件(30件)	児童発達支援事業	開催	延人数	・幼児療育支援教室 (じゃんぷ)	229回(217回)	987人(1,017人)	・幼児ことばこころの教室 (さくらんぼ)	117回(138回)	166人(206人)	・おでかけさくらんぼ	143回(100回)	300人(209人)	・幼児動作療法教室 (まつぼっくり)	23回(18回)
巡回支援	巡回延回数	延件数																											
・園等巡回支援事業	201回(188回)	442件(481件)																											
相談事業	延件数																												
・発達支援相談事業	31件(30件)																												
児童発達支援事業	開催	延人数																											
・幼児療育支援教室 (じゃんぷ)	229回(217回)	987人(1,017人)																											
・幼児ことばこころの教室 (さくらんぼ)	117回(138回)	166人(206人)																											
・おでかけさくらんぼ	143回(100回)	300人(209人)																											
・幼児動作療法教室 (まつぼっくり)	23回(18回)	34人(36人)																											
<p>成果</p> <p>障がいをもつ子どもに対して、個々の特性に合った適切な対応をすることで、子どもの力を伸ばすと共に自己肯定感を高め、また早期に支援することで学校生活が安定し、子どもが自分に自信を持ち、周囲と円滑に関わっていくことができた。親への気持ちに寄り添い、親自身が安定することで、子どもの発達が促された。</p>																													

3款 民生費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)																								
		R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書																					
2項 児童福祉費 6目 子育て支援費	子ども若者相談事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書																					
		8,165,683円	6,029,374円	2,136,309円	P164																					
<p>目的</p> <p>次世代を担う佐渡の子ども若者が健やかに成長し、社会との関わりを持ちながら、自立した個人として自己の確立を目指すために妊娠期から乳幼児期、青年期まで切れ目なく支援する。</p>																										
<p>取組内容・実績 ( )内数は前年度実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>相談事業</th> <th>延件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・家庭児童相談事業</td> <td>2,238件(1,937件)</td> </tr> <tr> <td>・若者相談事業</td> <td>504件(302件)</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>親育ち・子育て応援事業</th> <th>開催</th> <th>延人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・BPプログラム(4回コース)</td> <td>2回(4回)</td> <td>8人(25人)</td> </tr> <tr> <td>・セカンドステップ(13回コース)</td> <td>65回(39回)</td> <td>1,196人(443人)</td> </tr> <tr> <td>・NPプログラム(7回コース)</td> <td>28回(7回)</td> <td>90人(22人)</td> </tr> <tr> <td>・パパさん講座(4回コース)</td> <td>5回(8回)</td> <td>24人(46人)</td> </tr> </tbody> </table>						相談事業	延件数	・家庭児童相談事業	2,238件(1,937件)	・若者相談事業	504件(302件)	親育ち・子育て応援事業	開催	延人数	・BPプログラム(4回コース)	2回(4回)	8人(25人)	・セカンドステップ(13回コース)	65回(39回)	1,196人(443人)	・NPプログラム(7回コース)	28回(7回)	90人(22人)	・パパさん講座(4回コース)	5回(8回)	24人(46人)
相談事業	延件数																									
・家庭児童相談事業	2,238件(1,937件)																									
・若者相談事業	504件(302件)																									
親育ち・子育て応援事業	開催	延人数																								
・BPプログラム(4回コース)	2回(4回)	8人(25人)																								
・セカンドステップ(13回コース)	65回(39回)	1,196人(443人)																								
・NPプログラム(7回コース)	28回(7回)	90人(22人)																								
・パパさん講座(4回コース)	5回(8回)	24人(46人)																								
<p>成果</p> <p>育児不安や不適切な養育をしている親等に対し、関係機関が連携し支援することで、児童虐待の防止につなげることができた。</p> <p>不登校、ひきこもりの支援を教育委員会、社会福祉課等と連携して関わることで、子どもが一步踏み出せる機会を与えることができた。</p>																										
放課後児童健全育成事業者補助事業	放課後児童健全育成事業者補助事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書																					
		7,611,404円	4,519,900円	3,091,504円	P166																					
<p>目的</p> <p>放課後児童健全育成事業を実施する事業者に対し、その事業に要する経費について補助金を交付し、児童の健全な育成を支援する。</p>																										
<p>取組内容・実績</p> <p>秘密基地おおぞら吉井</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>金額(前年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>放課後児童健全育成事業</td> <td>7,434,304円(4,460,500円)</td> </tr> <tr> <td>児童支援員等処遇改善臨時特例事業</td> <td>177,100円(59,400円)</td> </tr> </tbody> </table>						事業名	金額(前年度)	放課後児童健全育成事業	7,434,304円(4,460,500円)	児童支援員等処遇改善臨時特例事業	177,100円(59,400円)															
事業名	金額(前年度)																									
放課後児童健全育成事業	7,434,304円(4,460,500円)																									
児童支援員等処遇改善臨時特例事業	177,100円(59,400円)																									
<p>成果</p> <p>放課後における児童の居場所を確保するとともに、保護者の勤労支援が図られた。</p>																										

3款 民生費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)					
		R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書		
2項 児童福祉費 6目 子育て支援費	子どもが元気な佐渡が島(たからじま)事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書		
		20,300,000円	21,300,000円	△1,000,000円	P166		
		<p>目的</p> <p>佐渡市に生まれた子どもの誕生を祝い、次世代を担う子どもの健やかな成長を願うとともに、子育てにかかる費用の経済的負担軽減を図ることを目的に、子どもの保護者に対し、出生祝金を支給する。</p>					
		<p>取組内容・実績</p> <p>児童1人につき現金10万円支給</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>対象児童数 (前年度)</td> </tr> <tr> <td>203人 (213人)</td> </tr> </table>				対象児童数 (前年度)	203人 (213人)
対象児童数 (前年度)							
203人 (213人)							
<p>成果</p> <p>子育てにかかる費用の経済的負担軽減が図られた。</p>							
	多子世帯出産成長祝金事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書		
		71,677,375円	35,494,321円	36,183,054円	P166		
		<p>目的</p> <p>多子世帯の子育てに係る経済的負担を軽減することにより、子育て世代の第3子以降の妊娠、出産の後押しとなり、かつ、本市の重要課題である少子化の減速、移住・定住の促進及び本市の活性化に寄与するため、出産成長祝金を支給する。</p>					
		<p>取組内容・実績</p> <p>○定期給付</p> <p>児童1人につき現金20万円支給</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>対象児童数 (前年度)</td> </tr> <tr> <td>54人 (62人)</td> </tr> </table> <p>○特例給付</p> <p>児童1人につき現金5万円、商品券5万円支給</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>対象児童数 (前年度)</td> </tr> <tr> <td>596人 (222人)</td> </tr> </table>				対象児童数 (前年度)	54人 (62人)
対象児童数 (前年度)							
54人 (62人)							
対象児童数 (前年度)							
596人 (222人)							
<p>成果</p> <p>多子世帯の子育てに係る費用の経済的負担軽減が図られた。</p>							

3款 民生費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)				
		R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書	
4項 国民年金事務 取扱費	国民年金事務 取扱事業	108,330円	91,104円	17,226円	P170	
		1目 国民年金事務 取扱費				
目的 日本国憲法第25条第2項に規定する理念に基づき、老齢、障害および死亡によって国民生活の安定が損なわれることを国民の共同連帯によって防止し、もって健全な国民生活の維持及び向上に寄与する。						
取組内容・実績 国民年金法（第1号法定受託事務）及び国民年金施行令による受託事務 ○各届け出件数（件）						
		届出種類	今年度件数	前年度件数	差	
		資格取得・申出	603	642	△39	
		資格喪失・申出	11	6	5	
		不在・解除	1	3	△2	
		申請免除訂正	1	1	0	
		申請免除追加	4	2	2	
		申請免除取消	1	0	1	
		基礎年金番号訂正	4	2	2	
		種別変更	93	122	△29	
		資格関係記録訂正	0	0	0	
		資格関係記録追加	0	0	0	
		資格関係記録取消	0	0	0	
		生年月日訂正	0	0	0	
		免除理由該当	52	74	△22	
		免除理由非該当	16	8	8	
		付加保険料納付・辞退	45	65	△20	
		付加保険料該当・非該当	4	3	1	
		国民年金保険料免除申請書	407	517	△110	
		国民年金保険料学生納付特例申請書	148	171	△23	
		国民年金保険料産前産後免除申請書	10	16	△6	
		裁定請求書	老齢基礎年金	23	15	8
			障害基礎年金	43	49	△6
			遺族基礎年金	0	0	0
			寡婦年金	0	1	△1
			死亡一時金	10	10	0
			特別一時金	0	0	0
			未支給年金	29	22	7
		特別障害給付金	0	0	0	
		年金生活者支援給付金	93	107	△14	
		諸変更届	死亡届	115	111	4



4款 衛生費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)					
1項 保健衛生費 1目 保健衛生総務費	すこやかな妊娠・出産事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書		
		28,456,574円	26,011,951円	2,444,623円	P172		
		<b>◎不妊・不育治療費補助</b> 目的 不妊・不育症に悩む夫婦の受診機会の増加及び出産へ結びつけるために、医療費負担の軽減を図る。					
		取組内容・実績 ・助成件数：計画20件 実績11件 延べ13件 (前年度：計画15件 実績5件 延べ6件) ・助成金額：1,851,060円 (うち交通費助成 661,410円、宿泊費助成 79,650円) (前年度：560,350円うち交通費助成206,850円、宿泊費助成3,500円)					
		成果 不妊・不育治療を行う方は、市外の医療機関に通院する方がほとんどであり、治療費に加えて交通費や宿泊費もかさんでしまうため、治療費や交通費、宿泊費の助成を行ったことで、経済的・精神的負担の軽減につながった。					
		<b>◎妊産婦医療費助成</b> 目的 妊産婦の疾病の早期発見と早期治療を促し、安心して出産を迎えられるようにするため、医療費負担の軽減を図る					
		取組内容・実績 ・助成件数：計画230件 実績57件 延べ69件 (前年度：計画2件 実績0件 延べ0件) ・助成金額： 1,128,194円 (前年度： 0円)					
		成果 令和3年度まで非課税世帯のみを対象としていたが、令和4年度からは課税世帯も対象としたため、申請件数が増加し、妊娠期・子育て世帯の経済的支援につながった。					
			健康づくり事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
				3,981,154円	1,970,899円	2,010,255円	P172
<b>◎健康推進月間(新規)</b> 目的 新たに健康推進月間を創設し、健康づくり活動に関心を持ち実践してもらうことで、健康に関する意識の醸成を図り、健康寿命の延伸を目指す。							
取組内容・実績 ・健康イベント 5回開催 参加者総数 865名 ・健康キャンペーン事業 10月と1月に実施 応募総数 777名							
成果 市内で新型コロナウイルス感染拡大の影響が残っていた中で、関係機関団体と協働して事業を実施し、健康に関する意識の醸成を図ることができた。							

4款 衛生費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
1項 保健衛生費 1目 保健衛生総務費	高齢者保健事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		3,023,224円	(新規)	—	P174
		<p><b>◎高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施</b></p> <p>目的 後期高齢者の自立した生活を実現し、健康寿命の延伸を図るため、高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施を効果的に進め、健康寿命日本一を目指す。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>1. ハイリスクアプローチ</p> <p>(1) 栄養改善事業            集団後期高齢者健康診査の結果、BMI 18.5未満の方等に管理栄養士が個別に栄養指導を実施し、栄養状態の改善につなげた。</p> <p>1) 栄養指導実施率            ・初回指導率 82.4% (14/17人)            ・指導完了率 100% (13/13人)</p> <p>2) 栄養指導実施者の3～6か月後の栄養等の状態            ・体重を維持または増加した割合 92.3% (12/13人)            ・1日3食食べる割合 100% (13/13人)            ・1日1時間以上の身体活動を実施する割合 92.3% (12/13人)            ・肉か魚を1日2回以上毎日摂取する割合 76.9% (10/13人)</p> <p>(2) 生活習慣病重症化予防事業(高血圧、糖尿病、貧血)            集団後期高齢者健康診査の結果、保健師等が健診結果を説明し、適切な生活習慣、受療行動を選択し継続できるよう支援した。</p> <p>1) 初回指導率(原則訪問、面接) 100% (7/7人)            継続支援(電話) 100% (7/7人)</p> <p>2) 医療機関受診率 66.7% (4/6人) *1人転出            【内訳】糖 対象者なし、血圧 0% (0/1人)            貧血 80.0% (4/5人)</p> <p>(3) 健康状態不明者の実態把握事業            健診や医療未受診者で、介護サービス等も利用していない健康状態等が不明な方に、保健師等が訪問により後期高齢者の質問票等で健康状態を把握した。</p> <p>1) 健康状態が不明な高齢者の実態把握率 85.7% (6/7人)            2) 必要なサービス等につながった者の割合 0% (0/1人)</p> <p>2. ポピュレーションアプローチ</p> <p>(1) フレイル予防普及啓発事業            地区健康学習会、健康相談・健康教育の場で、医療専門職がフレイル予防について普及啓発を行った。通いの場で後期高齢者の質問票を活用した。</p> <p>1) 参加者数 189人(うち質問票の回答数182人:96.3%)            2) フレイルについての理解度 55.7% (103/185人)            3) 学んだ内容を家族や知人に伝える 96.8% (179/185人)</p> <p>(2) フレイル相談事業            集団健診当日に医療専門職が相談を実施し、気軽に相談できる場を確保した。必要に応じて福祉・保健(介護保険・栄養改善・受診等)のサービスへつないだ。</p> <p>1) フレイル相談実施者数 68人 健診受診者の25.7% (68/265人)            【内訳】 包括 10.2% (27/265人)、栄養 7.5% (20/265人)            口腔 9.1% (24/265人) *重複あり</p> <p>2) 必要時サービス等に繋いだ人数 91.7% (22/24人)            【内訳】 包括 100% (3/3人)、栄養 100% (14/14人)            口腔 71.4% (5/7人) *重複あり</p>			
		<p>成果            後期高齢者に対して、保健師・管理栄養士・歯科衛生士等の医療専門職が健診や訪問等で早期に相談・指導を実施することで、フレイル予防や疾病の重症化予防に繋げることができた。</p>			

4 款 衛生費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
1 項 保健衛生費 1 目 保健衛生総務費	高齢者保健事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		3, 023, 224円	(新規)	—	(高齢者保健事業) P174
		92, 982, 247円	96, 430, 598円	△3, 448, 351円	(健康増進費) P176
		6, 143, 697円	1, 283, 714円	4, 859, 983円	(国保保健事業) P337
1 項 保健衛生費 3 目 健康増進費	健康増進費	<p>◎尿中塩分濃度測定検査 (新規)</p> <p>目的</p> <p>佐渡市は高血圧の医療費が高い。疾病別の1人当たり医療費でも高血圧が関連する腎不全、心疾患、脳血管疾患の医療費が増加してきている。高血圧の要因となる食生活の改善を定着させるため、減塩に着目し健康寿命の延伸につなげる。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>集団健診会場での特定健診・健康診査で尿中塩分測定を実施。                      (高齢者保健事業：尿中塩分濃度測定検査委託料2, 024, 640円)                      (健康増進費：尿中塩分濃度測定検査委託料216, 960円)                      (国保保険事業：尿中塩分濃度測定検査委託料4, 680, 000円)                      39歳以下：208人、40～74歳：4, 667人、後期高齢者2, 109人                      生活保護・被用者保険被扶養者：226人</p> <p>特定健診対象となる4, 667人の内、特定保健指導613人、生活習慣病重症化予防事業124人、CKD(慢性腎臓病)対策事業119人の指導時には尿中塩分測定の結果を説明し、減塩や食事量を踏まえた各種指導を実施した。</p> <p>健康学習会125会場(参加者1406人)では、尿中塩分測定の結果を踏まえ、栄養士が食に関する講話を実施。アンケートでは、減塩を実践しようと思うと回答された方の割合が73.8%であった。</p>			
【国民健康保険特別会計】 4 款 保健事業費 2 項 保健事業費 3 目 保健指導事業	国保保健事業	<p>成果</p> <p>推定塩分摂取量は男性平均9.32g(平成26年度より△0.41g)、女性平均8.85g(平成26年度より△0.43g)であり、平成26年度検査時より微減であるが、目標値である男性7.5g未満、女性6.5g未満には及ばない。推定カリウム摂取量の目標値、男性3,000mg、女性2,600mgのところ、男性平均1,685.2mg、女性1,655.5mgとかなり少ないことが分かった。市民に佐渡市の現状を啓発し減塩の重要性を啓発することができた。</p>			

4款 衛生費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
1項 保健衛生費 2目 予防費	予防接種費	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		131,533,370円	136,984,435円	△5,451,065円	P176
		◎子宮頸がんワクチンの勧奨再開 目的 積極的勧奨再開により予防接種の有効性及び副反応を周知し、予防接種を実施することで子宮頸がんウイルスの感染を予防する。			
		取組内容・実績 ( )内数は前年度実績 ○子宮頸がんワクチン接種者数 7,326,096円 (1,010,520円) 計画延べ1,045人 実績延べ456人 (延べ63人)			
成果 市内13医療機関で予防接種を実施できた。					
2項 清掃費 1目 清掃総務費	リサイクル推進事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		41,348,240円	39,907,518円	1,440,722円	P186
		目的 ごみ分別の徹底を図ることにより、ごみ減量化の推進及び資源の有効活用を推進し、循環型社会の形成を目指す。			
		取組内容・実績 ・古紙収集運搬委託料 15,914,800円 市内の指定場所及び各クリーンセンターにおいて月1回の回収 回収量：995.91t (前年度 1041.00t) ・ペットボトル再商品化等委託料 4,462,491円 収集されたペットボトルを圧縮梱包しリサイクル業者へ搬出 リサイクル量：139.89t (前年度 133.00t) ・廃食用油収集運搬委託料 2,067,780円 市内30か所で拠点回収：17,000L (前年度 16,400L) ・使用済自動車等海上輸送補助金 3,166,237円 6事業者・1,634台 (前年度 7事業者・1,500台)			
成果 市民や事業者の協力を得ながら、ごみの分別回収を徹底し、資源としての循環的な利用の推進につながった。					

4 款 衛生費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
2 項 清掃費 1 目 清掃総務費	浄化槽事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		24,247,975円	17,764,615円	6,483,360円	P188
		<p>目的 生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、合併処理浄化槽を設置する者に対して補助金を交付する。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浄化槽等設置費補助金(5人槽)…32基 (前年度29基) 11,264,000円</li> <li>・浄化槽等設置費補助金(7人槽)…10基 (前年度7基) 4,410,000円</li> <li>・浄化槽等設置費補助金(10人槽)…2基 (前年度1基) 1,176,000円</li> <li>・単独処理浄化槽又はくみ取り便槽撤去費補助金 …9件 (前年度4件) 810,000円</li> <li>・浄化槽等設置に係る宅内配管工事費補助金 …23件 (前年度12件) 6,512,000円</li> </ul>			
<p>成果 公共用水域の水質を保全し、合併処理浄化槽への切替え費用の負担軽減と切替えに伴う改築等の需要増加が図られた。</p>					
3 項 医療推進費 1 項 医療推進総務費	地域医療の人 材育成・確保 事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		117,308,687円	102,673,870円	14,634,817円	P194
		<p>目的 不足する医療従事者の人材育成と確保を推進し、安定した医療提供体制の構築を図る。</p>			
		<p>取組内容・実績 ( ) 内数は前年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○就業支援補助金 5,103,000円 (4,732,000円) <ul style="list-style-type: none"> <li>・面接旅費：計画3人 実績1人 (0人)</li> <li>・見学旅費：計画3人 実績7人 (10人)</li> <li>・就業支度金：計画20人 実績25人 (23人)</li> </ul> </li> <li>○研修医等生活支援補助金 165,137円 (170,394円) 計画1件 実績1件 (1件)</li> <li>○島外学生就学支援補助金 0円 (246,000円) 計画：新規2人 実績：新規0人 (新規0人 継続2人)</li> <li>○定着支援補助金 5,854,000円 (4,596,000円) 計画：新規10人、継続21人 実績：新規13人、継続17人 (新規4人、継続18人)</li> <li>○研修医海外留学支援金 5,250,000円 (新規) 計画1人 実績1人</li> <li>○看護師緊急確保補助金 1,400,000円 (新規) <ul style="list-style-type: none"> <li>・面接旅費：計画2人 実績0人</li> <li>・見学旅費：計画2人 実績0人</li> <li>・就業支度金：計画2人 実績2人</li> </ul> </li> <li>○医療技術者奨学資金貸付金 99,283,000円 (92,674,100円) 計画：新規22人、継続56人 実績：新規20人、継続50人 (新規22人、継続47人)</li> </ul>			
<p>成果 市内における医療技術者を確保するため、医療技術者養成校に進学する学生への奨学金の貸与等の事業を引き続き展開した。 長期的に佐渡医療圏に関わる人材確保に向けて研修医の海外留学支援を行うとともに、医療提供体制の維持において必要となる高いスキルを持つ看護人材の確保につなげることができた。</p>					

4 款 衛生費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
3 項 医療推進費 2 目 診療所費	診療所運営費	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		27,423,331円	26,540,495円	882,836円	P194
		目的 へき地における医療提供体制を確保し、地域住民の健康増進に寄与する。			
		取組内容・実績 ( ) 内数は前年度実績 ・赤泊診療所内科 延患者数7,574人 (7,700人) ・赤泊診療所歯科 延患者数4,790人 (4,783人) ・松ヶ崎診療所 延患者数 813人 (744人) ・小木診療所 延患者数7,514人 (7,938人)			
成果 引き続き診療所を運営することにより、南佐渡地域の診療体制を維持することができた。					
3 項 医療推進費 3 目 病院費	病院補助事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		137,000,000円	137,000,000円	0円	P196
		目的 市内の中核病院として重要な役割を果たしている公的病院の運営費を補助することにより、地域の医療提供体制の維持を図る。			
		取組内容・実績 ・公的病院運営費補助金 (佐渡総合病院) 137,000,000円 (前年度137,000,000円)			
成果 市内の中核病院である佐渡総合病院に対して、運営費を補助することにより、医療提供体制の維持が図られた。					

5 款 労働費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
1 項 労働諸費 1 目 労働諸費	雇用促進の支援事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		16, 123, 790円	14, 507, 895円	1, 615, 895円	P198
		<p>◎インターンシップ事業</p> <p>目的 「佐渡」で働くことへの関心や島だからこそその魅力を知る機会創出と、企業プロモーションの一環として会社の認知度向上を図り若者の雇用促進につなげる。 その他、指導担当を通じた社内対応者の人材育成や課題解決型インターンシップの成果を事業構築等の新たな思考や発想に活用することも目的の一つとする。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>1【イベント型】さどライフ&amp;ワーク型 佐渡ならではの事業や活動・人にスポットを当てたツアー形式で事業所見学を行うコース (1)実施日：令和4年9月5日から令和4年9月8日 (2)参加者16名（前年比+3名）、受入事業所6社</p> <p>2【イベント型】一社集中型 業種や仕事内容、会社理念等に関心があり、課題解決や就業体験を中心とした一社単独受入コース (1)実施日：令和4年9月13日から令和4年9月16日 (2)参加者17名（前年比+5名）、受入事業所10社</p> <p>3 学生アンケートの集計結果 ・Sadojob internshipの満足度：たいへん満足78.1%、満足21.9% ・佐渡で働くことが選択肢となったか：なった59.4%、検討中40.6% ・次回も参加したいか：参加したい53.1%、未定46.9% ・長期インターンシップを利用したいか：利用したい59.4%、40.6%</p> <p>4 実績額 ・運営委託572,000円 ・全体コンセプト設計業務委託3,300,000円</p>			
		<p>成果 令和3年度よりも多くの学生から参加いただいたため、人材交流による雇用機会創出を図ることができ、アンケート結果から暮らす場所や働く場所の選択肢に佐渡を加えることができた。</p>			

6 款 農林水産業費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
1 項 農業費 1 目 農業委員会費	農業委員会運営費	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		37,250,305円	36,136,149円	1,114,156円	P200
		<p>目的</p> <p>農地制度法令業務の適正かつ的確な執行のほか、優良農地確保のための遊休農地解消や違反転用の早期発見と是正指導等を行う。</p> <p>農業者の老後生活の安定を図るため、農業者年金への新規加入を勧誘する。</p>			
		<p>取組内容・実績 ( )内数は前年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業委員会総会 12回 (12回)</li> <li>・農地部会 (12回)、農政振興部会 (5回) 17回 (18回)</li> <li>・代表者会議 7回 (3回)</li> <li>・広報・研修員会 (2回)、年金委員会 (1回) 3回 (5回)</li> <li>・各種研修会 5回 (5回)</li> <li>・農業委員会大会への参加 25名 (27名)</li> <li>・農業者等との意見交換会 1回 (1回)</li> <li>・農地パトロール 2回 (1回)</li> </ul>			
<p>成果 ( )内数は前年度実績</p> <p>○農地法に基づく処理状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法第3条【売買・贈与・使用貸借】 121件・313,680.75㎡ (113件・309,037㎡)</li> <li>・法第4条【自己所有農地の転用】 10件・6,881㎡ (14件・9,537㎡)</li> <li>・法第5条【転用を目的とした権利移動】 27件・10,464.82㎡ (35件・29,556㎡)</li> <li>・法第18条6項【賃貸借契約の合意解約】 224件・1,012,136㎡ (361件・1,671,219㎡)</li> <li>・その他【農地転用事実確認、非農地証明、2a未満届 (農地法第4条1項8号)、非農地通知】 2,363件・1,817,012㎡ (889件・896,297㎡)</li> </ul> <p>○農地中間管理事業の特例 (農地売買等事業) による処理状況</p> <p>認定農業者等の担い手に農地を集積するため、以下の申請を審議・決定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・買入 39件・159,794㎡ (48件・191,558㎡)</li> <li>・売渡 38件・159,795㎡ (48件・191,558㎡)</li> </ul> <p>○農業経営基盤強化促進法に基づく処理状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用権設定等促進事業</li> <li>農業経営基盤強化促進法第18条による農地の利用権設定について、以下の申請を審議・決定した。</li> <li>・1,337件・6,125,918㎡ (1,558件・6,525,457㎡)</li> </ul> <p>○農業者年金関係</p> <p>農業者年金の新規加入者について、以下の加入者を確保した。</p> <p>裁定請求事務のほか、各種処理を適切に行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規加入者 5人 (2人)</li> <li>・既存加入者 63人 (46人)</li> <li>・農業者年金受給者数 687人 (746人)</li> </ul>					



6 款 農林水産業費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)															
1 項 農業費 3 目 農業振興費	みどりの食料システム戦略推進事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書												
		9, 332, 374円	(新規)	—	P206												
		<p>目的</p> <p>佐渡版みどりの食料システムの実現に向け、無農薬無化学肥料栽培のお米を保育園や小・中学校の給食に提供するなど、食育等を含めた新しいかたちの農業に取り組むことで、農業分野から低炭素社会実現の役割を果たす仕組づくりを進める。</p>															
		<p>取組内容・実績</p> <p>1 水稲の無農薬無化学肥料栽培面積の拡大</p> <p>(1) 無農薬無化学肥料栽培の面積拡大の障壁となっている水田内除草の負担を軽減するため、水田除草機の導入を支援した。</p> <p>①事業名 水田除草機導入支援事業</p> <p>②導入実績 13台</p> <p>③補助金額 2,788,000円</p> <p>(2) 有機農業に取り組む生産者の拡大と栽培技術の向上を目的に水稲有機栽培研修会を実施した。</p> <p>①開催日 令和4年6月17日、8月25日、令和5年3月7日の全3回開催</p> <p>②参加者数 延べ184人</p> <p>2 農業の価値を未来につなぐ食農授業の実施</p> <p>給食への無農薬無化学肥料栽培米の提供とあわせ、保育園を中心に「農」「食」「環境」のつながりについて意識を高める食農授業を実施した。</p> <p>◎食農授業等の実績</p> <table border="1" data-bbox="536 1294 1067 1574"> <thead> <tr> <th>対 象</th> <th>開催実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保育園</td> <td>24園</td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>5校</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>3校</td> </tr> <tr> <td>高等学校</td> <td>1校</td> </tr> <tr> <td>島外小学校</td> <td>1校</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>3組織</td> </tr> </tbody> </table>				対 象	開催実績	保育園	24園	小学校	5校	中学校	3校	高等学校	1校	島外小学校	1校
対 象	開催実績																
保育園	24園																
小学校	5校																
中学校	3校																
高等学校	1校																
島外小学校	1校																
その他	3組織																
<p>成果</p> <p>水田除草機の導入支援や研修会を実施したことにより、無農薬無化学肥料栽培米の取組面積が前年度より7ha増加した(48ha→55ha)。</p> <p>また、若年層への食農授業や給食への安全安心な食の提供を行ったことで、保護者をはじめとする一般消費者の「環境と調和した持続可能な農業」に対する理解の醸成につながった。</p>																	

6 款 農林水産業費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
2 項 林業費 2 目 林業振興費	森林環境整備 事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		13, 213, 283円	10, 945, 217円	2, 268, 066円	P216
		<b>目的</b> 森林の有する公益的機能を維持するため、国の森林整備政策である「森林環境譲与税」を活用して、林業事業体の生産性を向上させ素材生産量の増加を図り、佐渡産材の普及啓発事業により木材の市内循環に繋げる。			
		<b>取組内容・実績</b> ○牛込農村公園防護柵改修工事 設置：2m×68基 ○林業技術者育成支援事業 利用団体数：4団体 延べ27人 ○林業機械等レンタル支援事業 利用団体数：3団体 ○域学連携事業原材料支給 利用団体数：1団体 ○佐渡地方育樹祭負担金			
<b>成果</b> 育成支援事業やレンタル支援事業により、林業事業体の施業能力が向上し、市内素材生産量の増加に繋がった。 また、防護柵改修事業及び域学連携事業により、佐渡産木材の利活用を推進することができた。					
3 項 水産業費 2 目 水産業振興費	水産振興事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		28, 618, 803円	16, 339, 000円	12, 279, 803円	P220
		<b>◎新規漁業就業者支援事業費補助金</b> <b>目的</b> 意欲ある新規漁業後継者を確保し、経営能力の高い漁業者として育成・定着を図る。			
		<b>取組内容・実績</b> 1 相談窓口の運営 就業希望者の相談を受け付け、希望に応じて里親漁業者とのマッチング支援（面談）を行った。また、ホームページ掲載や学校へのPR活動、首都圏で開催される漁業就業フェアに参加した。 (1) R4年度新規の相談者数 7名 (2) マッチング支援 3名 2 新規漁業就業者支援事業費補助金 (1) 里親漁家研修支援事業 新規就業者が必要な技術を取得するために行う長期研修に対して補助金を交付。 ・対象者 漁業協同組合 ・補助限度額 研修生1人あたり16万円/月 里親漁家2万5千円/月 ・補助実績 8名（前年度5名）合計8,537,000円（前年度4,755,000円） (2) 新規自営漁業者定着支援事業 新規に自営で漁業を行う者の確実な定着を図るため、経営開始直後の不安定な時期を支援。 ・対象者 新たに独立経営する漁業者 ・補助限度額 150万円/年 ・補助実績 3名（前年度3名）合計3,800,000円（前年度3,700,000円）			
<b>成果</b> 手厚く支援を行ったことで予定よりも多くの漁業研修生を確保できた。特に大型定置網漁業など雇用型の就業者については若返りが図られた。					

6 款 農林水産業費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
3 項 水産業費 2 目 水産業振興費	離島漁業再生 支援費	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		120,411,481円	135,136,802円	△14,725,321円	P220
		<p>◎離島漁業再生支援交付金</p> <p>目的</p> <p>販売・生産の面で不利な条件にある離島漁業を維持・再生するため、漁業集落が漁業所得の向上と漁業就業者の維持を目標として取り組む活動を支援する。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>(1) 対象者 17集落</p> <p>(2) 交付申請額 124,531,000円 (前年度134,639,000円)</p> <p>(3) 交付実績額 119,963,123円 (前年度126,526,311円)</p> <p>(4) 不用額 4,567,877円 (前年度8,112,689円)</p>			
<p>成果</p> <p>新たな資源として注目されるクエの種苗放流を支援し、漁場の生産力を向上させるとともに安定した養殖漁業を推進するため、ウニやサザエなど新たな養殖漁業の実証試験を支援した。また、人手不足で加工に取り組めない集落と加工事業者の連携を推進することで新たな加工商品の開発につなげることができた。</p>					

7 款 商工費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
1 項 商工費 2 目 商工振興費	販売網D X化 事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		14, 817, 252円	22, 071, 822円	△7, 254, 570円	P228
		<p>目的</p> <p>佐渡産品のブランド化を更に進め、付加価値を高めて百貨店等に販売することにより、基幹産業である第1次産業の経営を安定させ、地域経済の維持・活性化を図ることを目的とする。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p><b>【取組実績】</b></p> <p>(1) 佐渡物産展ポータルサイト運営事業（委託費：731, 500円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ギフトページ及び金山関連商品のページ追加と利便性向上にかかるサイトリニューアル 掲載店舗数：41店舗（前年度 26店舗）</li> </ul> <p>(2) 佐渡産品CRMマーケティング事業（委託費：1, 570, 800円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外貨獲得の戦略的なマーケティングを実現させるため、佐渡産食材を積極的に取り扱う飲食店等へのヒアリング及び現状課題やニーズを調査</li> <li>・ヒアリングデータの一元管理による数値化と分析を実施</li> </ul> <p>ヒアリング件数：81店舗 ヒアリング店舗の佐渡産品取引実績：約2.5億円</p> <p>(3) 日本酒×伝統工芸品販促事業（委託費：520, 080円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐渡の日本酒を試飲できる環境を構築し、佐渡の伝統品無名異焼きとのクロスボーダーによるプロモーション及び販売実証により産品PRの相乗効果を図った。</li> </ul> <p>販売数：703件</p> <p>(4) 地域DX推進事業（委託費：8, 000, 000円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと納税と連携した取り組みの一環として、楽天マーケティングを活用したノウハウ取得と実証及び検証を実施。</li> </ul> <p>(5) 佐渡産品PR機会創出事業（委託費：560, 000円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐渡産農産物や伝統工芸品など、産品の魅力的なプロモーション機会の創出により新たな販路先への効果的なアプローチを図った。</li> </ul> <p>(6) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・百貨店と地場産品の流通、消費推進に関する連携協定を締結。</li> <li>・その他百貨店等との連携による佐渡産品の流通継続、販路維持。</li> </ul>			
<p>成果</p> <p>佐渡産品の流通拡大に向けた実証事業等により課題の明確化、新たなアプローチ手法を見出し、次年度に向けた具体的な施策を定める基礎ができた。</p> <p>また、販路先である百貨店との協定締結により、商品ブラッシュアップサポートや販売支援に対する関係構築ができた。</p>					

7 款 商工費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
1 項 商工費 3 目 企業誘致推進 費	企業誘致・スタートアップ 支援事業	34,673,672円	8,695,371円	25,978,301円	P230
		<p>目的</p> <p>主にスタートアップへの支援を強化し「起業成功率No.1の島」のブランドを構築し、若者移住者の受入促進から定着を図る。</p> <p>また、誘致企業の定着化を図るため、地元企業と連携したモデル事業を支援する。</p> <p>更に、DX人材育成事業を進出したITベンチャー企業と地元企業が連携し展開することにより、若者の定着化を図る。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>①佐渡ビジネスコンテスト2023開催 1/28</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加申込 16者</li> <li>(内訳：ビジネスモデル部門9者、課題解決型7者)</li> </ul> <p>②SADOワーケーション受入体制構築業務委託 5,500,000円</p> <p>受入体制(案)とそのためのロードマップ作成、具体的コンテンツ案の作成</p> <p>③DX人材育成講座業務委託 3,960,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アプリ開発：10名(8名修了)・Web制作：10名(7名修了)</li> </ul> <p>④進出企業定着・地域活性化モデル支援事業補助金 19,817,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DX人材育成支援サービスの開発とコミュニティの形成事業</li> <li>・DXを活用した情報発信の強化と人材育成事業</li> </ul>			
		<p>成果</p> <p>ビジネスコンテストで入賞した3社のベンチャー企業の誘致が確実に見込まれるとともに、整備したサテライトオフィス等に、9社の企業を誘致することができた。</p> <p>また、インキュベーションセンター河原田本町のフリースペースを活用して、学生や一般向けのDX人材育成講座を実施し、1名が進出企業に採用となった。</p> <p>進出企業と地元企業との連携による地域課題解決に資するモデル事業を支援したことで、DX人材育成の仕組みや映像情報発信ツールの開発につながり、進出企業2社の定着が図れた。</p>			

7 款 商工費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
1 項 商工費 4 目 観光費	観光地域づくり推進事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		104, 299, 964円	86, 473, 422円	17, 826, 542円	P236
		<p>目的</p> <p>世界遺産登録を見据えた佐渡全体の観光地域づくりを実施する（一社）佐渡観光交流機構を中心とし、観光案内所を中心とした地域内連携や、効果的な情報発信を行い、佐渡全体の観光地域としての底上げを図る。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>○観光案内所運営業務委託料 20, 697, 134円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3か所の案内所で対面、電話、メール等による観光案内</li> <li>・案内実績：55, 049件（前年度35, 749件）</li> </ul> <p>○観光情報発信業務委託料 9, 674, 830円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSを利用した新規層への広告宣伝およびコンテンツ作成</li> <li>・プレスリリース配信サービスを利用したの情報発信、さどまる会員へのメールマガジンの運用</li> <li>・観光公式パンフレット「佐渡さんぽ」をはじめとしたパンフレット類の作成と頒布。</li> </ul> <p>○佐渡観光交流機構負担金 73, 928, 000円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聴覚障がいのある方への対応として、言葉をつかわず、表情やジェスチャーだけでコミュニケーションを図るワークショップや、ユニバーサルデザインについて研修を行った。</li> <li>・外国人観光客向け動画サイトへ掲載する動画撮影の支援を行い、海外に向けて佐渡のPRを図った。</li> <li>・トレッキング情報の発信や、環境整備について関係者と連携し実施した。</li> </ul>			
<p>成果</p> <p>（一社）佐渡観光交流機構を中心として、地域の旬の情報発信によるPRや新規ファンの獲得を図ることができた。また、来訪者の利便性向上のため、観光案内所を中心とした受入れ体制を構築することができた。</p>					

7 款 商工費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
1 項 商工費 4 目 観光費	アドベンチャー ツーリズム 推進事業	15,881,743円	8,964,500円	6,917,243円	P236
		<p>目的</p> <p>コロナ禍でのアウトドアツーリズム需要の高まりを踏まえ、佐渡の本来の魅力である豊かな自然環境をより深く楽しんでもらうため、サイクリング及びトレッキングに対してアプリを利用したキャンペーンを行い期間内の誘客とニーズ調査、受入れ体制の構築を一体的に行う。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>○サイクルツーリズム誘客プロモーション委託料 8,326,273円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・趣味層へのプロモーションのため、全国の1周サイクリングコースと連携し、GPSアプリを活用したキャンペーンを実施。</li> </ul> <p>実施期間：令和4年4月29日～令和4年12月27日</p> <p>参加者数：488人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内の自転車プロチームと連携したワンデーイベントの開催（2回）</li> </ul> <p>参加者数：94人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・島内サイクリングガイドによる両津、相川、南佐渡の観光案内所発着のライト層向けサイクリングルートの調査と造成。</li> </ul> <p>○トレッキング誘客プロモーション委託料 5,280,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専用アプリを使い、トレッキングコースと立ち寄り施設等を連携させたイベントを開催</li> </ul> <p>参加者延べ人数：730人（前年度377人）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専用アプリ内及びWeb上で佐渡観光やトレッキングに関する記事を5種掲載 総PV数：284,878PV（前年度148,414PV）</li> </ul> <p>○連携協定負担金 693,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アウトドア機材を販売するモンベルの顧客へ向けて情報発信連携を行うフレンドエリアに登録。また、更なるアウトドア振興のため、包括連携協定を締結。</li> </ul>			
		<p>成果</p> <p>サイクルツーリズム及びトレッキングの新規層に対してのPRを行い、実来訪につなげることができた。また、キャンペーンに合わせたアンケートの実施により顧客ニーズの調査を行い、サイクルルートの作成や、トレッキング看板の設置などの受け入れ体制整備を行った。</p>			

7 款 商工費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
1 項 商工費 4 目 観光費	対岸市等交流 拡大推進事業	18,585,736円	(新規)	—	P236
		<p>目的</p> <p>対岸市等と連携したプロモーションを展開することで、「佐渡島の金山」の世界文化遺産登録を契機とした、国内外の観光客が佐渡を来訪する機会創出を図る。</p> <p>取組内容・実績</p> <p>○地域の観光資源を活用したプロモーション事業委託料 3,825,400円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対岸市など自治体と広域的に連携したPR活動を実施</li> <li>・コロナ前に佐渡への来訪者が多かった台湾などの国外でのプロモーションを実施</li> <li>・海外旅行社等の佐渡視察の受入を実施</li> </ul> <p>○イベント開催業務委託料 785,766円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・台湾高雄市での物産展を開催</li> </ul> <p>開催日：令和4年12月17日～18日</p> <p>○長岡佐渡広域観光協議会負担金 4,000,000円</p> <p>佐渡航路の社会実験として高速船をチャーターし、9月に寺泊－小木航路、3月に寺泊－赤泊航路を結ぶ旅行商品を造成し、両地域の観光振興を図った。</p> <p>9月参加実績330名（完売） 、 3月参加実績260名（完売）</p> <p>○新潟市連携事業負担金 5,000,000円</p> <p>新潟市、JR東日本と連携し「佐渡市・新潟市 秋の観光キャンペーン」を開催し、佐渡市・新潟市を一つのエリアとして楽しんでもらえるよう、スタンプラリーや特別企画列車の運行を始めとしたイベントの開催のほか、共同でのプロモーションを実施した。</p> <p>実施期間：令和4年9月1日～11月30日</p> <p>成果</p> <p>広域連携によるPR活動を通して、佐渡の認知度向上及びより効率的、効果的な誘客促進を図った。また、コロナ禍では実施回数が減っていた国外での対面のイベントでも佐渡の魅力をプロモーションできた。</p>			



## 7 款 商工費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
1 項 商工費 4 目 観光費	観光デジタル 化推進事業	28,734,770円	(新規)	—	P238
		<p>目的</p> <p>デジタル化によるCRM（顧客関係管理）を目指し、さどまる倶楽部などのアプリを通じた会員制度の推進と、観光公式Webサイト「さど観光ナビ」による新規層のインターネット検索からの流入向上を行い、情報の発信から実来訪や体験商品の購入までの利便性向上を図る。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>○観光ニーズ調査分析業務委託料 2,667,115円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来訪者の満足度、属性のアンケート調査</li> <li>・佐渡汽船の航送実績による来訪者属性の分析</li> </ul> <p>○さど観光ナビ運營業務委託料 7,613,320円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐渡の世界観がより伝わるサイト構成や、Google検索からの流入を強化するための全体改修を行った。</li> <li>・サイトセッション数：1,186,971（前年度：722,005）</li> <li>・増加するサイバー攻撃に対応するためのサーバー構成の強化</li> <li>・佐渡の楽しみ方、さどじまんなど、趣味別の記事コンテンツを充実させ、サイト滞在時間の向上を図った。</li> </ul> <p>○さどまる倶楽部運営管理業務委託料 5,861,724円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さどまる倶楽部の会員特典の手配や管理、新規会員獲得を行った。</li> <li>・予約手配件数 4,123件 利用者数 8,286人</li> </ul> <p>○だっちゃんコイン運營業務委託料 7,652,119円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さどまる倶楽部アプリの管理運営及び観光地域通貨システムの管理運用を実施</li> </ul>			
		<p>成果</p> <p>観光データの調査分析により今後の観光戦略における必要なデータを収集したほか、さど観光ナビの改修により、伝わりやすく、安全性の高い環境を整備することができた。また、さどまる倶楽部会員による来島者数が前年を大きく上回り、来島者数の増加に繋がった。</p>			

8 款 土木費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
1 項 土木管理費 2 目 安全・安心 まちづくり費	安全・安心ま ちづくり事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		211, 093, 654円	211, 408, 928円	△315, 274円	P244
		<p>◎安全・安心まちづくり事業 (地域対策)</p> <p>目的 道路及び河川施設等を適切に管理することにより、安全・安心なまちづくりを推進する。</p>			
		<p>取組内容・実績 主に各集落 (地域) からの身近で比較的小規模な要望に対し、広域的なバランスに配慮しつつ緊急度を勘案して実施した。 発注件数243件 (前年度249件)</p> <p>○委託料 (38件) 8, 341, 410円 ○工事請負費 (205件) 108, 330, 090円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両津地区 (両尾5号線 道路側溝修繕工事 ほか25件)</li> <li>・相川地区 (高千41号線 舗装修繕工事 ほか22件)</li> <li>・佐和田地区 (河原田幹線11号 横断側溝修繕工事 ほか20件)</li> <li>・金井地区 (吉井本郷1号線 道路陥没修繕工事 ほか30件)</li> <li>・新穂地区 (上新穂5号線 横断側溝修繕工事 ほか19件)</li> <li>・畑野地区 (4区畑野20号線 道路修繕工事 ほか28件)</li> <li>・真野地区 (金丸20号線 道路陥没修繕工事 ほか13件)</li> <li>・小木地区 (海潮寺線 フェンス修繕工事 ほか9件)</li> <li>・羽茂地区 (岩田線 道路側溝修繕工事 ほか16件)</li> <li>・赤泊地区 (下川茂4号線 道路舗装修繕工事 ほか13件)</li> </ul>			
		<p>成果 道路施設の補修及び修繕工事を行ったことにより、円滑な通行と安全を確保した。また、地元建設業者へ継続的な雇用の確保に繋がった。</p>			
		<p>◎市道等環境保全事業 (高齢化集落支援)</p> <p>目的 高齢化で実施が難しくなった市道等の維持管理作業 (道普請) を、地元建設業者に請け負わせることにより、安全・安心なまちづくりを推進する。</p>			
		<p>取組内容・実績 各集落 (地域) からの市道等の維持管理作業の要望に対し実施した。</p> <p>○委託料 (187件) 63, 162, 000円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両津地区 (東強清水集落 道路維持業務委託 ほか49件)</li> <li>・相川地区 (千本集落 道路維持業務委託 ほか34件)</li> <li>・佐和田地区 (山田尾山集落 道路維持業務委託 ほか10件)</li> <li>・金井地区 (貝塚第一集落 道路維持業務委託 ほか2件)</li> <li>・新穂地区 (新穂武井集落 道路維持業務委託 ほか5件)</li> <li>・畑野地区 (小倉 (下日向) 集落 道路維持業務委託 ほか21件)</li> <li>・真野地区 (下黒山集落 道路維持業務委託 ほか3件)</li> <li>・小木地区 (宿根木集落 道路維持業務委託 ほか9件)</li> <li>・羽茂地区 (下町集落 道路維持業務委託 ほか30件)</li> <li>・赤泊地区 (柳沢集落 道路維持業務委託 ほか14件)</li> </ul>			
		<p>成果 地元建設業者の更なる地域貢献を促し、高齢化集落の生活環境の維持と安全を確保した。対象集落 259集落、実施集落 187集落 (72. 2%)</p>			

8 款 土木費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
2 項 道路橋りょう 費 2 目 道路橋りょう 維持費	道路橋りょう 維持補修事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		189,334,693円	225,622,500円	△36,287,807円	P246
		<p>目的 道路維持管理計画等に基づき、適切に施設等を管理する。また、これに付随する施設等の管理も含め、交通の安全を確保する。</p>			
		<p>取組内容・実績 施工地区や路線の重要度を考慮し、緊急度を勘案して道路舗装等修繕工事を実施した。 発注件数 38件 (前年度35件) ＜舗装修繕＞ ○委託料 2件 2,189,000円 ○工事請負費 15件 88,643,700円 ・両津地区 (加茂歌代64号線 ほか3件) ・相川地区 (相川169号線) ・金井地区 (金井5号線) ・佐和田地区 (河原田幹線11号 ほか2件) ・新穂地区 (瓜生屋上新穂1号線) ・畑野地区 (峠河内線 ほか1件) ・真野地区 (豊田23号線) ・赤泊地区 (徳和3号線 ほか1件)  ＜側溝等修繕＞ ○工事請負費 12件 52,608,200円 ・相川地区 (小川11号線) ・畑野地区 (西高野町線 ほか1件) ・真野地区 (田切須12号線 ほか1件) ・小木地区 (小木半島巡環線 ほか1件) ・羽茂地区 (平出戸線 ほか1件) ・赤泊地区 (赤泊1号線 ほか2件)  ＜法面对策＞ ○委託料 (6件) 10,273,300円 ○工事請負費 (3件) 32,322,200円 ・両津地区 (河崎幹線6号線) ・小木地区 (小木半島巡環線) ・赤泊地区 (赤泊2号線)</p>			
		<p>成果 計画的かつ経済的に事業を実施し、道路維持管理計画を推進することにより交通の安全を確保することができた。</p>			

8 款 土木費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
2 項 道路橋りょう 費 2 目 道路橋りょう 維持費	(繰明)道路橋りょう維持補修事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		123,352,500円	—	—	P248
		<p>目的 道路維持管理計画等に基づき、適切に施設等を管理する。また、これに付随する施設等の管理も含め、交通の安全を確保する。</p>			
		<p>取組内容・実績 施工地区や路線の重要度を考慮し、緊急度を勘案して道路舗装等修繕工事を実施した。</p> <p>&lt;舗装修繕&gt; ○工事請負費 (15件) 120,206,800円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両津地区 (河崎幹線3号線 ほか3件)</li> <li>・相川地区 (橋69号線)</li> <li>・金井地区 (金井5号線 ほか2件)</li> <li>・佐和田地区 (河原田幹線11号 ほか2件)</li> <li>・新穂地区 (瓜生屋上新穂1号線)</li> <li>・真野地区 (豊田23号線)</li> <li>・羽茂地区 (滝平中央線)</li> <li>・赤泊地区 (徳和2号線)</li> </ul> <p>&lt;側溝等修繕&gt; ○工事請負費 (1件) 3,145,700円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・赤泊地区 (赤泊1号線)</li> </ul>			
成果		計画的かつ経済的に事業を実施し、道路維持管理計画を推進することにより交通の安全を確保することができた。			
	道路メンテナンス事業 (橋梁等の定期点検及び修繕計画策定)	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		24,659,800円	23,771,000円	888,800円	P246
		<p>目的 道路重要構造物(橋梁、トンネルなど)に対し5年に一度の定期点検を行い、長寿命化修繕計画の基礎資料とする。</p>			
		<p>取組内容・実績 調査地区や橋梁の重要度を考慮し、緊急度を勘案して計画的に実施した。</p> <p>○橋梁点検 (委託3件) 24,659,800円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・八反所橋 (金井地区) ほか140橋 計141橋 (前年度134橋)</li> <li>・橋梁環境計量測定分析2件</li> </ul>			
成果		今回、標準橋梁9橋、小規模橋梁132橋の点検が行われ、次期長寿命化修繕計画に反映することができる。			

8 款 土木費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
2 項 道路橋りょう 費 2 目 道路橋りょう 維持費	社会資本整備 総合交付金事 業（道路その 他修繕）	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		37,900,000円	11,000,000円	26,900,000円	P246
		<p>目的</p> <p>「道路ストック総点検」及び「重要構造物の定期点検」に基づく長寿命化修繕計画により、適切に施設等を管理する。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>施工地区や路線の重要度を考慮し、緊急度を勘案して道路施設（法面）の修繕工事を実施した。</p> <p>&lt;法面修繕&gt;</p> <p>○工事請負費 工事1件（前年度1件） 37,900,000円</p> <p>・真野地区（椿尾1号線）</p>			
		<p>成果</p> <p>社会資本整備総合交付金を活用し長寿命化計画を推進することにより適切な維持管理を図ることができた。</p>			
	(繰明)社会資本整備総合交付金事業（道路その他修繕）	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		59,548,500円	—	—	P248
		<p>目的</p> <p>「道路ストック総点検」及び「重要構造物の定期点検」に基づく長寿命化修繕計画により、適切に施設等を管理する。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>施工地区や路線の重要度を考慮し、緊急度を勘案して道路施設（法面）の修繕工事を実施した。</p> <p>&lt;法面修繕&gt;</p> <p>○工事請負費（工事1件） 49,372,400円</p> <p>・真野地区（椿尾1号線）</p> <p>&lt;道路修繕&gt;</p> <p>○委託料（2件） 10,176,100円</p>			
		<p>成果</p> <p>社会資本整備総合交付金を活用し長寿命化修繕計画を推進することにより適切な維持管理を図ることができた。</p>			

8 款 土木費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
2 項 道路橋りょう 費 2 目 道路橋りょう 維持費	道路メンテナンス事業（橋梁その他修繕）	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		18,508,000円	20,571,100円	△2,063,100円	P248
		<p>目的</p> <p>「道路ストック総点検」及び「重要構造物の定期点検」に基づく長寿命化修繕計画により、適切に施設等を管理する。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>施工地区や路線の重要度を考慮し、緊急度を勘案して道路施設（橋梁）の修繕工事を実施した。</p> <p>&lt;橋梁修繕&gt;</p> <p>○委託料（1件） 308,000円</p> <p>○工事請負費（工事2件） 18,200,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・羽茂地区（関根橋）</li> <li>・相川地区（後尾5号橋）</li> </ul>			
		<p>成果</p> <p>道路局所管補助金を活用し長寿命化修繕計画を推進することにより適切な維持管理を図ることができた。</p>			
	(繰明)道路メンテナンス事業（橋梁その他修繕）	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		139,571,300円	—	—	P248
		<p>目的</p> <p>「道路ストック総点検」及び「重要構造物の定期点検」に基づく長寿命化修繕計画により、適切に施設等を管理する。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>施工地区や路線の重要度を考慮し、緊急度を勘案して道路施設（橋梁）の修繕工事を実施した。</p> <p>&lt;橋梁修繕&gt;</p> <p>○委託料（5件） 20,615,100円</p> <p>○工事請負費（工事4件） 61,051,100円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・羽茂地区（百畑橋）</li> <li>・畑野地区（欠向橋）</li> <li>・相川地区（後尾5号橋）</li> <li>・真野地区（八段橋）</li> </ul> <p>&lt;トンネル修繕&gt;</p> <p>○工事請負費（工事2件） 57,905,100円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小木地区（沢崎トンネル）</li> <li>・小木地区（枕状岩トンネル）</li> </ul>			
		<p>成果</p> <p>道路局所管補助金を活用し長寿命化修繕計画を推進することにより適切な維持管理を図ることができた。</p>			

8 款 土木費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
2 項 道路橋りょう 費 4 目 道路橋りょう 新設改良費	道路橋りょう 改良舗装事業	122,266,434円	134,023,347円	△11,756,913円	P248
		<p>目的</p> <p>市民生活に密着した市道における安全性と利便性の向上を図り、安全・安心な道路づくりを推進する。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>施工地区や路線の重要度を考慮し、緊急度を勘案して道路改良舗装工事と法面対策工事を実施した。</p> <p>&lt;改良舗装路線数：18路線（前年度16路線）&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両津地区（住吉27号線 ほか5路線）</li> <li>・相川地区（達者71号線 ほか1路線）</li> <li>・佐和田地区（二宮幹線2号他 ほか1路線）</li> <li>・金井地区（吉井本郷17号線 ほか1路線）</li> <li>・新穂地区（皆川48号線）</li> <li>・畑野地区（5区小倉12・50号線 ほか1路線）</li> <li>・真野地区（大倉谷90号線）</li> <li>・赤泊地区（徳和2号線 ほか1路線）</li> </ul> <p>○委託料（測量設計8件、用地測量4件） 9,807,504円</p> <p>○工事請負費（8路線、9件） 96,604,900円</p> <p>○公有財産購入費（3路線、10件） 86,907円</p> <p>○県工事負担金（1路線、1件） 4,260,000円</p> <p>○物件補償費（3路線、5件） 6,532,883円</p> <p>○移転補償費（2路線、6件） 4,974,240円</p>			
		<p>成果</p> <p>狭小な道路を改良舗装工事することにより緊急車両が通行できるようになり、円滑な通行と安全を確保した。</p>			

8 款 土木費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)											
2 項 道路橋りょう 費	(繰明)道路橋 りょう改良舗 装事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書								
4 目 道路橋りょう 新設改良費		209,585,814円	—	—	P250								
<p>目的</p> <p>市民生活に密着した市道における安全性と利便性の向上を図り、安全・安心な道路づくりを推進する。</p>													
<p>取組内容・実績</p> <p>施工地区や路線の重要度を考慮し、緊急度を勘案して道路改良舗装工事と法面対策工事を実施した。</p> <p>&lt;改良舗装路線数：24路線&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両津地区（下横山2号線 ほか2路線）</li> <li>・相川地区（大倉1号線 ほか3路線）</li> <li>・佐和田地区（二宮幹線2号他 ほか1路線）</li> <li>・金井地区（金井新保57号線 ほか4路線）</li> <li>・新穂地区（瓜生屋17号線）</li> <li>・畑野地区（峠河内線）</li> <li>・真野地区（四日町40号線 ほか2路線）</li> <li>・小木地区（学校道旭町線 ほか1路線）</li> <li>・羽茂地区（西方中組線 ほか1路線）</li> <li>・赤泊地区（徳和1号線）</li> </ul> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>○委託料（測量設計9件、用地測量2件、物件調査2件）</td> <td style="text-align: right;">27,477,500円</td> </tr> <tr> <td>○工事請負費（10路線、11件）</td> <td style="text-align: right;">165,623,400円</td> </tr> <tr> <td>○公有財産購入費（3路線、8件）</td> <td style="text-align: right;">298,314円</td> </tr> <tr> <td>○補償補填及び賠償金（1路線、1件）</td> <td style="text-align: right;">1,540,000円</td> </tr> </table> <p>&lt;法面対策&gt;</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>○委託料（測量設計3件、用地測量1件）</td> <td style="text-align: right;">12,233,100円</td> </tr> <tr> <td>○工事請負費（1路線、1件）</td> <td style="text-align: right;">2,413,500円</td> </tr> </table>		○委託料（測量設計9件、用地測量2件、物件調査2件）	27,477,500円	○工事請負費（10路線、11件）	165,623,400円	○公有財産購入費（3路線、8件）	298,314円	○補償補填及び賠償金（1路線、1件）	1,540,000円	○委託料（測量設計3件、用地測量1件）	12,233,100円	○工事請負費（1路線、1件）	2,413,500円
○委託料（測量設計9件、用地測量2件、物件調査2件）	27,477,500円												
○工事請負費（10路線、11件）	165,623,400円												
○公有財産購入費（3路線、8件）	298,314円												
○補償補填及び賠償金（1路線、1件）	1,540,000円												
○委託料（測量設計3件、用地測量1件）	12,233,100円												
○工事請負費（1路線、1件）	2,413,500円												
<p>成果</p> <p>狭小な道路を改良舗装工事することにより緊急車両が通行できるようになり、円滑な通行と安全を確保した。</p>													



8 款 土木費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
2 項 道路橋りょう 費 5 目 市道整備費	社会資本整備 総合交付金事 業 (改築系)	48,141,023円	2,522,053円	45,618,970円	P250
		<p>目的                      主要な集落間をつなぐ路線や国県道などの主要幹線と接続する路線及び                      公共施設へのアクセス道について、利便性及び安全性の向上を図り、安全                      ・安心な道路づくりを推進する。</p> <p>取組内容・実績                      施工地区や路線の重要度を考慮し、緊急度を勘案して道路改良舗装工事                      を実施した。                      &lt;路線数：2路線&gt;                      ○工事請負費 (2路線、2件) 44,300,000円                      ・両津地区 (平松2号線)                      ・真野地区 (大小72号線)                      ○公有財産購入費 (1路線、3件) 1,510,095円                      ○補償補填及び賠償金 (1路線、1件) 1,600,101円</p> <p>成果                      道路改良舗装工事を行うことで、線形が良くなり拡幅もされ、利便性と                      安全性が向上することで安全な道路づくりができる。</p>			
	(繰明)社会資 本整備総合交 付金事業 (改 築系)	104,169,600円	—	—	P250
		<p>目的                      主要な集落間をつなぐ路線や国県道などの主要幹線と接続する路線及び                      公共施設へのアクセス道について、利便性及び安全性の向上を図り、安全                      ・安心な道路づくりを推進する。</p> <p>取組内容・実績                      施工地区や路線の重要度を考慮し、緊急度を勘案して道路改良舗装工事                      に係る詳細設計及び工事を実施した。                      &lt;路線数：2路線&gt;                      ○委託料 (測量設計2件) 7,172,700円                      ○工事請負費 (2路線、2件) 96,996,900円                      ・両津地区 (平松2号線)                      ・佐和田地区 (二宮85号線)</p> <p>成果                      道路改良舗装工事を行うことで、線形が良くなり拡幅もされ、利便性と                      安全性が向上することで安全な道路づくりを推進することができた。</p>			

8 款 土木費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
3 項 河川費 1 目 河川総務費	河川改修事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		19,745,667円	8,035,400円	11,710,267円	P252
		<p>目的</p> <p>過去の台風や大雨等に際し幾度となく危機的な状況があり、隣接地や下流の道路に危険を及ぼしてきたため、近隣住民の安全の確保を図る。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>施工地区や河川の重要度を考慮し、緊急度を勘案して河川改修工事、排水路整備工事及び河川浚渫工事を実施した。</p> <p>&lt;河川整備：3河川&gt;</p> <p>○委託料（測量設計調査 2件） 3,027,200円</p> <p>○工事請負費（2河川、2件） 6,700,000円</p> <p>○公有財産購入費（1河川、3件） 98,240円</p> <p>・両津地区（牛ヶ沢川 ほか1件）</p> <p>&lt;排水路整備：1路線&gt;</p> <p>○工事請負費（1路線、1件） 8,924,300円</p> <p>・畑野地区（盗人川）</p> <p>○補償補填及び賠償金（1路線、1件） 379,927円</p> <p>・両津地区（上横山排水路）</p> <p>&lt;河川浚渫：1河川&gt;</p> <p>○委託料（測量設計1件） 616,000円</p> <p>・相川地区（立髪川）</p>			
<p>成果</p> <p>護岸工事及び浚渫工事を行い、線形の改善と流下能力が向上したことで安全の確保できた。</p>					

8 款 土木費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
3 項 河川費 1 目 河川総務費	(繰明)河川改修事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		33,189,300円	—	—	P254
		<p>目的</p> <p>過去の台風や大雨等に際し幾度となく危機的な状況があり、隣接地や下流の道路に危険を及ぼしてきたため、近隣住民の安全の確保を図る。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>施工地区や河川の重要度を考慮し、緊急度を勘案して河川改修工事、排水路整備工事及び河川浚渫工事を実施した。</p> <p>&lt;河川整備：2河川&gt;</p> <p>○委託料（測量設計調査 1件） 2,172,500円</p> <p>○工事請負費（2河川、2件） 21,004,500円</p> <p>・両津地区（願西川 ほか1件）</p> <p>&lt;排水路整備：1路線&gt;</p> <p>○工事請負費（1路線、1件） 7,336,000円</p> <p>・両津地区（下横山排水路）</p> <p>&lt;河川浚渫：3河川&gt;</p> <p>○工事請負費（3河川、3件） 2,676,300円</p> <p>・相川地区（一丁尻川 ほか1件）</p> <p>・赤泊地区（小石川）</p>			
<p>成果</p> <p>護岸工事及び浚渫工事を行い、線形の改善と流下能力が向上したことで安全の確保できた。</p>					

9 款 消防費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)																
1 項 消防費 1 目 常備消防費	救急救命対策 事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書													
		3, 297, 731円	2, 183, 879円	1, 113, 852円	P264													
		<p>目的</p> <p>救命医療の高度化等に対応するため、救急救命士を含む救急隊員の知識、技術を医学的観点から維持・向上させる体制の整備を図るとともに、救急講習を通じて応急手当の普及啓発を行う。</p>																
		<p>取組内容・実績</p> <p>(1) 指導救命士の育成</p> <p>指導的な立場となる救急救命士の育成のため、指導救命士養成研修に救急救命士2名を派遣した。</p> <p>(2) 救急ワークステーション実習の実施</p> <p>隊員の救急技術の維持向上を図るため、年間を通じ佐渡総合病院内の救急ワークステーションで実習を実施した。</p> <p>(3) 症例検証、救急救命士就業前実習</p> <p>救急事案の症例検討会の開催、救急救命士の運用に係る就業前実習を実施した。</p> <p>(4) 救急講習を通じた応急手当の普及啓発</p> <table border="1" data-bbox="539 1137 1380 1335"> <thead> <tr> <th>講習種類</th> <th>講習回数 (前年度)</th> <th>受講者数 (前年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通救命講習Ⅰ</td> <td>9回 (14回)</td> <td>70人 (103人)</td> </tr> <tr> <td>普通救命講習Ⅱ</td> <td>21回 (15回)</td> <td>162人 (140人)</td> </tr> <tr> <td>普通救命講習Ⅲ</td> <td>2回 (4回)</td> <td>12人 (24人)</td> </tr> <tr> <td>救急講習</td> <td>65回 (79回)</td> <td>1, 344人 (1, 179人)</td> </tr> </tbody> </table>				講習種類	講習回数 (前年度)	受講者数 (前年度)	普通救命講習Ⅰ	9回 (14回)	70人 (103人)	普通救命講習Ⅱ	21回 (15回)	162人 (140人)	普通救命講習Ⅲ	2回 (4回)	12人 (24人)	救急講習
講習種類	講習回数 (前年度)	受講者数 (前年度)																
普通救命講習Ⅰ	9回 (14回)	70人 (103人)																
普通救命講習Ⅱ	21回 (15回)	162人 (140人)																
普通救命講習Ⅲ	2回 (4回)	12人 (24人)																
救急講習	65回 (79回)	1, 344人 (1, 179人)																
<p>成果</p> <p>指導救命士養成研修、救急ワークステーション実習、症例検討会等を実施したことにより、救急救命士を含む救急隊員の知識、技術の維持向上を図ることができた。また、救急講習を通じ、市民への応急手当の普及啓発を図った。</p>																		

9 款 消防費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)																												
1 項 消防費 3 目 消防施設費	相川消防署高千出張所建設事業  (継続費)相川消防署高千出張所建設事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書																									
		17,776,000円	(新規)	—	P266																									
		R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書																									
		13,322,200円	(新規)	—	(継続費) P266																									
	<p>目的 地域防災拠点施設の機能維持を図るため、老朽化した相川消防署高千出張所の整備を行い、消防力の充実強化に取り組む。</p>																													
	<p>取組内容・実績</p> <p>(1) 事業期間 令和4年度から令和5年度まで</p> <p>(2) 総事業費 389,411,000円</p> <p>(3) 所在地 佐渡市 高千 地内</p> <p>(4) 施設概要 鉄筋コンクリート造地上2階建 518.67㎡</p> <p>(5) 令和4年度実施概要</p> <table border="1" data-bbox="536 1124 1449 1373"> <thead> <tr> <th>業務名</th> <th>事業費 (円)</th> <th>工期</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地質調査業務委託</td> <td>3,300,000</td> <td>R4.3~R4.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>敷地測量業務委託</td> <td>1,452,000</td> <td>R4.3~R4.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設計業務委託</td> <td>13,024,000</td> <td>R4.2~R4.12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>監理業務委託</td> <td>500,000</td> <td>R4.12~</td> <td>継続費</td> </tr> <tr> <td>浄化槽設置工事</td> <td>12,656,600</td> <td>R4.12~R5.3</td> <td>継続費</td> </tr> </tbody> </table>						業務名	事業費 (円)	工期	備考	地質調査業務委託	3,300,000	R4.3~R4.8		敷地測量業務委託	1,452,000	R4.3~R4.6		設計業務委託	13,024,000	R4.2~R4.12		監理業務委託	500,000	R4.12~	継続費	浄化槽設置工事	12,656,600	R4.12~R5.3	継続費
	業務名	事業費 (円)	工期	備考																										
	地質調査業務委託	3,300,000	R4.3~R4.8																											
	敷地測量業務委託	1,452,000	R4.3~R4.6																											
	設計業務委託	13,024,000	R4.2~R4.12																											
監理業務委託	500,000	R4.12~	継続費																											
浄化槽設置工事	12,656,600	R4.12~R5.3	継続費																											
<p>成果 地質調査、敷地測量及び基本・実施設計等を行い、令和5年度の完成に向け、庁舎建設事業を円滑に進めることができた。</p>																														

10款 教育費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
1項 教育総務費 3目 教育振興費	学校運営推進 事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		19,248,632円	3,094,544円	16,154,088円	P270
		<b>◎統合型校務支援システム導入事業 (新規)</b> 目的 統合型校務支援システムを導入することにより、学校の教職員等の負担軽減や効率化を図り、児童生徒と向き合う時間の確保や教育活動の充実を目指す。			
		取組内容・実績 公募型プロポーザル方式により、システム導入業者を選定。 システム構築・設定整備を実施。(令和4年9月から令和5年3月) ・佐渡市校務支援システム導入業務委託料 15,226,574円 ・既存ネットワーク変更業務委託料 819,500円  成果 統合型校務支援システムを導入したことにより、今後の教職員等の負担軽減や効率化につなげていく。			
	奨学金貸与事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		276,962,000円	268,760,000円	8,202,000円	P274
		目的 奨学金を貸与することにより、教育の機会均等を図り、本市の発展に資する有能な人材を育成するとともに将来にわたる定住を促す。			
		取組内容・実績 令和4年度貸与者：288名(前年度：284名) ・高校 14名(継続：9、新規：5) ・専門、短大、大学 238名(継続：154、新規：84) ・誘致校 36名(継続：26、新規：10)  成果 事業実施により、中学校卒業後の進路の選択肢が増え、有能な人材育成に寄与することができた。			
がんばる若者 支援事業	支援事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		8,785,179円	8,824,210円	△39,031円	P274
		目的 誠実で豊かな人間性に基づいた、社会に貢献する人材、佐渡市勢の発展に寄与する人材育成を図る。			
		取組内容・実績 令和4年度支援生 ・新規支援生： 2名、継続支援生： 6名 支援金の支払い ・入学支援金 282,000円 ・月額支援金 8,060,760円  成果 平成20年度～令和4年度末までに30名を支援し、大学卒業後は、医師、看護師、教師等として各方面で活躍している。			

10款 教育費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)							
1項 教育総務費 3目 教育振興費	心の教育支援 事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書				
		1, 975, 654円	2, 553, 078円	△577, 424円	P274				
		<p>目的</p> <p>不登校傾向を示す児童生徒の早期発見、迅速な対応に努めるとともに、不登校となっている児童生徒に対しては、適応指導教室や不登校児童生徒訪問指導員等により対応し、学校復帰や欠席日数の減少を目指す。</p>							
		<p>取組内容・実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校訪問指導回数：272回（前年度329回） （対象生徒16人）</li> <li>・電話相談件数：年間189回（前年度245回）</li> <li>・適応指導教室通級児童生徒数：児童3人、生徒9人 （前年度：児童3人、生徒9人）</li> </ul>							
<p>成果</p> <p>適応指導教室では、入級後、学校へ復帰した児童生徒が4人、学校と併用していた児童生徒が2人いた。</p> <p>また訪問指導員の訪問指導により学校へ登校できるようになった児童生徒や訪問時に学校へ登校する児童も複数人いた。</p>									
	学校運営協議 会事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書				
		1, 633, 795円	2, 175, 195円	△541, 400円	P274				
		<p>目的</p> <p>保護者や地域の住民が一定の権限と責任を持って学校運営に参画することにより、そのニーズを迅速かつ的確に学校運営に反映させるとともに、学校・家庭・地域社会が一体となってより良い教育の実現に取り組む。</p>							
		<p>取組内容・実績</p> <p>学校運営協議会 平均実施回数 4.2回（前年度3.8回）</p> <p>地域・学校が一体となって行う活動率</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校 17/22 77.3%（前年度17/22、77.3%）</li> <li>・中学校 8/13 61.5%（前年度 9/13、69.2%）</li> </ul> <p>主な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ運動</li> <li>・清掃活動</li> <li>・花植え</li> <li>・協働文化祭</li> <li>・ながら見守り隊 など</li> </ul>							
<p>成果</p> <p>学校運営協議会で話された課題解決に向けた地域学校協働活動を概ね実施できた。</p> <table border="0"> <tr> <td>令和2年度</td> <td>28.5%</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>74.3%</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>71.4%</td> </tr> </table>				令和2年度	28.5%	令和3年度	74.3%	令和4年度	71.4%
令和2年度	28.5%								
令和3年度	74.3%								
令和4年度	71.4%								

10款 教育費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
2項 小学校費 2目 教育振興費	小学校 I T 設備整備費	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		17,848,710円	21,563,685円	△3,714,975円	P278
		<p>目的 I C T機器の導入、活用により、情報化社会に的確に対応できる人材を育成するとともに、すべての児童に分かりやすい授業を提供し、学力向上を目指す。</p>			
		<p>取組内容・実績 小学校の普通教室に大型提示装置（計3台）を配置。配置した大型提示装置及び既存大型提示装置計36台に電子黒板機能を付与。</p>			
<p>成果 大型提示装置が配置されたことにより、デジタル教科書や1人1台端末の活用が促進された。また、電子黒板機能が付与されることにより、より一層効果的な教材提示等が可能となった。</p>					
3項 中学校費 2目 教育振興費	中学校 I T 設備整備費	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		6,277,040円	9,282,240円	△3,005,200円	P282
		<p>目的 I C T機器の導入、活用により、情報化社会に的確に対応できる人材を育成するとともに、すべての生徒に分かりやすい授業を提供し、学力向上を目指す。</p>			
		<p>取組内容・実績 中学校の普通教室に大型提示装置（計1台）を配置。配置した大型提示装置及び既存大型提示装置計7台に電子黒板機能を付与。</p>			
<p>成果 大型提示装置が配置されたことにより、デジタル教科書や1人1台端末の活用が促進された。また、電子黒板機能が付与されることにより、より一層効果的な教材提示等が可能となった。</p>					
部活動支援事業	部活動支援事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		512,728円	249,480円	263,248円	P284
		<p>◎部活動地域移行に向けた取組み（新規） 目的 生徒にとって望ましい部活動の環境の構築を図り、中学校における休日の部活動の地域移行に向けて、懇談会を開催し仕組みづくりや運営方法を検討する。</p>			
		<p>取組内容・実績 佐渡市部活動改革検討懇談会 48,950円 実施回数3回（8月2日、11月17日、3月22日）</p>			
<p>成果 令和5年度から学校部活動の段階的な地域移行に向けて検討を行うことができた。</p>					



10 款 教育費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
5 項 社会教育費 1 目 社会教育総務 費	社会教育事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		5, 758, 293円	1, 652, 667円	4, 105, 626円	P288
		◎市民大学講座・家庭教育学級・青少年キャンプ			
		目的 ○市民大学講座 佐渡の歴史や文化を学ぶ機会の提供 ○家庭教育学級・青少年キャンプ 子どもの生きる力等を育む			
取組内容・実績					
○市民大学講座		230, 000円			
11回開催（講座内容:佐渡の歴史・伝統芸能、ジオパーク、SDGs等）					
受講者数605名（延べ）（前年度7回開催 605名受講）					
○家庭教育学級・青少年キャンプ		480, 493円			
家庭教育66回開催（絵手紙教室、親子工作教室等）					
受講者数782名（延べ）（前年度25回開催 280名受講）					
青少年キャンプ（新規）南教育事務所管内開催					
参加者数 24名					
成果					
○市民大学講座					
学習内容として、佐渡の歴史や文化に関すること、今後の佐渡に関する					
こと等を提供することにより、受講者自身が、改めて佐渡について学ぶ					
ことができた。					
○家庭教育学級・青少年キャンプ					
親子で物づくりを体験したり、異年齢層でキャンプすることで、協力す					
る必要性、相手を思いやる気持ち、生きる力等を育むことができた。					

10款 教育費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
5項 社会教育費 2目 公民館費	公民館活動推進事業	23,184,259円	7,011,021円	16,173,238円	P290
		◎公民館講座			
		目的 趣味や生きがいがいづくりに寄与することにより、心の健康づくりを行う。			
		取組内容・実績 講座開催（講座内容:民謡・版画・太極拳等） 受講者数 2,026名（延べ）（前年度1,993名）			
		成果 市民が集い、新たな学びの習得や交友関係の拡大を図ることができ、心の健康づくりにつなげることができた。			
		◎新潟県美術展覧会・佐渡市美術展覧会・地区文化祭及び芸能祭			
目的 ・新潟県美術展覧会 芸術文化に触れる機会の創出 ・佐渡市美術展覧会・地区文化祭・芸能祭 公民館講座や自分で学んだ成果を発表する場を提供 芸術文化に触れる機会の創出					
取組内容・実績 ・新潟県美術展覧会 入場者数798名（前年度947名） ・佐渡市美術展覧会 出品点数1,047点 入場者数2,834名 （前年度：出品点数1,070点 入場者数3,028名） ・地区文化祭 出品者数 1,711名（延べ）来場者数 3,149名 （前年度：出品者数1,553名 来場者数2,213名） 地区芸能祭 出演者数 810名（延べ） 来場者数 1,649名					
成果 ・新潟県美術展覧会 芸術を身近に触れることにより、芸術への関心が高まった。 ・佐渡市美術展覧会・地区文化祭・芸能祭 芸術や芸能に身近に触れることにより、芸術文化への関心が高まった。 また、発表する場があることにより、作品作りや芸能練習等への意欲が高まった。					

10款 教育費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
5項 社会教育費 3目 図書館費	読書推進事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		14,196,326円	12,097,716円	2,098,610円	P294
		<p>目的</p> <p>図書館利用、読書推進を図るために、親子でふれあい、読書に親しむイベント「絵本フェスタ」を開催する。</p> <p>また、音声図書やその再生機器を配備することで高齢者や障がいのある方等への読書支援を行う。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>①絵本フェスタ 日時：令和4年11月3日（文化の日） 会場：トキのむら元気館 来場者数 87人</p> <p>【親子ワークショップ】 絵本に出てくるぼうしづくり、アニメーション、絵本の中のおやつづくり</p> <p>【読書イベント】 おりがみ、すごろく、よみきかせ</p> <p>【移動図書館車】 来場者数90人 貸出73冊 新規登録者1人 決算額 39,727円</p> <p>②音声図書整備（新規） 音声図書機器（プレクストーク） 2台 マルチメディアデイジー（画像を再生できる録音図書） 20点 音声図書 13タイトル 令和4年度貸出実績 個人34人 団体1 決算額 444,028円</p> <p>③大活字本（新規） 中央図書館 40冊、両津図書館 51冊 合計91冊 決算額 308,990円</p>			
<p>成果</p> <p>「絵本フェスタ」の開催により、親子や普段図書館を利用しない方が、イベントを通じて絵本に親しむことができた。お菓子作りや工作、おりがみ、読み聞かせなど、親子で一緒に取り組むことで家庭でも楽しむことが期待される。移動図書館車のPRにもつながった。</p> <p>また、音声図書を導入し、高齢者や障がいのある方が読書に親しむ環境を整えることができた。さらに、音声図書の貸出だけでなく、ボランティア団体と連携し、市報の音声資料の貸出も可能となった。</p> <p>大活字本は、7月に中央図書館で特設コーナーを設置し、利用推進に繋がった。</p>					

10款 教育費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
5項 社会教育費 3目 図書館費	図書館整備費	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		6,886,000円	627,000円	6,259,000円	P294
		<p>◎さわた図書館整備基本構想</p> <p>目的</p> <p>令和5年度防災拠点庁舎完成に併せて、現在、佐和田行政サービスセンター内にある議場が移転し、移転後のスペース等を子育て世代の親子等が安心して使用できるよう「さわた図書館」として整備のための基本構想を作成する。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>令和4年度に、図書館協議会を全5回、現地視察1回開催し、「さわた図書館整備」に関し、図書館協議会委員のご意見を伺いながらすすめた。</p> <p>また、図書館ボランティア団体との意見交換、市民説明会についても開催し、多くの方のご意見を伺い、さわた図書館基本構想案の作成を行った。</p> <p>5/12 令和4年度 第1回佐渡市図書館協議会                      5/30 図書館協議会委員現地視察・意見交換                      10/ 6 令和4年度 第2回佐渡市図書館協議会                      12/12 令和4年度 第3回佐渡市図書館協議会                      1/18 図書館ボランティア団体意見交換会                      1/31 市民説明会 42人参加                      2/21 令和4年度 第4回佐渡市図書館協議会                      3/30 令和4年度 第5回佐渡市図書館協議会</p>			
<p>成果</p> <p>佐和田行政サービスセンター内の議場移転後の跡地等の整備のため、建物の床の荷重、耐震構造の計算等を実施し、さわた図書館整備基本構想案を作成することができた。</p>					

10款 教育費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
5項 社会教育費 4目 博物館費	博物館・資料館運営費	47,134,880円	50,665,272円	△3,530,392円	P294
		<p>◎ジュニア学芸員養成講座ほか</p> <p>目的 佐渡の未来を担う人材を育成するため、佐渡の歴史、文化、自然等の佐渡の魅力を知り、知的好奇心を高めるワークショップ等の体験事業や小中学校での出前授業を実施する。 ジュニア学芸員養成講座は、創造性や発想力、コミュニケーション力のほか考える力を育み、歴史・文化・風土を学ぶ連続講座として実施。佐渡の文化を後世に語り継ぐ人材を育成することを目的とする。</p> <p>取組内容・実績 ( )内数は前年度実績 佐渡の自然や伝統芸能、風習など様々な題材をもとに子どもたちの知的好奇心、郷土の文化に対する興味関心を高める事業を行った。 (1) ワークショップ (体験事業) ○さどはくまつり「あつまれ!さどはく」 博物館展示資料に関するクイズや、ミニ門松や縄ないリースづくりなどの体験教室を提供した。 佐渡博物館 来館者：119名(254名) ○ナイトミュージアム：佐渡国小木民俗博物館 参加者：24名(25名) 小木博物館内を自分で作った提灯を手に探検したり民話を聴くなど、電気が無かったころの時代の体験してもらった。 ・天文教室：両津運動広場 参加者：38名(34名) (2) 出前授業 市内小・中学校、高校 計20件 児童・生徒数465名 (11件 229名) 実施例：「鬼太鼓について」「昔の暮らし」 (3) ジュニア学芸員養成講座 実施回ごとにテーマを変え6回×2期実施 実施例：金山やトキとの共生を育む農法 佐渡の歴史文化の根幹となるテーマの学び その他体験学習 (野山での生物調査、おこし型作り等) ・前期 (5～10月、計6回)：19名 (小2～3年生) ・後期 (7～12月)：13名 (小1～2年生) 合計32名 (26名)</p> <p>成果 博物館ならではの様々な体験型ワークショップ等を通じて、楽しんでもらいながら佐渡の文化を学び、知る機会を提供できた。 出前授業は、令和3年度に比較し約2倍の依頼があった。学校現場において博物館出前授業が定着し、学校との連携につながっている。 ジュニア学芸員養成講座では、積極的に質問したり、講座を通じて仲間と協力しながら生き生きと取り組む子供たちの姿が見られた</p>			

10款 教育費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)
5項 社会教育費 4目 博物館費	博物館・資料 館運営費	<p>◎企画展</p> <p>目的            佐渡の歴史、芸術、自然等に関する資料の収集、保管、調査研究、展示を行い、市民が郷土への愛着を育む取り組みを進める。</p> <hr/> <p>取組内容・実績</p> <p>(1) 企画展「クジラから見る佐渡人と海の文化」            期間：7月23日～10月2日、来館者数：2,071名            展示解説会：8月20日、9月17日、10月1日 55名参加            ワークショップ「骨を発掘しよう!」：9月11日 39名参加            ワークショップ「漂着物アートをつくろう!」：8月17日 13名参加</p> <p>(2) 企画展「佐渡の人形芝居たち」            期間：7月31日～9月11日、来館者数：1,341名            人形芝居上演：全5日にわたり、島内の人形芝居団体10団体上演</p> <p>(3) 企画展「佐渡市所蔵刀剣展」            期間：10月1日～11月30日、来館者数：1,620名            展示解説会：10月10日、11月6日 70名参加            特別講座：6月11日、7月9日、9月10日、10月15日 全4回 92名参加</p> <p>(4) 企画展「佐渡に人が住みはじめたころ～縄文の大集落と米づくりの里～」            期間：12月17日～3月21日、来館者数：780名            展示解説会：12月17日、1月21日 31名参加            ワークショップ「土器の文様をうつしてみよう」 5名参加</p> <hr/> <p>成果</p> <p>企画展「クジラから見る佐渡人と海の文化」では、新種ツチクジラの化石展示や新潟市水族館マリニピア日本海から借用したイルカの骨格標本など、普段目にするできない資料の展示を行ったほか、クジラと佐渡の人々の生活の関わりなど身近なテーマも扱い、老若男女問わず展示に興味を持ってもらい、足を運んでもらうことができた。</p> <p>展示だけでなく、学芸員による解説会や人形芝居上演会、ワークショップなどの関連事業を実施することにより、展示への理解を深めるとともに、佐渡の歴史文化に対する魅力を味わってもらい、来館者の満足度を高めることができた。</p>

10款 教育費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
5項 社会教育費 4目 博物館費	佐渡学推進事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		16,666,759円	12,730,390円	3,936,369円	P296
		<p>目的</p> <p>市民が郷土に誇りと愛着をもつことができるよう「佐渡の伝統文化」の価値を県内外に周知・発信するとともに、未来に伝えていくため文化活動の活性化・担い手育成につながる事業を実施する。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>1 佐渡文化財団運営費補助金 一般財団法人佐渡文化財団に対し、伝統芸能等の無形文化の保存と伝承に必要な事業実施のために補助金を交付した。 補助額 12,303,000円 (前年度 11,533,000円) 令和4年度の主な実施事業 佐渡人形芝居親子教室【文化庁「伝統文化親子教室事業」】 芸能イベントの受託、芸能の派遣等 (県外3件、TV番組制作協力他) 各種ワークショップ実施 集落内の芸能現状実態把握調査 佐渡民謡の祝祭 (共催事業) 人形芝居上演会 (共催事業)</p> <p>2 佐渡の文化発信事業負担金 佐渡おけさをはじめとする佐渡民謡を保存・継承するため、市内の団体の発表の場として、3年ぶりに佐渡民謡の祝祭を開催した。 (1) 佐渡民謡活性化実行委員会負担金 (前年度：中止) ・負担金支出額 779,000円 ・第5回 佐渡民謡の祝祭2022 実施日 令和4年7月3日 (日) 場 所 アミューズメント佐渡 来場者数 約800人 出 演 市内民謡団体19団体 ゲスト 小林よしえ ほか (2) 益田孝翁顕彰事業実行委員会負担金 (前年度：中止) 佐渡出身で近代日本を支えた偉人「益田孝」を顕彰し、広く市民に伝えるため3年ぶりに佐渡鈍翁茶会を開催した。 ・負担金支出額 1,179,000円 ・佐渡鈍翁茶会2022 実施日 令和4年10月9日 (日) 場 所 史跡・佐渡奉行所 総合監修 一社) 茶道文化振興会・理事長 裏千家教授 北見宗幸 来場者数 132人 (薄茶席) 20組57人 (新規 親子・体験茶会)</p> <p>3 文化大会等出場者激励金 (1) 対象者 文化分野における全国大会等 に出場する個人又は団体 (2) 補助限度額 (高校生以下) 県外 50万円、県内 30万円 (上記以上) 10万円 (3) 補助実績 4団体 1,190,000円 (前年度2団体 600,000円)</p>			
<p>成果</p> <p>事業実施を通して佐渡の文化を県内外に周知・発信し、その価値を伝えるとともに、伝統芸能等の保存・後継者育成を行った。</p>					

10 款 教育費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
5 項 社会教育費 4 目 博物館費	ジオパーク推 進事業	11,658,312円	16,381,786円	△4,723,474円	P296
		<p>目的</p> <p>日本ジオパークの再認定の際に与えられた指摘項目について、再認定審査（令和5年度）までに改善を図り、市民の郷土愛の醸成のための幅広い教育活動と市民が主体となった持続的な地域経済社会の発展を目指し、ジオパーク事業を推進する。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出前講座の実施 参加者延べ954人（前年度 350人） 市内の各団体からの要望に基づき、佐渡島の成り立ちや地域の魅力を紹介する出前講座を行った。</li> <li>・ 出前授業の実施 参加者延べ 1,877人（前年度 1,977人） 小学校、中学校等の教育機関からの要望に基づき、佐渡島の成り立ちやジオパークの魅力を紹介する出前講座を行った。 (参加者内訳) 小学校 1,411人 中学校 362人 高等学校 57人 その他 47人</li> </ul> <p>佐渡ジオパークを推進する母体組織である佐渡ジオパーク推進協議会に対し、運営に係る費用や解説看板の製作経費等の一部を負担した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 佐渡ジオパーク推進協議会負担金11,115,000円（前年度 14,410,000円）</li> </ul>			
		<p>成果</p> <p>各種団体及び学校への出前講座を通じて、生涯にわたって学べる学習機会を提供し、佐渡島に愛着と誇りをもつ人づくりを行うことができた。</p>			



10款 教育費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
5項 社会教育費 4目 博物館費	佐渡ジオパーク10周年記念事業	R4決算額	R3決算額	増減	決算書
		2,853,675円	(新規)	-	P298
		<p>目的</p> <p>2023(令和5)年に佐渡ジオパークが日本認定10周年を迎えるにあたり、市民だけでなく、島外の方々も参加し、佐渡島の魅力を体感できるイベントを開催し、佐渡ジオパークのこれまでの10年を振り返り、これから目指す方向性を共有する。</p> <p>(令和4年度は10周年記念事業の準備)</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>佐渡ジオパーク10周年記念事業実行委員会の立ち上げ 10周年記念事業を実施するための実行委員会を組織し、事業内容を計画した。(実行委員会を3回開催)</li> </ul> <p>拠点施設の展示替え</p> <p>(1) 佐渡博物館 2階展示「佐渡の地質」の展示替えを行った。 展示替え内容： 展示パネルの取替、照明の変更(LED化)、展示台の製作・設置、解説パンフレットの作製 実績額(委託料)：1,543,300円</p> <p>(2) 佐渡ジオパークセンター 2階の展示替えを行った。 展示替え内容： ロールスクリーンの製作・設置 展示台の製作・設置 実績額(委託料)：462,000円</p> <p>市民講座の実施 参加者延べ347人(前年度 241人) ジオパークの見どころを知り、佐渡島の魅力を再発見する講座を行った。 エンジョイ!ジオパーク♪コース 82人(5回) チャレンジコース 35人(3回) わくわくコース 190人(8回) 親子で遊ぼう 40人(3回)</p> <p>ガイド養成講座の実施 参加者延べ124人(前年度 18人) 佐渡島の魅力を島内外に紹介するガイドを養成するため、ガイド養成講座を行った。</p> <p>佐渡ジオパークフォーラムの開催 参加者延べ132人 佐渡島の自然について、魅力を深堀し、市民に周知するため、佐渡ジオパークフォーラムを開催し、複数の研究者が研究成果を発表した。</p>			
		<p>成果</p> <p>佐渡ジオパーク日本認定10周年イベントを実施するための実行委員会を組織し、実施する内容を決定した。</p> <p>また、佐渡ジオパークの魅力をより知ってもらえるよう拠点施設の展示替えや、佐渡ジオパークの魅力を伝えるガイドを9名養成することができた。</p>			

10 款 教育費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)															
5 項 社会教育費 4 目 博物館費	(継続費)相川郷土博物館耐震改修費	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書												
		96,435,619円	23,170,530円	73,265,089円	P298												
		<p>目的</p> <p>相川郷土博物館は、国指定史跡「佐渡金銀山遺跡」を構成する明治時代創建の建造物を活用し運営しているが、耐震補強が必要とされている。歴史的な建造物の保存のため、また金銀山サテライトガイド施設としての活用のため、耐震補強工事及び近代の佐渡鉱山を紹介するための展示更新を行う。</p>															
		<p>取組内容・実績</p> <p>(1) 事業期間 令和2年度から令和5年度まで</p> <p>(2) 総事業費 398,325,530 円</p> <p>(3) 施設概要 木造2階建て、延床面積508.89㎡ (改修後) 御料局佐渡支庁跡、旧鉱山本部事務所東棟・西棟、渡り廊下</p> <p>(4) 令和4年度実施概要</p> <table border="1" data-bbox="536 1144 1235 1458"> <thead> <tr> <th>業務名</th> <th>事業費 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>耐震改修 (建築) 工事</td> <td>59,180,000</td> </tr> <tr> <td>耐震改修 (電気設備) 工事</td> <td>13,720,000</td> </tr> <tr> <td>耐震改修 (機械設備) 工事</td> <td>11,590,000</td> </tr> <tr> <td>耐震改修工事監理業務委託</td> <td>7,390,000</td> </tr> <tr> <td>御料局石垣測量業務委託</td> <td>561,000</td> </tr> <tr> <td>警備保障設備撤去復旧業務委託</td> <td>1,024,650</td> </tr> </tbody> </table>				業務名	事業費 (円)	耐震改修 (建築) 工事	59,180,000	耐震改修 (電気設備) 工事	13,720,000	耐震改修 (機械設備) 工事	11,590,000	耐震改修工事監理業務委託	7,390,000	御料局石垣測量業務委託	561,000
業務名	事業費 (円)																
耐震改修 (建築) 工事	59,180,000																
耐震改修 (電気設備) 工事	13,720,000																
耐震改修 (機械設備) 工事	11,590,000																
耐震改修工事監理業務委託	7,390,000																
御料局石垣測量業務委託	561,000																
警備保障設備撤去復旧業務委託	1,024,650																
<p>成果</p> <p>計画どおりに工事を実施し、令和5年度の完成に向け遅延なく整備を進められた。</p>																	

10款 教育費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)																		
5項 社会教育費 5目 社会教育施設 管理費	文化会館運営 費	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書															
		58,910,624円	36,378,995円	22,531,629円	P300															
		<p>目的 市民にレベルの高い文化・芸術を提供する。 発表の場として市民が集い利用しやすい会館を目指す。</p>																		
		<p>取組内容・実績 自主公演の実施</p> <table border="1" data-bbox="536 622 1270 824"> <thead> <tr> <th>主演者</th> <th>開催日</th> <th>入場者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>森山 直太郎</td> <td>7月23日</td> <td>772人</td> </tr> <tr> <td>稲川 淳二</td> <td>9月17日</td> <td>136人</td> </tr> <tr> <td>トキ弦楽四重奏団</td> <td>8月3日</td> <td>226人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>1,134人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(令和元年度3回開催 入場者数計1,200人)</p>				主演者	開催日	入場者数	森山 直太郎	7月23日	772人	稲川 淳二	9月17日	136人	トキ弦楽四重奏団	8月3日	226人	合計		1,134人
		主演者	開催日	入場者数																
森山 直太郎	7月23日	772人																		
稲川 淳二	9月17日	136人																		
トキ弦楽四重奏団	8月3日	226人																		
合計		1,134人																		
<p>成果 市民が多様な芸術文化に触れる機会を提供することができた。</p>																				
6項 保健体育費 1目 保健体育総務 費	スポーツ推進 事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書															
		60,984,248円	55,011,587円	5,972,661円	P302															
		<p>目的 市民の要望が多いウォーキングのほか、ヨガ、ストレッチなどの軽運動の教室・講座を開催し、運動習慣の定着による健康寿命日本一の実現を目指す。 また、ボッチャなどのニュースポーツを取り入れ、親子で触れ合う機会を創出するとともに、大会を開催し仲間づくりに寄与する。</p>																		
		<p>取組内容・実績 気軽に参加できるように、今まで一部の地区でしか実施していなかった教室を全地区で計画した。 ○開催実績 ・ウォーキング教室 9地区19回203名 ・エクササイズ教室 8地区48回541名 ・親子スポーツ教室 10地区74回983名</p>																		
		<p>成果 コロナ禍の影響により一部で参加者が集まらない教室もあったが、多くの方から参加いただいて体を動かす楽しさや運動知識について伝えることが出来た。</p>																		

1 1 款 災害復旧費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
1 項 農林水産施設 災害復旧費 1 目 農地農業用施設 災害復旧費	農地単独災害 復旧事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		16,724,700円	5,779,160円	10,945,540円	P310
		目的 令和4年度中に雪害により被災した農地・農業用施設の復旧事業を実施した。			
		取組内容・実績 ○災害応急復旧作業委託料(9件) 6,651,700円 ○農地農業用施設災害復旧事業補助金(61件) 10,073,000円			
	成果 被災した農地農業用施設を早急に原型復旧することにより農業生産を維持し、農業経営の安定化の確保ができた。				
	(繰明)農地単 独災害復旧事 業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		1,397,000円	—	—	P310
		目的 令和3年度中に豪雨により被災した農地・農業用施設の復旧事業を実施した。			
		取組内容・実績 ○小規模災害復旧事業補助金(7件) 1,397,000円			
	成果 被災した農地農業用施設を早急に原型復旧することにより農業生産を維持し、農業経営の安定化の確保ができた。				
	(繰明)令和3 年災農地・農 業用施設災害 復旧事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		42,544,200円	—	—	P310
目的 令和3年に豪雨により被災した農地・農業用施設の復旧を補助事業を活用し実施した。					
取組内容・実績 ○農地農業用施設災害復旧工事(7件) 42,544,200円					
成果 被災した農地農業用施設を早急に原型復旧することにより農業生産を維持し、農業経営の安定化の確保ができた。					

1 1 款 災害復旧費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
1 項 農林水産施設 災害復旧費 2 目 林業施設災害 復旧費	林業施設単独 災害復旧事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		11,561,825円	19,744,700円	△8,182,875円	P310
		目的 令和4年度中に雪害により被災した林業施設の復旧事業を実施した。			
		取組内容・実績 ○災害応急復旧作業委託(27件) 11,561,825円			
	成果 被災した林業施設を早急に原型復旧することにより林業生産を維持し、 林業経営の安定化の確保ができた。				
	(繰明)林業施設 単独災害復 旧事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		12,559,000円	—	—	P312
		目的 令和3年度中に豪雨により被災した林業施設の復旧事業を実施した。			
		取組内容・実績 ○林業施設災害復旧工事(6件) 12,559,000円			
	成果 被災した林業施設を早急に原型復旧し、林業生産の維持と林業経営の安 定化の確保をするため、事前準備を進め融雪後早期に工事着手できた。				
	(繰明)令和3 年災林業施設 災害復旧事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		18,450,300円	—	—	P312
目的 令和3年に豪雨により被災した林業施設の復旧を補助事業を活用し実施し た。					
取組内容・実績 ○林業施設災害復旧工事(2件) 18,450,300円					
成果 被災した林業施設を早急に原型復旧し、林業生産の維持と林業経営の安 定化の確保をするため、事前準備を進め融雪後早期に工事着手できた。					

1 1 款 災害復旧費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
1 項 農林水産施設 災害復旧費 3 目 漁港施設災害 復旧費	漁港施設単独 災害復旧事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		1, 352, 780円	2, 937, 000円	△1, 584, 220円	P312
		目的 令和4年度中に冬季風浪等により被災した漁港施設の復旧事業を実施した。			
		取組内容・実績 ○災害応急復旧作業委託(1件) 649, 000円 ○漁港施設災害復旧工事(2件) 703, 780円			
		成果 被災した漁港施設を早急に原型復旧することにより漁業生産を維持し、漁業経営の安定化の確保ができた。			
2 項 公共土木施設 災害復旧費 1 目 土木施設災害 復旧費	土木施設単独 災害復旧事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		95, 072, 197円	2, 751, 600円	92, 320, 597円	P312
		目的 大雨や大雪等により被災した道路・河川等の施設を復旧することにより、安全・安心なまちづくりを推進する。			
		取組内容・実績 被災規模や緊急度を勘案して復旧工事を実施した。 ○委託料(応急復旧作業委託 77件) 94, 632, 197円 ○工事請負費(道路災 1件) 440, 000円 ・両津地区(馬首1号線)			
		成果 復旧工事等を行い円滑な交通と洪水に強い治水対策施設ができたことにより市民への安全を確保した。			
	(繰明)土木施 設単独災害復 旧事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		2, 685, 700円	—	—	P312
		目的 大雨や大雪等により被災した道路・河川等の施設を復旧することにより、安心・安全なまちづくりを推進する。			
		取組内容・実績 被災規模や緊急度を勘案して復旧工事を実施した。 ○工事請負費(道路災 1件) 2, 685, 700円 ・両津地区(浦川11号線)			
		成果 復旧工事等を行い円滑な交通と洪水に強い治水対策施設ができたことにより市民への安全を確保した。			

1 2 款 公債費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)					
1 項 公債費	○目的別地方債現在高及び元利償還状況						
	(単位：千円)						
1 目 元金	区分	令和3年度末 現在高	令和4年度 発行額	令和4年度元利償還額			令和4年度末 現在高
2 目 利子				元金	利子	計	
	総務債	273,160	0	34,526	82	34,608	238,634
	民生債	267,073	273,700	8,474	1,861	10,335	532,299
	衛生債	677,559	100,800	76,924	5,165	82,089	701,435
	農林水産業債	820,674	139,300	136,667	9,834	146,501	823,307
	商工債	4,014	0	788	34	822	3,226
	土木債	1,387,267	374,900	153,972	11,579	165,551	1,608,195
	消防債	174,483	24,100	18,549	13	18,562	180,034
	教育債	2,470,571	116,600	246,531	14,139	260,670	2,340,640
	辺地対策債	6,443,925	664,800	1,011,992	1,128	1,013,120	6,096,733
	過疎対策債	4,723,948	613,800	637,906	5,946	643,852	4,699,842
	合併特例債	18,263,349	1,359,500	2,160,394	60,550	2,220,944	17,462,455
	災害復旧債	422,015	7,800	56,273	62	56,335	373,542
	減税補てん債	51,706	0	21,058	115	21,173	30,648
	臨時財政 対策債	14,217,461	231,642	1,525,590	19,319	1,544,909	12,923,513
	減収補てん債	65,948	0	0	40	40	65,948
	小計	50,263,153	3,906,942	6,089,644	129,867	6,219,511	48,080,451
	一時借入金	0	0	0	0	0	0
	合計	50,263,153	3,906,942	6,089,644	129,867	6,219,511	48,080,451
	○地方債資金引受先別現在高						
	(単位：千円)						
	借入先	令和3年度末 現在高	令和4年度 発行額	令和4年度 償還額	令和4年度末 現在高		
	財政融資資金	25,878,458	1,634,242	3,225,207	24,287,493		
	旧郵政公社資金	130,564	0	41,896	88,668		
	金融機構資金	6,105,643	1,913,100	491,652	7,527,091		
	銀行等引受資金	17,567,118	169,600	2,249,668	15,487,050		
	共済等引受資金	528,970	190,000	48,846	670,124		
	新潟県	52,400	0	32,375	20,025		
	計	50,263,153	3,906,942	6,089,644	48,080,451		

( 6 ) 新型コロナ対策等に関する成果 (令和4年度分)

項目	事業名	実績内容			
2 款 総務費 1 項 総務管理費 1 目 一般管理費	総務一般経費	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		17,744,430円	(新規)	—	P74
	取組内容・実績 ○オンライン会議の整備： 金額13,179,430円 ・タブレット端末、カバー等周辺機器の購入：38台分 金額：6,997,430円 ・タブレット端末の初期設定： 金額283,800円 ・ペーパーレス会議システムの導入費用・利用料： 金額5,898,200円 ○システム改修・導入事業： 金額4,565,000円 ・時間外勤務管理システムの電子化： 金額1,925,000円 ・休暇休業申請の電子化： 金額2,640,000円				
外部人材活用 事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書	
		43,170,000円	4,180,000円	38,990,000円	P76
	取組内容・実績 ( ) 内数は前年度実績 ・おもてなし向上事業委託料 (日本航空) 4,950,000円 (4,180,000円 ) ・デジタル人材派遣負担金 (富士通1人、富士通Japan1人) 19,800,000円 ( — ) ・観光人材派遣負担金 ( J T B 1人) 8,500,000円 ( — ) ・企業支援人材派遣負担金 (第四北越銀行1人) 4,950,000円 ( — ) ・プロモーション人材派遣負担金 (サントリー1人) 4,970,000円 ( — )				
2 款 総務費 1 項 総務管理費 9 目 情報化推進費	デジタル化推 進事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		4,133,825円	(新規)	—	P92
	取組内容・実績 ・佐渡市デジタル活用ビジョン作成支業務委託一式 ・DXデザインワークショップ開催 (5回、70名参加) ・DXビジュアライゼーション (ビジョンマップの作成) (打合せ回数6回) ・成果物=課題体系図、ジャーニーマップ、ビジョンマップ				
2 款 総務費 1 項 総務管理費 1 5 目 防災対策費	新型コロナウ イルス感染者 生活支援事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		29,625,640円	391,043円	—	P102
	取組内容・実績 ・支援物資 3,822セット (前年度44セット)				



項目	事業名	実績内容			
3 款 民生費 1 項 社会福祉費 1 目 社会福祉総務費	子育て・暮らし応援事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		37,464,400円	(新規)	—	P130
		取組内容・実績 ・配布世帯数 計画：7,200セット 実績：6,864セット ・登録店舗数 364店舗 ・利用実績店舗数 243店舗			
	子育て世帯等臨時特別支援事業（電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金）	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		370,359,147円	(新規)	—	P130
		取組内容・実績 ・住民税非課税世帯支給世帯数 7,288世帯 ・助成金額 364,400,000円			
	物価高騰等に対応する緊急生活支援事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		36,752,387円	(新規)	—	P130
		取組内容・実績 ・緊急生活支援金支給世帯数 7,338世帯			
	灯油購入費助成事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		36,690,000円	(新規)	—	P132
		取組内容・実績 ・灯油購入費助成金支給世帯数 7,338世帯			
物価高騰等に対応する暮らし応援事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書	
	163,695,282円	(新規)	—	P132	
	取組内容・実績 ・配布世帯数 計画：14,177セット 実績：15,511セット ・登録店舗数 425店舗 ・利用実績店舗数 320店舗				
3 款 民生費 2 項 児童福祉費 3 目 保育所費	公立保育所運営費	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		13,676,005円	5,538,861円	8,137,144円	P154
		取組内容・実績 ・保育 I C T システム導入 4園（両津東・梅津・河原田・金井保育園）			

項目	事業名	実績内容			
3 款 民生費 2 項 児童福祉費 6 目 子育て支援費	子育て・暮らし応援事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		33,874,613円	(新規)	—	P166
		取組内容・実績 ・対象の子ども1人あたり5,000円分の応援券を発行した。 対象人数(前年度) 6,221人(—)			
3 款 民生費 2 項 児童福祉費 7 目 低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金給付事業	低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金給付事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		64,022,832円	61,113,107円	2,909,725円	P168
		取組内容・実績 ・対象の子ども1人あたり5万円を給付した。 対象人数(前年度) 1,069人(1,129人)			
4 款 衛生費 1 項 保健衛生費 2 目 予防費	ワクチン接種体制確保事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		189,381,847円	252,462,753円	△63,080,906円	P174
		取組内容・実績 ・新型コロナワクチン接種人数 1回目から5回目 延べ47,776人 (前年度 延べ115,436人) ・集団接種の実施 8会場146回 (前年度 11会場276回)			
4 款 衛生費 1 項 保健衛生費 5 目 健康保養センター費	温泉運営費	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		11,743,200円	(新規)	—	P178
		取組内容・実績 ○温泉等入浴施設燃料費高騰対策事業補助金 実績補助件数 日帰り入浴施設7施設 実績補助金額 11,743,200円			
7 款 商工費 1 項 商工費 2 目 商工振興費	快適な生活応援事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		29,321,329円	29,256,000円	65,329円	P226
		取組内容・実績 ○交付件数 計画：600件 実績：651件(前年度518件) ①空気清浄機60件、②浄水器22件、③軟水器7件、④エアコン549件、 ⑤換気扇13件			

項目	事業名	実績内容			
7 款 商工費 1 項 商工費 2 目 商工振興費	プレミアムどこ でも商品券発 行事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		223,762,035円	279,612,971円	△55,850,936円	P228
		取組内容・実績 ・販売セット数 計画：35,000セット 実績：31,199セット (前年度 計画：40,000セット 実績：39,563セット) ・登録店舗数 479店舗 (うち、全店・地域限定券 427店舗、 全店のみ券 52店舗) ・利用実績店舗数 356店舗 (うち、全店・地域限定券 311店舗、 全店のみ券 45店舗)			
	佐渡版事業 復活支援金	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		54,554,107円	(新規)	—	P228
		取組内容・実績 ○支給件数 計画1,450件 実績825件 ・個人事業者 530件 ・中小法人 295件			
	プレミアムどこ でも商品券 (第2弾) 発 行事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		257,746,029円	(新規)	—	P228
		取組内容・実績 ・販売セット数 計画：38,000セット 実績：36,221セット (前年度 計画：40,000セット 実績：39563セット) ・登録店舗数 549店舗 (うち、全店・地域限定券 493店舗、 全店のみ券 56店舗) ・利用実績店舗数 390店舗 (うち、全店・地域限定利用券 341店舗、 全店のみ券 49店舗)			
	忘・新年会応 援券発行事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		104,976,174円	(新規)	—	P230
		取組内容・実績 ・販売セット数 計画：9,000セット 実績：7,118セット ・登録店舗数 198店舗 ・利用実績店舗数 179店舗			
高圧電力利用 事業者電気料 金支援事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書	
	18,082,357円	(新規)	—	P230	
	取組内容・実績 ・交付件数 計画：367件 実績：264件				

項目	事業名	実績内容			
7 款 商工費 1 項 商工費 3 目 企業誘致推進 費	インキュベ ーションセン ター整備事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		28,121,702円	48,450,900円	△20,329,198円	P232
		取組内容・実績 真野新町にベンチャー企業のスタートアップ拠点となるサテライトオ フィスを4社分整備した。  吾潟地区で民間事業者が行ったインキュベーションセンターの整備に対 して支援した。			
	お試しオフィ ス拠点整備事 業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		8,770,403円	17,016,100円	△8,245,697円	P232
		取組内容・実績 両津港佐渡汽船ターミナル3階に整備したSADO PORT LOUNGEの施設を運 営し、シェアオフィスには2社が入居した。 ・建物賃借料  羽茂大橋の古民家を活用した企業や起業家向けの滞在型研修およびワー ケーション施設の設計を実施した。			
7 款 商工費 1 項 商工費 4 目 観光費	宿泊者特典ク ーポン発行事 業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		20,445,500円	(新規)	—	P240
		取組内容・実績 ○島内宿泊施設利用者に対して、宿泊施設内で利用できるクーポン券 (2,000円/人)を配布し、消費拡大を図った。 ・実施期間 令和4年10月20日～令和4年11月5日 ・参画施設 53件 ・利用枚数 9,825枚 ・クーポン券利用実績額 19,650,000円			

項目	事業名	実績内容			
7 款 商工費 1 項 商工費 4 目 観光費	世界遺産登録 に向けた観光 誘致事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		10,861,192円	(新規)	—	P238
		取組内容・実績 ○佐渡島プロモーション発信業務委託料 8,382,000円 ・世界文化遺産登録を見据え、佐渡市にゆかりのある著名人の発信力を活用し、佐渡の魅力を発信した、 ○関西圏イベント業務委託料 1,214,192円 ・関西圏においての認知度を高めるため、大阪国際（伊丹）空港でのイベントを開催した。 ○カーフェリー船内イベント業務委託料 429,000円 ・世界遺産登録応援の機運醸成と誘客を図るため、佐渡汽船カーフェリー船内でステージイベントを開催した。 ○観光バス航送支援業務委託料 836,000円 ・新型コロナウイルス感染症や燃料高騰化等の影響によるバス旅行商品造成の減少防止及び誘客促進を図るため、市外からの持ち込みバスの航送料を支援した。 バス航送台数 42台、受入人数 883人			
冬季宿泊者特 典クーポン発 行事業	冬季宿泊者特 典クーポン発 行事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		17,136,400円	(新規)	—	P240
		取組内容・実績 ○島内宿泊施設利用者に対して、宿泊施設内及び立ち寄り観光施設で利用できるクーポン券（2,000円/人（500円×4枚））を配布し、島内観光関連施設での消費拡大を図った。 ・利用期間 令和4年12月1日～令和5年2月18日 ・参画施設 59件（宿泊施設 50件、立ち寄り観光施設 9件） ・利用枚数 31,733枚 ・クーポン券利用実績額 15,866,500円			
10 款 教育費 2 項 小学校費 2 目 教育振興費	学校教育活動 継続支援事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		20,200,840円	(新規)	—	P278
		取組内容・実績 ・消耗品：消毒液、ペーパータオル、手袋など 11,849,816円 ・備品：サーマルカメラ、パーティション、空気清浄機など 8,034,664円			
10 款 教育費 3 項 中学校費 2 目 教育振興費	学校教育活動 継続支援事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		11,694,801円	(新規)	—	P284
		取組内容・実績 ・消耗品：消毒液、ペーパータオル、手袋など 4,779,528円 ・備品：サーマルカメラ、パーティション、空気清浄機など 6,136,473円			

( 7 ) 新型コロナ対策等に関する成果 (令和3年度からの繰越分)

項目	事業名	実績内容			
4款 衛生費 1項 保健衛生費 2目 予防費	(繰明)ワクチン接種体制確保事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		39,358,000円	-	-	P176
		取組内容・実績 ・新型コロナワクチン接種人数 1回目から5回目 15,660人			
7款 商工費 1項 商工費 2目 商工振興費	(繰明)感染症拡大防止協力金給付事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		208,492,356円	-	-	P230
		取組内容・実績 ○対象期間：1月21日～2月13日までの24日間 ・対象店舗数 605店舗 ・交付店舗数 30件 (前年度262件) ・交付金額 29,206,000円 (前年度198,217,000円) ○対象期間：2月14日～3月6日までの21日間 ・対象店舗数 605店舗 ・交付店舗数 252件 (前年度40件) ・交付金額 173,000,000円 (前年度24,570,000円)			
7款 商工費 1項 商工費 3目 企業誘致推進費	(繰明)お試しオフィス拠点整備事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		9,153,560円	-	-	P232
		取組内容・実績 両津港佐渡汽船ターミナル3階の空きスペースを活用し、誘致企業用のシェアオフィスおよび多様な主体が利用できるコワーキングスペースを整備した。 ・インターネット開設費 441,760円 ・施設改修工事 (繰越し分) 8,711,800円			
8款 土木費 1項 土木管理費 2目 安全・安心まちづくり費	(繰明)安全・安心まちづくり事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		79,934,360円	-	-	P244
		取組内容・実績 ・取組件数 計画：147件 実績：135件 ・取組金額 計画：80,000,000円 実績：79,934,360円			
8款 土木費 7項 住宅費 1目 住宅管理費	(繰明)住宅リフォーム支援事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		65,924,000円	-	-	P258
		取組内容・実績 住宅の質の向上及び地域経済の活性化を図ることを目的として、住宅リフォーム工事費の一部を補助した。 ・総工事費：627,440千円 ・実績件数：416件 ・補助金交付額：65,796千円			

## 4 国民健康保険特別会計

成果説明 (実績内容)						
R 4 決算額		R 3 決算額		増減	決算書	
5,678,174,884円		5,978,960,412円		△300,785,528円	P316	
取組内容・実績						
1. 一般状況						
(1) 世帯状況						
令和4年度末総数		国民健康保険加入状況				
		令和4年度末			令和4年度平均	
		加入状況	加入割合			
世帯総数	22,888 世帯	8,327 世帯	36.38 %	8,510 世帯		
総人口	49,947 人	12,432 人	24.89 %	12,839 人		
※総数は、住民基本台帳による。						
(2) 被保険者の状況						
		令和4年度末				
		年度末現在 被保険者数	(再掲) 未就学児	(再掲) 前期高齢者	(再掲) 70歳以上一般	(再掲) 70歳以上 現役並み所得者
被保険者総数		12,432 人	159 人	6,665 人	3,790 人	92 人
2. 保険税状況						
		調定額	収入済額	徴収率		
現年度分	一般被保険者分	917,833 千円	882,144 千円	96.11 %		
	退職被保険者等分	562 千円	562 千円	100.00 %		
	計	918,395 千円	882,706 千円	96.11 %		
滞納繰越分	一般被保険者分	161,384 千円	32,440 千円	20.10 %		
	退職被保険者等分	312 千円	51 千円	16.35 %		
	計	161,696 千円	32,491 千円	20.09 %		
合計		1,080,091 千円	915,197 千円	84.73 %		
3. 経理状況						
歳入			歳出			
費目	収入済額	構成比	費目	支出済額	構成比	
国民健康保険税	915,197 千円	15.85 %	総務費	75,601 千円	1.33 %	
国庫支出金	205 千円	0.00 %	保険給付費	4,171,237 千円	73.46 %	
県支出金	4,244,341 千円	73.50 %	国民健康保険事業費納付金	1,321,246 千円	23.27 %	
一般会計繰入金	460,055 千円	7.97 %	保健事業費	70,083 千円	1.23 %	
基金繰入金	20,000 千円	0.35 %	基金積立金	3 千円	0.00 %	
繰越金	124,023 千円	2.15 %	諸支出金等	40,005 千円	0.71 %	
その他収入	10,651 千円	0.18 %				
合計	5,774,472 千円	100.00 %	合計	5,678,175 千円	100.00 %	
歳入歳出差引額				96,297 千円		

成果説明 (実績内容)

4. 保険給付状況

(1) 保険給付の状況

	年度平均被 保険者数 A	区 分	件 数 ア	給 付 額 イ	被保険者1人当り 給 付 額 イ÷A	構成比
一 般 被 保 険 者	12,839 人	療養給付費	183,122 件	3,560,874 千円	277,348 円	85.37%
		療 養 費	5,868 件	43,221 千円	3,366 円	1.04%
		高額療養費	10,348 件	547,643 千円	42,655 円	13.13%
		移 送 費	0 件	0 千円	0 円	0.00%
		傷病手当金	20 件	527 千円	41 円	0.01%
		出産育児一時金	13 件	5,463 千円	425 円	0.13%
		葬 祭 費	121 件	6,050 千円	471 円	0.14%
		審査支払手数料	188,520 件	7,459 千円	581 円	0.18%
		保 険 給 付 費 計		4,171,237 千円	324,887 円	100.00%

(2) 療養給付費における費用等の状況

種 別	内 訳	件 数 ア	日・回数 イ	費 用 額 ウ	1件当り 費用額 ウ÷ア	日・回数 当り費用額 ウ÷イ	被保険者1人 当り費用額 ウ÷A
一 般 被 保 険 者	入 院	2,939 件	45,116 日	1,765,342 千円	600,661 円	39,129 円	137,498 円
	入院外	99,335 件	136,828 日	2,152,453 千円	21,669 円	15,731 円	167,650 円
	歯 科	25,014 件	38,395 日	305,596 千円	12,217 円	7,959 円	23,802 円
	調 剤	49,367 件	55,309 枚	494,592 千円	10,019 円	8,942 円	38,523 円
	食事療養	2,761 件	117,376 回	77,992 千円	28,248 円	664 円	6,075 円
	訪問看護	305 件	1,216 日	15,383 千円	50,438 円	12,651 円	1,198 円



## 5 後期高齢者医療特別会計

成果説明 (実績内容)			
R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
806,663,426円	813,742,491円	△7,079,065円	P341

取組内容・実績

○一般状況

年度末人口	後期高齢者医療被保険者数	加入率
49,947 人	12,454 人	24.93 %

○保険料状況

保険料収納額			
現年度(特別徴収)分(千円)	現年度(普通徴収)分(千円)	滞納繰越分(千円)	合計(千円)
402,957	147,983	1,377	552,317

○経理状況

歳入(千円)						合計
科目	保険料	手数料	他会計繰入金	その他収入	繰越金	
金額	552,317	98	250,459	3,779	4,341	810,994
構成比	68.10 %	0.01 %	30.88 %	0.47 %	0.54 %	100 %

歳出(千円)					合計
科目	一般管理費	徴収費	広域連合納付金	その他支出	
金額	28,938	3,105	774,065	555	806,663
構成比	3.59 %	0.38 %	95.96 %	0.07 %	100 %

歳入歳出差引額(千円)	4,331
-------------	-------

## 6 介護保険特別会計

成果説明 (実績内容)																																																									
R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書																																																						
8,665,652,675円	9,002,274,135円	△336,621,460円	P352																																																						
<b>目的</b> 介護保険法の規定に基づき、市が保険者となり、被保険者が負担する保険料と国・県・市の公費負担を財源として、介護が必要となったときに、その状態に応じて必要となる介護サービスを利用者の選択により、総合的に給付を行う。																																																									
<b>取組内容・実績</b> 1. 第1号被保険者数 (令和5年3月31日現在) <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 齢 区 分</th> <th>被保険者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>65歳以上75歳未満</td> <td>8,826人</td> </tr> <tr> <td>75歳以上85歳未満</td> <td>7,105人</td> </tr> <tr> <td>85歳以上</td> <td>5,389人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>21,320人</td> </tr> </tbody> </table>				年 齢 区 分	被保険者数	65歳以上75歳未満	8,826人	75歳以上85歳未満	7,105人	85歳以上	5,389人	計	21,320人																																												
年 齢 区 分	被保険者数																																																								
65歳以上75歳未満	8,826人																																																								
75歳以上85歳未満	7,105人																																																								
85歳以上	5,389人																																																								
計	21,320人																																																								
2. 要介護・要支援認定申請件数 (令和4年4月～令和5年3月) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規申請</td> <td>991件</td> </tr> <tr> <td>更新申請</td> <td>2,305件</td> </tr> <tr> <td>変更申請</td> <td>596件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,892件</td> </tr> </tbody> </table>				区分	件数	新規申請	991件	更新申請	2,305件	変更申請	596件	計	3,892件																																												
区分	件数																																																								
新規申請	991件																																																								
更新申請	2,305件																																																								
変更申請	596件																																																								
計	3,892件																																																								
3. 要介護・要支援認定状況 (令和5年3月31日現在) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>要支援1</th> <th>要支援2</th> <th>要介護1</th> <th>要介護2</th> <th>要介護3</th> <th>要介護4</th> <th>要介護5</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1号被保険者 (A)</td> <td>475人</td> <td>576人</td> <td>966人</td> <td>790人</td> <td>609人</td> <td>640人</td> <td>420人</td> <td>4,476人</td> </tr> <tr> <td>65歳以上75歳未満</td> <td>39人</td> <td>56人</td> <td>98人</td> <td>68人</td> <td>56人</td> <td>61人</td> <td>32人</td> <td>410人</td> </tr> <tr> <td>75歳以上</td> <td>436人</td> <td>520人</td> <td>868人</td> <td>722人</td> <td>553人</td> <td>579人</td> <td>388人</td> <td>4,066人</td> </tr> <tr> <td>第2号被保険者 (B)</td> <td>6人</td> <td>10人</td> <td>9人</td> <td>9人</td> <td>10人</td> <td>4人</td> <td>9人</td> <td>57人</td> </tr> <tr> <td>計 (A) + (B)</td> <td>481人</td> <td>586人</td> <td>975人</td> <td>799人</td> <td>619人</td> <td>644人</td> <td>429人</td> <td>4,533人</td> </tr> </tbody> </table>				区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	第1号被保険者 (A)	475人	576人	966人	790人	609人	640人	420人	4,476人	65歳以上75歳未満	39人	56人	98人	68人	56人	61人	32人	410人	75歳以上	436人	520人	868人	722人	553人	579人	388人	4,066人	第2号被保険者 (B)	6人	10人	9人	9人	10人	4人	9人	57人	計 (A) + (B)	481人	586人	975人	799人	619人	644人	429人	4,533人
区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計																																																	
第1号被保険者 (A)	475人	576人	966人	790人	609人	640人	420人	4,476人																																																	
65歳以上75歳未満	39人	56人	98人	68人	56人	61人	32人	410人																																																	
75歳以上	436人	520人	868人	722人	553人	579人	388人	4,066人																																																	
第2号被保険者 (B)	6人	10人	9人	9人	10人	4人	9人	57人																																																	
計 (A) + (B)	481人	586人	975人	799人	619人	644人	429人	4,533人																																																	
4. 保険料の賦課徴収状況 (第1号被保険者) <p>(1) 所得段階区分別被保険者数 (令和5年3月31日現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>被保険者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1段階 ・生活保護受給者、市民税世帯非課税で老齢福祉年金受給者等 ・市民税世帯非課税で、本人の課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円以下の方</td> <td>3,055人</td> </tr> <tr> <td>第2段階 ・市民税世帯非課税で、本人の課税年金収入額と合計所得金額の合計が120万円以下の方</td> <td>2,576人</td> </tr> <tr> <td>第3段階 ・市民税世帯非課税で、本人の課税年金収入額と合計所得金額の合計が120万円を超える方</td> <td>2,472人</td> </tr> <tr> <td>第4段階 ・世帯内に市民税課税者がいるが、本人は非課税で、かつ課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円以下の方</td> <td>1,946人</td> </tr> <tr> <td>第5段階 ・世帯内に市民税課税者がいるが、本人は非課税で、かつ課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円を超える方</td> <td>3,866人</td> </tr> <tr> <td>第6段階 ・市民税本人課税で、合計所得金額が120万円未満の方</td> <td>3,891人</td> </tr> <tr> <td>第7段階 ・市民税本人課税で、合計所得金額が200万円未満の方</td> <td>2,260人</td> </tr> <tr> <td>第8段階 ・市民税本人課税で、合計所得金額が300万円未満の方</td> <td>715人</td> </tr> <tr> <td>第9段階 ・市民税本人課税で、合計所得金額が300万円以上の方</td> <td>539人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>21,320人</td> </tr> </tbody> </table>				区 分	被保険者数	第1段階 ・生活保護受給者、市民税世帯非課税で老齢福祉年金受給者等 ・市民税世帯非課税で、本人の課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円以下の方	3,055人	第2段階 ・市民税世帯非課税で、本人の課税年金収入額と合計所得金額の合計が120万円以下の方	2,576人	第3段階 ・市民税世帯非課税で、本人の課税年金収入額と合計所得金額の合計が120万円を超える方	2,472人	第4段階 ・世帯内に市民税課税者がいるが、本人は非課税で、かつ課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円以下の方	1,946人	第5段階 ・世帯内に市民税課税者がいるが、本人は非課税で、かつ課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円を超える方	3,866人	第6段階 ・市民税本人課税で、合計所得金額が120万円未満の方	3,891人	第7段階 ・市民税本人課税で、合計所得金額が200万円未満の方	2,260人	第8段階 ・市民税本人課税で、合計所得金額が300万円未満の方	715人	第9段階 ・市民税本人課税で、合計所得金額が300万円以上の方	539人	計	21,320人																																
区 分	被保険者数																																																								
第1段階 ・生活保護受給者、市民税世帯非課税で老齢福祉年金受給者等 ・市民税世帯非課税で、本人の課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円以下の方	3,055人																																																								
第2段階 ・市民税世帯非課税で、本人の課税年金収入額と合計所得金額の合計が120万円以下の方	2,576人																																																								
第3段階 ・市民税世帯非課税で、本人の課税年金収入額と合計所得金額の合計が120万円を超える方	2,472人																																																								
第4段階 ・世帯内に市民税課税者がいるが、本人は非課税で、かつ課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円以下の方	1,946人																																																								
第5段階 ・世帯内に市民税課税者がいるが、本人は非課税で、かつ課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円を超える方	3,866人																																																								
第6段階 ・市民税本人課税で、合計所得金額が120万円未満の方	3,891人																																																								
第7段階 ・市民税本人課税で、合計所得金額が200万円未満の方	2,260人																																																								
第8段階 ・市民税本人課税で、合計所得金額が300万円未満の方	715人																																																								
第9段階 ・市民税本人課税で、合計所得金額が300万円以上の方	539人																																																								
計	21,320人																																																								

成果説明 (実績内容)

(2) 保険料賦課徴収状況

区分		調定額 (円)	収入済額 (円)	収納率
現年度分	特別徴収分	1,324,395,300 円	1,324,395,300 円	100.0%
	普通徴収分	103,727,600 円	98,723,900 円	95.2%
過年度分	滞納繰越分	16,294,366 円	3,702,707 円	22.7%
計		1,444,417,266 円	1,426,821,907 円	98.8%

5. 保険給付の状況

保険給付総額は、7,803,950千円で、歳出総額の90.1%を占めている。

昨年度の給付費総額8,082,143千円と比較して、額で278,193千円減少している。

(1) 保険給付額 (令和4年4月～令和5年3月審査分)

区 分		保険給付費	延べ受給者等	1人(件)当り給付費
介護・予防サービス等諸費	居宅介護(予防)サービス給付費	2,662,870,940 円	55,092 人	48,334 円
	介護(予防)地域密着型サービス給付費	1,284,330,450 円	6,835 人	187,904 円
	施設介護サービス給付費	2,950,796,812 円	11,590 人	254,598 円
	居宅介護(予防)福祉用具購入給付費	11,188,966 円	294 件	38,057 円
	居宅介護(予防)住宅改修給付費	16,967,149 円	180 件	94,261 円
	居宅介護(予防)サービス計画給付費	379,343,348 円	27,143 件	13,975 円
	計	7,305,497,665 円		
高額介護サービス等諸費		174,050,868 円	16,144 件	10,781 円
特定入所者介護サービス等費		301,818,114 円	18,223 件	16,562 円
高額医療合算介護サービス等諸費		18,562,810 円	846 件	21,941 円
その他諸費(審査支払手数料)		4,020,760 円	100,786 件	
合 計		7,803,950,217 円		

(2) 介護サービス延べ受給者数 (令和4年4月～令和5年3月審査分)

区 分	居宅サービス受給者	地域密着型サービス受給者数	施設サービス受給者	合 計
第1号被保険者	30,310 人	6,647 人	11,481 人	48,438 人
第2号被保険者	525 人	42 人	58 人	625 人
計	30,835 人	6,689 人	11,539 人	49,063 人

6. 地域支援事業の状況

要支援・要介護状態になる前からの介護予防事業を推進するとともに、地域の高齢者やその家族等を支援するため、包括的支援・任意事業に取り組んだ。

(1) 介護予防・日常生活支援総合事業

221,453,685円

要支援1、2の認定を受けた方や、基本チェックリストにより生活機能の低下が見られた方が利用できる「介護予防・生活支援サービス事業」と65歳以上の全ての方が利用できる「一般介護予防事業」を実施した。

①介護予防訪問介護・通所介護相当サービス

介護予防訪問介護相当サービス	2,481人
介護予防通所介護相当サービス	3,854人

②事業対象者実態把握状況

事業対象者実態把握実施者数	813人
---------------	------

成果説明 (実績内容)

③通所型サービス(短期集中型)事業

内 容		開催数	利用者数	延べ利用者数
委託	運動プログラム教室(器械使用)	178回	73人(実)	887人
	運動・栄養・口腔プログラム教室	90回	43人(実)	362人

④訪問型サービス(短期集中型)事業

内 容		訪問回数	人数
直営	市の保健師・栄養士が訪問	3	1人(実)

⑤一般介護予防事業

地域の高齢者が介護予防に向けた取組を主体的に行えるよう各種教室を実施した。

ア. 介護予防普及啓発事業

事 業		開催数	延べ人数	
委託	介護予防教室	佐渡市社会福祉協議会	771回	6,880人
		佐渡ふれあい福祉会	132回	591人
		<閉じこもり予防>えんや健康クラブ	200回	1,294人
		<運動機能向上>えんや健康クラブ	231回	3,707人
		元気×2トキめきクラブ	230回	2,225人
		佐渡市スポーツ推進員協議会	21回	136人
		佐渡市スポーツ協会	171回	1,937人
		南佐渡地域医療センター	33回	228人
		太鼓教室	76回	472人
	小計	1,865回	17,470人	
	出前教室	太鼓教室	13回	162人
		音楽健康教室	11回	193人
		えんや健康くらぶ	6回	65人
		小計	30回	420人
委託 計		1,895回	17,890人	
直営	地区健康学習会	124回	1,310人	
	機能訓練事業	10回	83人	
	健康教育	163回	1,782人	
	健康相談	59回	148人	
	介護予防教室(脳健康教室)	141回	1,109人	
	介護予防教室(認知症予防教室)	11回	77人	
	しゃきっと教室事業評価	12回	90人	
	直営 計	520回	4,599人	
自主活動	しゃきっと教室自主グループ活動	40回	373人	
合 計		2,455回	22,862人	

イ. 地域介護予防活動支援事業

事 業	開催数	延べ人数
自主活動組織支援(地区組織育成・支援事業)	8回	86人
太鼓サポーター養成教室	21回	159人
脳健康教室学習サポーター養成研修	8回	55人
合 計	37回	300人

⑥介護保険ボランティアポイント制度事業

要介護認定を受けていない65歳以上の方がボランティア活動を通じて、健康増進と介護予防を図り、いきいきとした地域づくりを推進することを目的として実施した。

介護保険ボランティアポイント制度	64人
------------------	-----

成果説明 (実績内容)

(2) 包括的支援事業

216,680,810円

ア. 地域包括支援センター運営事業

市内4か所に地域包括支援センターを設置し、各種相談を幅広く受け付け、高齢者等の支援を行った。

	新規	継続	合計
介護予防ケアマネジメント	336件	7,729件	8,065件
総合相談	1,398件	2,395件	3,793件
権利擁護	83件	280件	363件
包括的・継続的ケアマネジメント	138件	276件	414件

イ. 地域包括支援センター運営協議会

地域包括支援センターの適切な運営、公正かつ中立な性質の確保その他センターの円滑な運営を図るため、運営協議会を開催した。

地域包括支援センター運営協議会	2回開催
-----------------	------

ウ. 地域ケア会議推進事業

高齢者の支援にかかる課題について、地域包括支援センター及び関係する専門機関が、課題解決に向け連携して取り組むため、地域包括ケア会議を開催した。

地域包括ケア会議	3回開催
担当圏域包括ケア会議	8回開催
地域ケア個別会議	19回開催
介護予防のための地域ケア個別会議	10回開催

エ. 認知症対策総合推進事業

認知症になっても住み慣れた地域で生活していくために、医療、介護等が連携するネットワークの構築を図った。

	開催数	参加人数
物忘れ相談会	随時	49人
認知症カフェ	32回開催	284人
認知症サポーター養成講座	23回開催	366人
認知症初期集中支援チーム員会議	12回開催	—

オ. 生活支援体制整備事業

地域包括ケアシステム構築に向け、各地域の特性に寄り添った支え合いを推進していくため、生活支援コーディネーターを8名（1層2名、2層6名）配置し、地域の課題・ニーズ、資源把握及び広報活動等を実施した。

多様な主体のネットワークの構築を図るための協議体を開催するとともに、出前講座等で支え合いの意識啓発を行い、担い手養成講座で生活支援等の担い手の養成を図った。

支え合い地域づくり講座	3回開催
第1層協議体（全体会・部会）	4回開催
第2層協議体	9回開催
担い手養成講座等	1回開催
出前講座（講話、ワークショップ等）	24回開催

カ. 在宅医療・介護連携推進事業

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住みなれた地域で自分らしい暮らしができるよう、医療と介護の関係機関が連携し、多職種協働により体制の構築を図った。

佐渡地域医療・介護・福祉提供体制協議会 通常総会・理事会	5回開催
多職種連携研修会	2回開催
『入退院調整ルール』にかかる検討会	6回開催
「ゆいノート」出前講座	5回開催

成果説明 (実績内容)

(3) 任意事業 52,239,643円

ア. 家族介護支援事業

要介護被保険者の状態の維持・改善を目的として、適切な介護知識及び技術の習得並びに外部サービスの適切な利用方法の習得等を内容とした教室を開催するとともに、介護者の負担減のために介護用品を支給した。

家族介護教室	24人
介護用品支給事業	548人

イ. 住宅改修支援事業

住宅改修費の支給申請にかかる理由書を作成した場合の経費の助成を行った。

住宅改修支援事業補助金	12人
-------------	-----

ウ. 成年後見制度利用支援事業

認知症などにより判断能力が不十分な方が住み慣れた地域で安心して暮らせるようにするため、成年後見制度を円滑に利用できるように支援を行った。

成年後見制度利用支援	81人
------------	-----

エ. 配食サービス事業

65歳以上の一人暮らし、高齢者のみ世帯又は身体障がい者で自立支援の観点からサービスの必要があると認められる方を対象にして、高齢者の食生活に配慮した食事を定期的に宅配するとともに安否確認を実施した。

配食サービス	376人
--------	------

成果

保険給付総額は、7,803,950千円で、歳出総額の90.1%を占めている。また、昨年度の給付費総額8,082,143千円と比較して、額で278,193千円減少している。コロナウイルス感染症の影響により、施設サービスや通所介護サービスの給付が減少しているが、訪問介護サービスは増加しており、必要となるサービスを提供できた。

## 7 小水力発電特別会計

### 1 款 農林水産事業費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
1 項 農業費 1 目 発電事業費	小水力発電事業	22,382,117円	27,026,238円	△4,644,121円	P386
		<p>目的</p> <p>既存の農業水利施設（小倉ダム）が有する包蔵水力と未利用落差を活用した小水力発電事業を行う。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>年間発電量：598,433 k W h</p> <p>○発電施設修繕積立金 1,815,000円</p> <p>○発電施設更新積立金 6,420,000円</p> <p>○一般会計繰出金 10,151,877円</p> <p>・発電施設整備費返済金 9,250,000円</p> <p>・土地改良施設維持管理管理費充当 901,877円</p>			
		<p>成果</p> <p>土地改良施設の維持管理費の節減及び温室効果ガス排出抑制を図った。</p> <p>売電料収入：598,433 k W × 37.4円 ≒ 22,381,389円</p> <p>(前年度：722,611kWh × 37.4円 ≒ 27,025,648円)</p>			

## 8 歌代の里特別会計

### 1 款 特別養護老人ホーム費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)											
		R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書								
1 項 施設費 1 目 一般管理費	人件費・一般管理費	342,775,603円	334,059,542円	8,716,061円	決算書 (人件費) P397								
		50,872,955円	47,144,765円	3,728,190円	P397								
	目的 職員の資質向上と入所者が安全で快適な生活が営めるよう施設の維持管理に努める。												
	取組内容・実績 定員:介護老人福祉施設 105人 短期入所生活介護施設 7人 職員数:77人(正規職員33人、会計年度任用職員44人) <施設費> ○一般管理費 診療業務委託料、施設維持管理委託料等												
成果 施設内研修に重点を置き研鑽に努めることで、介護技術向上につながった。													
2 項 介護サービス費 1 目 介護サービス費	介護サービス費	55,326,713円	56,298,585円	△971,872円	決算書 P399								
		目的 利用者の処遇を向上し、医学健康管理の充実、残存能力の維持及び医療・介護の連携を図る。											
	取組内容・実績 <介護サービス費> ( ) 内数は前年度実績 ○介護サービス費 賄材料費、介護消耗品費、物品賃借料等 ○介護老人福祉施設 計97人(103人) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>介護度別人数</td><td></td></tr> <tr><td>要介護3</td><td>10人(11人)</td></tr> <tr><td>要介護4</td><td>56人(50人)</td></tr> <tr><td>要介護5</td><td>31人(42人)</td></tr> </table> 平均介護度 4.22(4.30)				介護度別人数		要介護3	10人(11人)	要介護4	56人(50人)	要介護5	31人(42人)	
	介護度別人数												
要介護3	10人(11人)												
要介護4	56人(50人)												
要介護5	31人(42人)												
○短期入所生活介護施設 計9人(4人) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>介護度別人数</td><td></td></tr> <tr><td>要介護1</td><td>2人(1人)</td></tr> <tr><td>要介護3</td><td>3人(0人)</td></tr> <tr><td>要介護4</td><td>3人(1人)</td></tr> <tr><td>要介護5</td><td>1人(2人)</td></tr> </table> 平均介護度 3.11(3.75)				介護度別人数		要介護1	2人(1人)	要介護3	3人(0人)	要介護4	3人(1人)	要介護5	1人(2人)
介護度別人数													
要介護1	2人(1人)												
要介護3	3人(0人)												
要介護4	3人(1人)												
要介護5	1人(2人)												
成果 老人福祉法に基づき、入所者の人格を尊重し、明るく楽しく健康で生きがいを持って、家庭的な雰囲気の中で可能な限り自立した生活を提供できた。													



## 9 すこやか両津特別会計

### 1 款 介護老人保健施設費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
1 項 施設費 1 目 一般管理費	人件費・一般 管理費	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		350,258,087円	342,465,885円	7,792,202円	(人件費) P414
	一般管理費	109,447,287円	104,265,476円	5,181,811円	P414
	<p>目的 入所者が安全で快適な生活が営めるよう施設の維持管理に努める。</p> <p>取組内容・実績 定員：介護老人保健施設 90人 通所リハビリテーション 8人 職員数：70人（正規職員33人、会計年度任用職員37人） &lt;施設費&gt; ○一般管理費 109,447,287円 消耗品費、光熱水費、施設維持管理委託料等</p> <p>成果 入所者の安全で充実した施設での生活を支援するため、消毒等のコロナ対策を徹底し、施設行事等の運営を行った。 また、オンライン面会を行い、家族が遠隔地に住んでいても交流が図られるよう支援した。 入所者が安全で快適な生活が営めるよう、施設の維持管理を行った。</p>				
介護サービス 施設整備事業	介護サービス 施設整備事業	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書
		2,300,000円	(新規)	—	P416
	<p>目的 現在、熱源（ボイラー）、電気、ナースコールを両津病院と共有しているが、両津病院の移転予定に伴い、すこやか両津が自立してサービスを提供するためのインフラ独立設備を整備する。</p> <p>取組内容・実績 インフラ独立設備整備工事設計業務委託 2,300,000円 (R4.10.26～R5.6.22)</p> <p>成果 インフラ独立設備整備工事の設計により、令和5年度から令和6年度にかけて継続費で施設整備工事を計画することができた。</p>				

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)																																																																											
2項 介護サービス費 1目 介護サービス費	介護サービス費	R 4 決算額	R 3 決算額	増減	決算書																																																																								
		40,203,421円	40,316,785円	△113,364円	P416																																																																								
		<p>目的 ひとりでも多くの在宅介護で困っている要介護者、家族に安定したサービスを提供し、要介護者の在宅復帰を目指す。</p>																																																																											
		<p>取組内容・実績            &lt;介護サービス費&gt; ( ) 内数は前年度実績            ○介護サービス費 40,203,421円            介護消耗品、医薬材料、薬品管理委託、物品賃借料等            [年度末入所者数 (令和5年3月末現在)]            ○介護老人保健施設 計78人 (81人) (一般・短期入所)</p> <table border="1" data-bbox="539 725 1342 931"> <thead> <tr> <th>介護度別人数</th> <th>一般入所</th> <th>短期入所</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>要介護1</td> <td>14人(12人)</td> <td>0人(1人)</td> <td>14人(13人)</td> </tr> <tr> <td>要介護2</td> <td>24人(26人)</td> <td>1人(1人)</td> <td>25人(27人)</td> </tr> <tr> <td>要介護3</td> <td>19人(14人)</td> <td>2人(3人)</td> <td>21人(17人)</td> </tr> <tr> <td>要介護4</td> <td>12人(14人)</td> <td>2人(0人)</td> <td>14人(14人)</td> </tr> <tr> <td>要介護5</td> <td>3人(9人)</td> <td>1人(1人)</td> <td>4人(10人)</td> </tr> </tbody> </table> <p>平均介護度2.60 (2.77)</p> <p>○通所リハビリテーション (介護予防通所リハビリを含む) 計185人 (216人) (3月利用延べ人数)</p> <table border="1" data-bbox="539 1137 935 1413"> <thead> <tr> <th>介護度別人数</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>要支援1</td> <td>15人(8人)</td> </tr> <tr> <td>要支援2</td> <td>63人(72人)</td> </tr> <tr> <td>要介護1</td> <td>50人(67人)</td> </tr> <tr> <td>要介護2</td> <td>36人(43人)</td> </tr> <tr> <td>要介護3</td> <td>0人(12人)</td> </tr> <tr> <td>要介護4</td> <td>18人(7人)</td> </tr> <tr> <td>要介護5</td> <td>3人(7人)</td> </tr> </tbody> </table> <p>平均介護度 1.29 (1.31)</p> <p>○訪問リハビリテーション (介護予防訪問リハビリを含む) 計220人 (176人) (3月利用延べ人数)</p> <table border="1" data-bbox="1043 1137 1465 1413"> <thead> <tr> <th>介護度別人数</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>要支援1</td> <td>20人 (0人)</td> </tr> <tr> <td>要支援2</td> <td>46人 (36人)</td> </tr> <tr> <td>要介護1</td> <td>52人 (42人)</td> </tr> <tr> <td>要介護2</td> <td>52人 (60人)</td> </tr> <tr> <td>要介護3</td> <td>36人 (10人)</td> </tr> <tr> <td>要介護4</td> <td>14人 (14人)</td> </tr> <tr> <td>要介護5</td> <td>0人 (14人)</td> </tr> </tbody> </table> <p>平均介護度 1.57 (2.01)</p> <p>○居宅介護支援事業所 計41人 (38人) (3月実績)</p> <table border="1" data-bbox="539 1547 935 1823"> <thead> <tr> <th>介護度別人数</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>要支援1</td> <td>0人 (0人)</td> </tr> <tr> <td>要支援2</td> <td>0人 (0人)</td> </tr> <tr> <td>要介護1</td> <td>23人 (20人)</td> </tr> <tr> <td>要介護2</td> <td>7人 (10人)</td> </tr> <tr> <td>要介護3</td> <td>3人 (3人)</td> </tr> <tr> <td>要介護4</td> <td>4人 (2人)</td> </tr> <tr> <td>要介護5</td> <td>4人 (3人)</td> </tr> </tbody> </table> <p>平均介護度 2.00 (1.89)</p>				介護度別人数	一般入所	短期入所	計	要介護1	14人(12人)	0人(1人)	14人(13人)	要介護2	24人(26人)	1人(1人)	25人(27人)	要介護3	19人(14人)	2人(3人)	21人(17人)	要介護4	12人(14人)	2人(0人)	14人(14人)	要介護5	3人(9人)	1人(1人)	4人(10人)	介護度別人数		要支援1	15人(8人)	要支援2	63人(72人)	要介護1	50人(67人)	要介護2	36人(43人)	要介護3	0人(12人)	要介護4	18人(7人)	要介護5	3人(7人)	介護度別人数		要支援1	20人 (0人)	要支援2	46人 (36人)	要介護1	52人 (42人)	要介護2	52人 (60人)	要介護3	36人 (10人)	要介護4	14人 (14人)	要介護5	0人 (14人)	介護度別人数		要支援1	0人 (0人)	要支援2	0人 (0人)	要介護1	23人 (20人)	要介護2	7人 (10人)	要介護3	3人 (3人)	要介護4	4人 (2人)	要介護5	4人 (3人)
		介護度別人数	一般入所	短期入所	計																																																																								
要介護1	14人(12人)	0人(1人)	14人(13人)																																																																										
要介護2	24人(26人)	1人(1人)	25人(27人)																																																																										
要介護3	19人(14人)	2人(3人)	21人(17人)																																																																										
要介護4	12人(14人)	2人(0人)	14人(14人)																																																																										
要介護5	3人(9人)	1人(1人)	4人(10人)																																																																										
介護度別人数																																																																													
要支援1	15人(8人)																																																																												
要支援2	63人(72人)																																																																												
要介護1	50人(67人)																																																																												
要介護2	36人(43人)																																																																												
要介護3	0人(12人)																																																																												
要介護4	18人(7人)																																																																												
要介護5	3人(7人)																																																																												
介護度別人数																																																																													
要支援1	20人 (0人)																																																																												
要支援2	46人 (36人)																																																																												
要介護1	52人 (42人)																																																																												
要介護2	52人 (60人)																																																																												
要介護3	36人 (10人)																																																																												
要介護4	14人 (14人)																																																																												
要介護5	0人 (14人)																																																																												
介護度別人数																																																																													
要支援1	0人 (0人)																																																																												
要支援2	0人 (0人)																																																																												
要介護1	23人 (20人)																																																																												
要介護2	7人 (10人)																																																																												
要介護3	3人 (3人)																																																																												
要介護4	4人 (2人)																																																																												
要介護5	4人 (3人)																																																																												
<p>成果 質の高いケアサービスを提供することができ、利用者の機能回復につながった。</p>																																																																													

2款 公債費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)				
1項 公債費  1目 元金  2目 利子	○地方債現在高及び元利償還状況  (単位：千円)					
	令和3年度末 現在高	令和4年度 発行額	令和4年度元利償還額			令和4年度末 現在高
			元金	利子	計	
	139,682	2,300	80,169	4,621	84,790	61,813

再生紙を使用しています。

古紙リサイクルにご協力お願いします。